

# 東京の産業教育

**特集 新しい時代を切り拓く産業教育の創造**



**平成26年度 52号**  
**東京都産業教育振興会**

〔調理師科2年制〕

フランス料理専攻コース  
イタリア料理専攻コース  
日本料理専攻コース  
中国料理専攻コース

〔シェフパティシエ科2年制〕

(認可申請中)

〔調理師科1年制〕

調理技術コース  
福祉調理コース  
※入学後にコースを選択

〔調理師科夜間部2年制〕

国際フード製菓専門学校 ◆

〔製菓製パン科2年制〕

洋菓子専攻コース  
和菓子専攻コース  
パン専攻コース

〔製菓製パン科1年制〕

〔調理師科1年制〕

〔製菓製パン科夜間部2年制〕



学校法人 誠心学園

東京誠心調理師専門学校  
国際フード製菓専門学校

〒144-0052  
〒220-0004

東京都大田区蒲田3-21-4  
神奈川県横浜市西区北幸2-9-6

Tel.03-3734-4411  
Tel.045-313-4411

# 東京の産業教育 第52号 目次

## 巻頭のことば

- 「都立専門高校改革の推進について」 東京都産業教育振興会常任理事 早 川 剛 生・・・1  
(東京都教育庁都立学校教育部長)

## 特集 新しい時代を切り拓く産業教育の創造

- 1 高校生が育てた野菜を全国へ販売 ～百貨店との共同商品開発  
東京都立大島高等学校 教諭 小笠原 直 樹・・・2
- 2 新しい時代を切り拓く産業教育の創造  
ーコンセプトを重視したオリジナルの作品づくりー  
東京都立工芸高等学校 校長 松 本 光 正・・・4
- 3 より確かな進路実現を目指す技術・技能習得と継承での人材育成  
ーものづくり・デュアルシステム（長期企業実習）による自己の有用感の醸成ー  
東京都立北豊島工業高等学校 校長 高 橋 康 宏・・・6
- 4 ビジネスコミュニケーション科の取組  
東京都立大田桜台高等学校 副校長 石 山 智 典・・・8
- 5 日々の授業を大切にするキャリア教育  
東京都立忍岡高等学校 生活科学科 主任教諭 佐 藤 真紀子・・・10
- 6 産業教育につながる総合学科高校の取組  
～『産業社会と人間』を通して～  
東京都立若葉総合高等学校 進路指導部 主幹教諭 高 橋 昌 子・・・12
- 7 社会の変化に対応した機械科教育を目指して  
東京実業高等学校 機械科長 佐 藤 卓 司・・・14
- 8 高校で商業教育を展開する意義と可能性  
ー生徒の可能性を最大限に引き出す教育をめざしてー  
京華商業高等学校 教諭 杉 山 広 孝・・・16
- 9 造園デザイン科における資格取得と教育成果発表への取組  
中央工学校 土木測量系学科長 土 田 俊 行・・・18
- 10 日本の職業教育を大きく担っている専門学校  
東京誠心調理師専門学校 校長 廣 瀬 道・・・20
- 11 未来の生活を創造し、問題を解決する力の基礎を育てる「中学校技術・家庭科」  
足立区立第十二中学校 校長 杉 浦 伸 一・・・22
- 12 新しい時代を切り拓く技術者教育の試み  
東京都立産業技術高等専門学校 副校長 渡 辺 和 人・・・24
- 13 生徒の社会的自立を目指した都立工業高等学校の取組  
東京都教育庁指導部高等学校教育指導課 指導主事 鈴 木 誠・・・26

## 東京の産業界

- 1 若い技術者、未来の技術者とともに  
株式会社オーム社 常務取締役 大久保 智 明・・・28
- 2 人と地球と建物のより良い未来を切り拓く  
株式会社キクチ 代表取締役社長 菊 地 照 巳・・・30

## 情報スクエア

- 1 夕張キャンプ第Ⅰ期報告  
東京都立農芸高等学校 校長 岡 本 利 隆・・・32
- 2 定時制課程における学校設定科目「食育」の指導  
東京都立農業高等学校 主幹教諭 渡 邊 幸 盛・・・34
- 3 学校設定科目「コミュニティデザイン」  
ー社会の課題を解決する人材の育成ー  
東京都立千早高等学校 校長 林 修・・・36
- 4 第12回創造ものづくりフェア in TOKYO  
中央区立佃中学校 校長 加 藤 譲 司・・・38
- 5 第24回全国産業教育フェア宮城大会・第56回全国産業教育振興大会（宮城大会）・・・40

## 報 告

- 1 平成26年度 総会・講演会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 43
- 2 平成26年度 東京都産業教育振興会教育功労者表彰・・・・・・・・ 51
- 3 平成26年度 東京都産業教育振興会後援事業・・・・・・・・・・・・ 52
- 4 平成26年度 産学懇談会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 53
- 5 平成26年度 第25回東京都産業教育振興会作文コンクール  
① 入選者一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 55  
② 最優秀賞（高等学校・中学校の部）・・・・・・・・・・・・・・ 57  
③ 応募校一覧・応募数の推移・分野別応募数・・・・・・・・・・・・ 60

## 本会の概要

- 1 平成26年度 事業経過報告（平成27年2月20日現在）・・・・・・ 63
- 2 平成25年度 決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 65
- 3 平成26年度 予算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 66
- 4 平成26年度 役員、委員一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 67
- 5 本会会則・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 69
- 6 平成26年度 会員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 71
- 7 入会案内・編集後記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 87

## 巻頭のことば

### 「都立専門高校改革の推進について」

東京都産業教育振興会 常任理事

(東京都教育庁都立学校教育部長) 早 川 剛 生



東京都産業教育振興会の会員皆様におかれましては、日頃から東京都教育委員会の取組に御理解・御協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、東京都教育委員会では、平成 24 年 2 月に「都立高校改革推進計画 第一次実施計画」を策定し、都立高校が生徒を「真に社会人として自立した人間に育成する」ことができるよう、様々な教育施策を総合的に実施しています。

特に、農業、工業、商業、家庭、福祉、産業といった職業教育を主とする専門高校に対しては、生徒一人一人の能力の伸長と進路実現を図るとともに、ものづくり人材の育成など、社会の変化と期待に応える人材を育成するため、各施策を展開し、魅力ある専門高校づくりを進めています。

具体的には、平成 25 年 4 月に「都立専門高校技能スタンダード」を策定し、推進校 10 校で先行実施しました。このスタンダードは、専門高校で学ぶ生徒に、社会が求める専門的な技術・技能を確実に習得させ、有用な国家資格や検定などの習得を促進し、社会で活躍できる人材を育成することを目的としています。各推進校では、具体的な目標を設定することで、「生徒一人一人に確実に技術・技能を習得させていく」また、「卒業までに役に立つ資格をしっかりと取得させる」という意気込みで、生徒の指導に当たっています。来年度から、これらの推進校の成果を基に、全ての職業教育を主とする専門高校に拡大します。

また、平成 25 年度から、専門高校の教員が企業等を訪問し、企業の現状、企業が必要としている人材、高校に求める教育内容等を把握・研究する「企業訪問・企業研究」を実施しています。この取組を通して、専門高校の教育内容や指導方法等の改善、生徒の適性に合った就職指導等の充実につなげています。加えて、専門高校の教員の専門教育の指導力や技術力の向上を図るため、教員が実践的な技術を身に付けられる企業派遣研修を実施するとともに、教員の資格取得の促進などの支援も行っています。

さらに、平成 25 年 10 月に専門高校在校生などを対象としたニーズ調査を実施するとともに、12 月に外部有識者からなる都立専門高校改編基本構想検討委員会を設置し、今後の専門高校の在り方について検討を重ね、様々な提言が盛り込まれた報告書を平成 26 年 8 月に公表しました。現在、この提言を踏まえ、東京都教育委員会では検討組織を設置し、専門高校の改善・充実に向けて、さらに詳細な検討を行っているところです。

このような教育施策を通して、東京都教育委員会では、生徒が専門高校で学んだ専門性を生かし、希望する進路を実現するとともに、産業界の求める人材を育成していく役割を果たすため、魅力溢れる専門高校となるよう改善・充実を図ってまいりますので、今後とも会員皆様の益々のお力添えをいただければ幸いです。

## 特集

# 新しい時代を切り拓く産業教育の創造



## 高校生が育てた野菜を全国へ販売 ～百貨店との共同商品開発～

東京都立大島高等学校 教諭 小笠原 直樹

### 1 はじめに

東京都立大島高等学校は、東京から120km南にある伊豆大島にあり、普通科（2学級）および農林科と家政科の併合科（1学級）を設置する学校で、全校生徒119名、そのうち19名が併合科に在籍している。

### 2 共同商品開発のきっかけ

平成24年11月、秋葉原で行われた全国農業高校収穫祭に参加した際、（株）高島屋の食品部門バイヤーに、ギフト商品の開発を一緒に行いたいと声をかけて頂いたのがきっかけである。離島にある高校というだけでなく、学校産椿から作った化粧品や島唐辛子ラー油など、特産品を使用した他校には無い独自の商品開発に興味を持って頂いたようであった。生徒達の視野を日本全国に広げ、農業に関する知識と技術を深めるチャンスであると考え、実施に向けての作業に取り掛かった。

### 3 実施決定までの流れ

平成25年冬、高島屋のバイヤーと、キムチへの加工を行う（株）沈菜館の社長と担当部長に来島頂き、商品内容の検討と実現性について協議を行った。キムチを選択したのは、素材の旨みが最も活かせる加工食品だというバイヤーの判断である。併せて都立高で前例の無い内容であるため関係部署への照会を行った。

### 4 ギフト商品の設定

高島屋と沈菜館、そして実際に栽培を行う生徒達とアイディアを出し合い、度重なる協議を行った結果、以下の内容で企画することとなった。

①高島屋のお中元カタログに「大島高校&沈菜館 夏野菜キムチ（3980円）」として掲載し、オンラインショップと高島屋店舗で全国販売を行う。

②トマト、キュウリ、大島桜の葉漬けを単価契約で沈菜館へ出荷、漬けキムチに加工後、全国発送を行う。240g程度のトマト3個と、23cm程度のキュウリ6本、それぞれに桜葉を添えて梱包、予定数量は300セットとする。

③1学年「農業と環境」、2学年「野菜」、1から3学年「総合実習」の中で栽培を行う。

④特産である椿油の搾りかすを堆肥化して使用、ミネラル分補給のため海水を薄めて散布するといった大島ならではの特色を持たせる。



平成25年お中元カタログ用写真

### 5 お中元商品の生産

平成25年3月初めより、合計500株ほどのトマト、キュウリを、収穫期間が長くなるよう定植期を分散しながら栽培した。5セット分（トマト15個とキュウリ30本）を1ロットとし、高島屋の受注状況に合わせて発送した。

収穫が始まった5月下旬、日本橋高島屋で行われた販売イベントに農林科全生徒で参加した。多くの報道陣に囲まれる中、振分親方（元高見盛

関)と共に商品のPRを行い、複数のメディアに取り上げられた。この結果、島内でも反響を呼び、受注量が予定より100セット近く上回り、予想より早く売り切れとなった。6月中旬から8月上旬までの期間、1日平均1.5ロットずつ出荷した。島内に営業所があるヤマト運輸にも協力を依頼し、離島という不利な状況下でもクール便を使用し、翌日の午前中までに調布市にある沈菜館工場に出荷できることを確認。荷物締め切り時刻である11時までに出荷できるよう、時間割によっては一分一秒を争う中で収穫と選別、梱包を行った。トマトの草勢管理に苦労したり、悪天候が続くとキュウリの肥大が遅れたりといった問題も発生、試行錯誤を重ね何とか出荷を終えることができた。

## 6 共同商品開発のその後

お中元商品が予想以上に好評であり、生徒の学習意欲を伸ばせる機会であると実感することができたため、その後も共同商品開発に取り組むことにした。平成25年のお歳暮ではハクサイとダイコンを使用した「大島高校&沈菜館冬野菜包みキムチセット(4725円)」を販売し、これには大島らしさを強調したいという生徒からの提案で「大島高校椿油入り島唐ラー油」をセットにしている。平成26年のお中元ではトマトキムチが6個セットになった「大島高校&沈菜館の夏キムチ(4320円)」を販売。いずれも大変好評で、中には応援のお手紙を下さるお客様もあり、生産者としての喜びを生徒と分かち合えるような出来事もあった。さらに執筆時(平成26年9月現在)はこの商品企画に都立園芸高校も加わり、「沈菜館・都立大島高校&園芸高校のチヂミ」の生産に向けて準備を行っており、本校で生産した鶏卵、ハクサイ、自然薯、園芸高校が生産した大根でチヂミを生産、全国販売する予定である。

生産を行う中ではたくさんの困難に直面した。中でも平成25年10月16日に襲来した台風26号では記録的な豪雨に見舞われ、多くの方が犠牲となる土砂災害も発生した。学校農場も露地圃場の一部が流失、栽培するダイコンの3分の1が流さ

れ、ハクサイも一部が土砂に埋まるなどの被害が発生。厳しい状況ではあったが、全国の方へ大島の高校生達の元気を届けることが復興の一助になると考え、販売数量を削減した上で、何とか出荷を終えることができた。



平成25年お歳暮カタログ用写真

## 7 取り組みを振り返って

日本の農業が難局を迎える中で、六次産業化といった力強い農業について注目が集まる中、生徒にそれを学ばせる絶好の機会となった。また、消費者の心を掴む栽培方法の工夫といった企画立案の重要性に加え、取引先やお客様の信頼を裏切らない品質管理の重要性、納期の厳守といった商取引の常識などを、第一線で活躍している企業の方から学べたのは大きな財産である。

さらに、島内でも今回の取り組みが広く認知され、学校外でも「がんばってね」と声をかけられるなど、農林科生徒達の自信にも繋がった。ただ農産物の生産方法を身に付けさせるだけでなく、加工や流通まで含めた幅広い農業の魅力、生産者としての誇り、やりがいを伝えるためには、今回のような企業との連携が有効であると考えます。農業を学ぶ高校生の活躍の場、可能性をさらに広げられるよう、今後も力を尽くしていきたい。





## 新しい時代を切り拓く産業教育の創造

—コンセプトを重視したオリジナルの作品づくり—

東京都立工芸高等学校 校長 松本 光正

### 1 はじめに

本校は明治 40 年に開校、全日制はアートクラフト科・マシンクラフト科・インテリア科・グラフィックアート科・デザイン科の 5 学科、定時制はデザイン科を除く 4 学科が設置されていますが、当紙面では全日制について紹介させていただきます。

全日制は、各学科 35 名 1 学年 175 名の募集をしています。新入生アンケートによると中学校低学年の頃から専門学科の学習に興味・関心をもって入学、JR 水道橋駅前に立地しているなど交通機関に恵まれているため、都内全域から男子 116 名・女子 421 名の生徒が学んでいます。

本校は、与えられた設計図を基に工業製品などの製作を学ぶ工業高校と異なり、生徒の個性・創造力をいかしたオンリーワンの作品づくり、オリジナルのものづくりを学ぶ工芸・デザイン系の専門高校です。

### 2 新しい時代を切り拓く取組

5 学科の専門科目 36 単位の内 28 ～ 27 単位は、専門技術・知識を身に付けるための体験的・少人数授業となっています。作品制作では、授業時間だけでなく教員の指導のもと放課後などの時間も利用して制作するため、各学科とも非常に完成度の高い作品が生まれます。

**アートクラフト科**は、主に金属・ガラスを素材として彫金・鍛金・鍍金などの伝統技法を活かし手加工による工芸作品の制作を学習する学科として生徒が学んでいます。新たな時代に向けて、ガラスを素



光造形機によるジュエリー作品

材としたパートドヴェール・トンボ玉の制作、有線七宝の制作、CG によるジュエリーデザイン、光造形機・精密鑄造機・レーザー加工機によるジュエリー制作など最新機器を用いた制作技術の学習を取り入れています。

**マシンクラフト科**は、金属・樹脂などを素材として工作機械により工芸作品の制作を学習する学科として生徒が学んでいます。新たな時代に向け



協同制作による作品

て、デッサン・色彩分割・立体構成・デザイン技術などの学習、3 次元 CAD やイラストレーター・フォトショップなどの情報機器による画像編集技術、協同制作の学習を取り入れています。協同制作では、クラスで 1 つのテーマを決め、年間を通し幾度も話し合いながら取り組みます。その制作過程の中で協同して作品をつくりあげることの喜びと大切さ、「人間関係づくり」についても学んでいます。

**インテリア科**は、室内装飾・室内環境設備など室内環境全般のデザインや主に木材を素材とした家具や玩具などの制作を学習する学科として生徒が学んでいます。新

たな時代に向けて、デッサン・立体構成・色彩構成・透視図法の学習、3 次元 CAD・CG を使っ



たシミュレーション **NC ルータによる木材加工**ン技術などの情報機器による画像編集技術、NC ルータを使用した家具制作、デザイン史などの学

習を取り入れています。

**グラフィックアート科**は、現在は、パソコンを主に用いポスターなどの印刷物のデザイン・印刷技術・映像デザインについて学習する学科として生徒が学んでいます。新たな時代に向けて、デジタルメディアを基盤とし



オフセット印刷機による授業

たグラフィックコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力を身に付けることを重点目標として学習を行っています。その能力を育成するため Web コンテンツ制作・エレクトロメディア画像映像の制作・CG アニメーションの制作、イラストレーター・フォトショップなどによる印刷物の制作など情報機器による画像編集技術などの学習を取り入れています。

**デザイン科**は、手による技術力・表現力を高め平面・立体作品の制作などを学習する学科として



デッサンの実習

生徒が学んでいます。新たな時代に向けて、イラストレーター・フォトショップによる作品制作・Web デザイン・映像デザインなど情報機器を用いた画像編集技術、写真技術、シルクスクリーン印刷の学習、その他陶芸などの学習を取り入れています。

### 3 コンセプトを重視した作品づくり

新しい時代の作品制作は、単に制作することだけでなく、自らが考えたことを理解してもらうことが重要となっています。そこで、本校では、生徒に作品の主旨・目的を説明する機会を繰り返し与えています。生徒は、その説明する能力を身に付けるため毎年「プレゼンテーション講習会」・「ポートフォリオ講習会」に応



プレゼンの授業

募者が殺到します。また、平成 26 年度は文化祭に 6115 名の来場者、東京都美術館での卒業制作展に 2839 名の来館者、年度末の作品発表会などの機会に外部の方々から作品の評価・意見をいただいております。このような機会を通し、作品を制作することだけでなく、自らの考えを他人に伝えること、評価を生かすことの重要性を学んでいます。

募者が殺到します。また、平成 26 年度は文化祭に 6115 名の来場者、東京都美術館での卒業制作展に 2839 名の来館者、年度末の作品発表会などの機会に外部の方々から作品の評価・意見をいただいております。このような機会を通し、作品を制作することだけでなく、自らの考えを他人に伝えること、評価を生かすことの重要性を学んでいます。

### 4 各種コンテストと検定・資格取得

ジュエリーデザインコンテスト・板金製品技能フェアコンテスト・高校生ものデザインコンテスト・高校生デジタルフォトコンテスト・産業デザインコンペなどの各種コンテストに参加し、平成 25 年度は延べ 148 名が入選・受賞しました。また、色彩検定・CAD 検定・建築 CAD 検定・グラフィックデザイン検定・レタリング技能検定など専門学習に関する検定、危険物取扱者・ガス溶接技能講習修了者・インテリアコーディネーターなどの資格取得に取り組み、平成 25 年度は延べ 667 名が合格しました。その成果により専門学習への興味・関心が高まり、達成感や自信となっています。

### 5 インターンシップ

夏季・春季休業中に、本校の専門学習に関連した企業でのインターンシップに平成 25 年度は 35 名が参加しました。その後のインターンシップ報告会では、「実際に体験しなければ理解できないことが沢山あった!」「改めて挨拶やコミュニケーションの大切さを感じた!」などの報告があり、企業の協力により得た実体験により職業観が生まれています。

### 6 新しい時代を切り拓く進路実現

平成 25 年度の進路状況は、大学志望者が 60%、専門学校志望者が 24%、就職志望者が 16%となっています。そして、大学合格者の内、本校の専門教育に関連した大学に 80%、現役合格率 90%となっています。就職先は専門教育を活かした企業に 90%、就職内定率は 100%となっています。新しい時代を切り拓く生徒一人ひとりの自己実現を図るため、進学目的の学びではなく将来の職業を目指した進路指導を入学時から進めています。



## より確かな進路実現を目指す技術・技能習得と 継承での人材育成

—ものづくり・デュアルシステム（長期就業体験）による自己の有用感の醸成—

東京都立北豊島工業高等学校 校長 高橋 康宏

### 1 学校の概要



校舎全景

東京都立北豊島工業高等学校は、全日制課程「総合技術科」・定時制課程「機械科」を併せ持つ工業高校である。

大正9年に北区滝野川で開校し、今年で創立95年を迎えた歴史と伝統を刻んでいる学校である。

すでに全・定時制課程を合わせて約2万名の有為な技術者を世に送り出している。

社会の産業分野で多くの卒業生が活躍している。日々、生徒一人ひとりが光り、産業を支える人材育成を目指し、北豊島工業高校の歴史は、百年への更なる飛躍に向けて年月を刻んでいる。

本校は昭和24年の学制改革以来長く、機械科・電気科・電子科の3学科を設置し、社会の要請に应运ってきた。しかし、時代の変化とともに、これからのものづくりには、総合的な技術・技能の結集した横断的な創作力が求められ、平成5年から各専門技術や技能を横断的に、習得した技術者を養成するべく「総合技術科」を創設した。

第1学年（5学級175名定員）では、機械・電気・電子の基礎基本の知識と技術を学び、第2学年から希望する類型（コース制）を選択し、総合技術科の特色を活かし、先端技術から基礎技能を習得する教育課程を編成している。

総合技術科の特色を生かし、ものづくりの粘り

| 5 類 型     |
|-----------|
| ①機械設計コース  |
| ②自動車コース   |
| ③制御コース    |
| ④電気コース    |
| ⑤電子・情報コース |



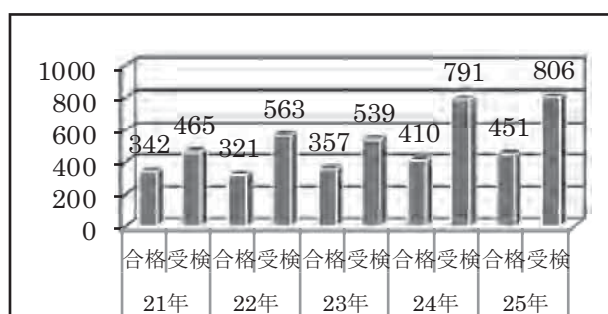
強い指導と技術の伝承により、生徒一人ひとりのより確かな進路実現に向けて、「資格取得とものづくり」「社会に貢献できる人材育成」に取り組み、将来への夢の実現を図っている。また、設備拠点校であり、中野工業・練馬工業の生徒が特化したプログラムで技術・技能を習得している。



拠点校実習

### 2 本校の教育の特徴

「ものづくりと資格取得」を教育の根幹に、入学時からキャリア教育を重点に、就職や進学など生徒一人ひとりの進路実現を目指すために、計画的に取り組んでいる。より確かな進路実現を支援するため、進路講演会の実施、進路相談の充実、社会人としての必要なビジネスマナー習得に取り組んでいる。



資格取得状況

「デュアルシステム」では、2学年でインターンシップを実施している。インターンシップの受け入れ企業の開拓には、東京都中小企業振興公社と東京商工会



デュアルシステム

議所板橋支部の協力により、生徒の受け入れに協力して頂き、企業数を拡大した。実施2年目となり、2学年 100 名を超える参加となった。

平成 26 年度は、初のデュアルシステム（長期就業体験）を実施し、3 学年で 10 名の生徒が毎週 1 日、年間を通じて企業実習を行っている。

| 3カ年のデュアルシステムの取り組み重点    |  |  |
|------------------------|--|--|
| ○1学年                   |  |  |
| 工業類型の共通科目履修・ビジネスマナー    |  |  |
| ○2学年                   |  |  |
| インターンシップ(3日間、5日間)就業体験) |  |  |
| ○3学年                   |  |  |
| デュアルシステム(週1回、年間就業体験)   |  |  |

### 3 3年間でのより確かな進路実現

より確かな進路実現の支援に向けて、ものづくりの技術・技能を習得し、社会で役立つ資格取得指導を通じて就職内定 100% 達成を目指している。

進路状況は、近年の不況下でも学校斡旋による就職希望者の 100% を保持している。

各種資格取得指導で、進路意識を高め、自信を持たせ、就職試験に臨ませている。進路指導部は、全日制では、①「卒業生進路講話」、②「進路ガイダンス」、③「職業ガイダンス」、④進路説明会 ⑤企業訪問を入学時から生徒・保護者を対象に、進路意識の醸成と啓発活動を行っている。

特に、池袋公共職業安定所・ジョブサポーターと緊密な情報交換と連携を図っている。

### 4 ものづくりの挑戦・資格取得の挑戦

各種のものづくり大会に出場している。特に機械工作部は、省エネ競技のエコラン大会への出場を継続している。平成 26 年度の栃木県の茂木サーキットでは、2 台が完走し都立高校第 2 位の好成績となった。



エコランカー



からくり人形

また、バッテリーカー（EV）コンテストでは、2 年間連続出場をした。高校生ものづくりコンテストでは、電子回路組立部門の地区大会に出場している。

「課題研究」で、江戸時代のロボットである「お茶運びからくり人形」の製作研究や現代のロボットを活用して、ロボットの制御実習を行っている。



電気工事士講習

資格取得では、第 2

種電気工事士及び第 1 種電気工事士の取得指導や各種資格取得に取り組み、平成 26 年度は 28 名の第 2 種電気工事士取得となった。また、第一種電気工事士の取得が、ジュニアマイスターの称号に繋がっている。

### 5 地域との協働と連携

本校は、昭和 10 年に板橋区富士見町に移転し、平成 26 年で、79 年目を迎えている。

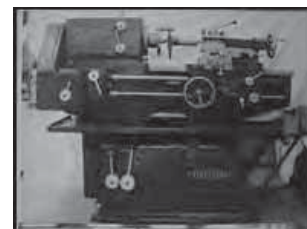
「地域に愛され、地域に信頼され、地域に開かれた学校」を掲げ、地域活動を展開している。地域の交流の場である「富士見祭り」に、平成 25 年度から参加し、子供達 100 人に「プロペラ飛行機づくり教室」を提供し、地域と学校の交流を展開している。また、教科「奉仕」や野球部において日々朝、地域の清掃活動を行っている。今年度から「防火支援隊」を組織し、共助の取組を推進し、地域と協働する活動を企画している。公開講座では、工業の特色を発揮して、鑄造による「表札づくり講座」では、700℃のアルミを鑄型に流し込み、非日常的なものづくり体験が好評である。



公開講座「表札づくり」

### 6 ものづくり人材育成と技術・技能の継承

本校には実学主義の歴史があり、生産に寄与した実用の旋盤であるオリンピア号の製作実習や、実社会に提供する「生産実習」に取り組んできた。これに次ぐ、「デュアルシス



北豊島工業製オリンピア号

テム」の導入は、企業と連携する生きた技術・技能の習得の機会となり、実学精神の伝統にも繋がり、自己の有用感の醸成となっている。



## ビジネスコミュニケーション科の取組

東京都立大田桜台高等学校 副校長 石山 智典

### 1 はじめに

本校は平成21年度に開校した都立高等学校としては2校目のビジネスコミュニケーション科の高等学校である。

ビジネスコミュニケーション科とは、都立高校改革の一環として導入されたいわゆる「新しいタイプの高等学校」であって、進学を目指す商業教育を実現する学科として、従来の商業高校とは一線を画した商業教育を模索し、実践している学科である。

本校の教育理念は、「グローバル社会で主体的に生きる資質と能力を持つ人材を育成する」ことである。この理念を実現するために、具体的な教育活動として、英語教育、ビジネス教育及び国語教育を3本の柱として、文系私立4年制大学への進学を目指す教育を展開している。また、本校は、ビジネスマナー育成の視点から生活指導を徹底して行い、規律ある学校生活を確立するとともに、キャリア教育の充実により明確な進路意識の形成、国際理解、異文化理解及び我が国の伝統文化理解教育の実施、コミュニケーション能力向上を目指した教育の実践など、経済社会で期待される資質・能力の育成を目指した教育活動を様々な場面で展開しているところに大きな特徴がある。

### 2 本校の英語教育

本校の英語教育の目的は、コミュニケーションのツールとして実際に役立つ英語力を身に付けることにある。

その方法として、多読・多聴による英語教育を実践している。これは、一言一句を対訳していくことによって英文を理解するのではなく、全体の流れをとらえて英語を英語のまま理解することを目的とした英語学習の方法である。われわれ日本

人は、英語を和訳して理解し、和文を英訳して伝えるという方法を取ろうとするが、英語を英語のまま理解するいわゆる「英語脳」を作ることを目指している。

もうひとつの方法は、文法にこだわらない授業展開である。英語の多くの授業で書いたり、発表させたりという活動を取り入れるとともに、文法的な正しさよりも発信した情報の量を重視する方法をとっている。文法的に正しい英語を意識するあまり言葉が出てこないという事態を避け、コミュニケーションのもっとも重要な要素である相手に何かを伝えることを重視した英語教育を展開している。

また、アメリカン・サマー・キャンプ、キャリア・アップ修学旅行、レシテーション・コンテストなどの学校行事により、実際に英語を使わなければならない機会を設けることにより、生徒の学習の動機づけや実践的な教育を図っている。

### 3 本校のビジネス教育

本校のビジネス教育の最大の特徴は、進学を目指すという設立の理念を踏まえ、資格取得に必要以上にこだわらない教育を展開しているところにある。

ただし、本校で資格取得そのものを否定しているわけではない。実際に、1年次にはすべての生徒が簿記3級を取得するように推奨し、また、特定の資格取得を目指す講座も設置している。本校の資格取得は、資格を持つことが進学、就職における生徒のセルフマーケティングの際に、他学科出身者との差別化を図る重要な要素となることを念頭に置いたものである。

この考え方を実現するために、本校のビジネス教育は大きく二つの流れを持っている。その一つ

がキャリア教育である。ここでは、各学年に1科目の学校設定科目を置き、自身の興味・関心、適性から将来の職業選択に至るプロセスを授業として行うことで、生徒のキャリア形成に関する意識を高めている。また、自分の意見を論理的にまとめ、発表する活動を重視し、1・2年次の科目の中での発表のほか、3年次にはプレゼンテーションを専門に学習する授業を設定している。

もう一つは、簿記、情報処理、ビジネス基礎から始まる商業科目の学習である。本校では1年次の3科目と3年次の課題研究を除き、2年次以降はすべて選択科目となる。並行して行うキャリア形成の学習を踏まえて、進学先、あるいは将来の進路を考えて分野を選択することになる。

#### 4 本校の国語教育

本校の国語教育は、国語力がすべての学習の基礎であるという前提の下、言語活動の充実とグローバル社会で必須の教養となるわが国の伝統文化を理解する教育を展開している。

言語能力の向上については、読書活動の推進、特にブックトークの実施がある。これは、ビブリオバトルとも言われており、生徒による書評の発表会である。読書感想文に代えて1・2年次の現代文関係の必修科目の中で年間に複数回実施し、生徒による相互評価も取り入れている。また、小論文指導を充実させており、選択科目や夏期講習等ではこのための講座も設定している。

さらに、伝統文化理解教育として古典教育の充実や百人一首大会、平安装束を着る会といった学校行事を設定し、我が国の文化に直接触れる機会を設けている。

#### 5 コミュニケーション能力の育成

本校はビジネスコミュニケーション科としてコミュニケーション能力の育成には特に注力している。すでに述べた英語科、ビジネス科、国語科の取組に加えて、各教科で発表活動を取り入れている。その際に、発表した内容が結果的に誤った解答であったとしても、自分の意見を適切な方法で表現することに重きを置くことにポイントがあ

る。

各教科の活動に加え、自分が推薦したい本を紹介するポスター（私のイチオシ）の作成、生徒・教員が書評を投稿する読書力新聞の発行などの取組も行っている。

#### 6 異文化理解、伝統文化理解教育

グローバル社会で活躍する人材に求められる素養の一つに異なる文化に対する理解がある。同時に、わが国の文化を正しく理解しておくことも必要である。

本校ではこのような視点から、1年次の夏にアメリカ合衆国の学生らとの交流を英語のみで行う宿泊行事としてアメリカン・サマー・キャンプ、2年次の夏にわが国に留学している学生との交流を図る「留学生が先生」、2年次の冬に主としてアジアからの留学生と英語による交流を図るキャリア・アップ修学旅行を実施している。また、主としてアジアからの修学旅行生の学校訪問を積極的に受け入れ、外国語によるコミュニケーションの機会を多く設定するとともに、外国人や外国文化と接する機会を設けている。

一方、既に述べた2年間継続する古典の授業、1年次の平安装束を着る会、百人一首大会などを通して、わが国の文化について理解する学習機会を設けている。

いずれも実施時期を工夫することで、単発的な学校行事あるいは授業となるのではなく、継続して学習することを可能にする工夫をしている。

#### 7 むすび

本校は開校6年目であって、第1期生が現在大学3年生である。そのため、本校の教育理念であるグローバル社会で主体的に生きる人材の育成について未だその検証はできていない。

一方で、卒業生の進路は、60%が4年制大学、25%が専門学校、進学準備と留学準備を合わせて約10%、就職が約5%となっている。

進学者のうち約50%は商業系を含む社会科学系の学部であり、進学型専門高校として一定の成果をあげているといえることができる。



## 日々の授業を大切にするキャリア教育

東京都立忍岡高等学校 生活科学科主任 教諭 佐藤 真紀子

### 1 はじめに

本校では25種類の家庭に関する科目を開講しており、25単位以上専門科目を取ることが卒業条件である。進路指導の中心は担任であるが、この多様な専門科目における学習そのものが、進路について考え、自己決定していく基盤となっている。本校のキャリア教育の概要について説明する。

### 2 授業における取組

#### (1)「生活産業基礎」

「生活産業基礎」は1年次の必修科目であり、模擬店舗経営（文化祭）と職業調べが大きな柱となっている。模擬店舗経営は、お客さんのニーズを考え、どのようなコンセプトの店にするのか、何をいくつ売するのか、商品の品質をどのように管理するのか、店の内装や店員の服装をどうするのか、赤字にも大儲けにもしない価格設定とは等々、様々な事を実体験をもって学ぶ場となっている。卒業時に、生活産業基礎で鍛えられたことが自分のモノづくりの基礎になっていると振り返る生徒も多い。後期には職業調べと発表を通して、憧れの職業の実態、なり方、収入、1日のタイムスケジュールなどについて知識を深めていく。

#### (2) 各専門科目

各専門科目の授業は、知識や技術の習得を通して、実際にその職業についてやっていけるのか、自問自答しながら進路を考えることにつながっている。決して器用とは言えない生徒もいるが、繰り返すことによって技術を自分のものにし、自信を深めることも多い。

さらに、すべての専門科目において20人以下の少人数授業を行っているため、技術の向上につ

ながるきめ細かい指導を行うことができる。技術指導の際のふとした会話から、自身の職業適性を考えたり、先輩が進学した学校についての情報を得たりすることが多々ある。進路指導の中心は担任であるが、日々の授業における専門科目の先生との会話から、進路への意識を固めていっている。生活科学科の担任は家庭科の教員であることが多いが、専門分野以外の情報は十分ではないこともある。家庭科13人全員で授業を通して生徒全体をみることが、生徒のよりよい進路選択につながると考えている。

#### (3) 市民講師・短期市民講師

スペシャリストを目指す生徒の学習を支えるために、資格を持った市民講師とのT.Tによる授業を実施している（表1）。

| 科目           | 内容               |
|--------------|------------------|
| ファッション・デザインⅠ | ファッション画          |
| ファッション・デザインⅡ | アパレルCAD、アパレル産業理解 |
| 子ども文化Ⅰ       | リトミック、ピアノ        |
| 生活と福祉        | 介護技術、手話、点字       |
| リビングデザインA    | 平面設計             |
| 生活教養         | 華道・茶道・着付け        |
| 調理A・B        | 調理技術             |

（表1）市民講師・短期市民講師を招く授業

例えば、ファッション・デザインⅡではアパレルCADを用いてワンピースの製図を行い、グラフィックソフトによりテキスタイルデザインを行った後、大型プリンターで布にプリントアウトしたものを縫製して仕上げる（図1）。商品企画の学習としてファッションボードも作成し、どの

ようなコンセプト・ターゲットを設定して作り上げた商品なのかをプレゼンテーションしている。この内、主としてアパレル CAD の指導について、服飾系専門学校の先生等を市民講師として招き、年 140 時間中、46 時間を T.T で授業している。



(図 1) CAD で作成した図面の印刷

他の保育、福祉、調理等の分野においても、専門家を市民講師として招き、具体的な指導を受ける機会を設けている。これら市民講師による授業は、あこがれの職業についているプロから直接指導を受けることにより、技術面の成長のみならず、業界の現状を知ったり、職業選択の意思を固めたりする非常に重要な刺激になっている。

#### (4) 校外実習

校外実習は授業の一環として行い、授業選択者全員を参加させている(表 2)。「子ども文化 I」では、児童文化財について学んだ後、読み聞かせの練習や、エプロンシアターの製作を行う。これを学校内での経験に終わらせず、東京おもちゃ美術館で子ども相手に実演することにより、教科書で学んだことの意味を身をもって理解することにつながっている。「リビングデザイン B」では、恵まれた立地を活かし、教科書に出ている“旧岩崎邸”などの歴史的建造物を見学し、現代の住空間の提案につなげている。また、専門科目ではないが、「奉仕」の授業においても、おやつや料理のレシピを考え、学童クラブの子ども達に教えるというイベントを行っている。様々な専門科目で学んできた子どもの発達、栄養、調理などに関する知識・技術を総動員して考え、実際に目の前の子どもた

ちに喜ばれる経験は格別のものようである。

保育体験活動や、介護施設の見学など、職業意識を高める校外実習の重要性とともに、学んできたことが社会の中で役に立つことを再認識できるような校外実習の利点も意識していきたい。

| 科目         | 内容                 |
|------------|--------------------|
| 子ども文化 I    | 東京おもちゃ美術館での読み聞かせ   |
| 子どもの発達と保育  | 保育体験活動、乳児とお母さんとの交流 |
| 生活と福祉      | 介護福祉施設見学           |
| リビングデザイン B | 旧岩崎邸庭園等の見学         |
| 奉仕         | 学童クラブ イベント実施       |

(表 2) 校外実習等の例

### 3 進路部の取組「キャリア・ガイダンスⅡ」

3 年次になると、普通科も含めて「キャリア・ガイダンスⅡ」の授業が始まる。ここでは、“理数”、“社会科学”、“国際・教育”などの系列に分かれて進路部による情報提供や指導が行われる。生活科学科の生徒の多くは生活科学系列に入るが、英文学を学びたいなど生活科学以外の進路を考えている生徒にとって、重要な情報源となっている。

### 4 終わりに

本校では 1 年次の「生活産業基礎」により職業意識を高めることからスタートし、各専門科目、市民講師や校外実習による刺激といった授業そのものがキャリア教育となっている。また、3 年次には進路部による「キャリアガイダンスⅡ」の授業も始まり、学校全体で生徒の進路意識を高める工夫をしている。これらを統括し、保護者も含めた三者面談なども実施しながら、一人ひとりの生徒に責任を持って対応するのが担任の役目となっている。

派手ではないが、日々の授業を大切にし、技術の習得を通して自信をつけていくことこそが、生活産業を目指す生徒にとって必要な職業観を養うと信じ、丁寧な指導を教科全体で行っていきたい。



## 産業教育につながる総合学科高校の取組

～『産業社会と人間』を通して～

東京都立若葉総合高等学校 進路指導部 主幹教諭 高橋 昌子

### 1 学校紹介

東京都立若葉総合高等学校は、平成17年多摩地区で最初の総合学科高校として、東京の南西郊外稲城市に開校した。1学年40人×6クラス240人規模で、在校生の多くは八王子、府中、多摩、町田などの近郊市から通学して来ている。卒業時の進路は大学・短大55%、専門学校33%、就職4パーセント（平成26年3月卒業生）という、進路多様校である。

総合学科高校の特色は、その教育課程に多くの選択科目が用意されているところにある。本校は「人間探究」「芸術表現」「伝統継承」「情報交流」の4系列（14分野）からなり、総合選択科目・自由選択科目から2年次14単位、3年次16単位を選択する。この科目履修計画をおこなうことで、生徒は自らの興味関心を自覚し、将来の進路のイメージを描いていく。

### 2 本校の「産業教育」

産業教育とは「産業に従事するために必要な知識、技能及び態度を習得させる目的をもって行う教育」である。商業高校、工業高校などの専門高校では、この概念をもとに教育がおこなわれている。

実のところ多くの総合学科高校は、普通科高校と専門高校を母体校としている。そこで、その母体校である「商業科」や「工業科」の遺伝子が残った教育課程があり、それぞれの「産業教育」がどこかされているのである。

それに対し、若葉総合高校は2校の普通科高校を母体校としている。そのため、いわゆる「産業教育」の色合いがほとんどない。また、近隣に

は基幹産業と言えるものがなく、梨畑に囲まれたベッドタウンの中で、「地域産業」を身近に感じることが少ない。そのような学校がおこなう「産業教育」とはどのようなものであろう。

若葉総合高校は、「自らを知り、その力を社会に貢献できる将来をイメージする」というキャリア教育を教育活動の大きな柱に据えている。翻って、「産業教育」は「勤労に対する正しい信念を確立し、産業技術を習得させるとともに工夫創造の能力を養い、もって経済自立に貢献する有意な国民を育成する」ことを基本的な目的としている。つまり産業教育の最終的な目標である「経済自立に貢献する有意な国民の育成」とは、取りも直さず本校が行っている「キャリア教育」の目標と合致するのである。

そこで、この「キャリア教育」を切り口に、本校の「産業教育」を考えてみたい。

### 3 『産業社会と人間』の取組

すべての総合学科高校は1年次に『産業社会と人間』を必修科目として置いている。若葉総合高校ではこの授業の柱の1本を、「社会人基礎力」である『チームで働く力』をつけさせる教育活動としている。コミュニケーション力と、『考え抜く力』をつける点でも、グループの力を活かした取組をさせているのが特徴である。

#### ①新入生キャンプ

入学当初に行われる新入生キャンプでは、2泊3日のほとんどが班でおこなうグループワークで占められている。与えられた課題は様々であるが、根底にあるのは、「仲間とコミュニケーションを取りながらチームで働く」ことを求める点にある。

本校に入学してくる生徒は、中学時代にそれほどリーダーシップを発揮してきたタイプではない。自分にはコミュニケーション力が乏しいと意識する者が多い。そのような生徒達が、新入生キャンプを経て、「自分の意見を言わないといけないと自覚した」「協力して一つのを成功させることの楽しさを改めて実感できた」などと感想を述べる。体験を通し、『チームで働く力』を実感したと考えられる。



(ズーム・リズーム) (サイクルタイムパズル)

＊「ズーム・リズーム」：自分の知っている情報を言葉で相手に伝える力を養う。

＊「サイクルタイムパズル」：設計図に基づいて木工パネルを組み立てタイムを競う。グループの誰一人として不要な人間はいないことを実感させる。

## ②ジョブシャドウイング

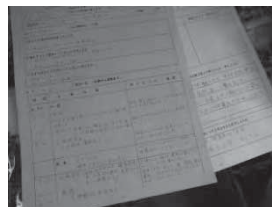
まだ15、6歳の生徒達には、経験があまりにも乏しい。そのため、将来や職業を考える際にも、今まで目にしてきた範囲で世の中を見てしまい考えを狭めてしまう恐れがある。具体的には、看護師や保育士、消防士といった「〇〇士(師)」と名の付く仕事しか将来の夢として思いつかないのである。そして、そういう「夢」が持てない自分は駄目なのだと思いこんでしまう。

世の中には多くの『仕事』がある。そのことを知ってもらうために「産業社会と人間」の授業では、いくつかの仕掛けをほどこしている。26年度の「職業研究」では、吉本興業株式会社の業務内容を調べ、ひとつの企業が様々な分野で活動していることを、班でまとめ発表した。

そして、何より生徒達が学びを深めることに繋がるのは、仕事の現場を自らの目で観察することである。そこで「産業社会と人間」では夏休みの課題の選択肢の中に、「ジョブシャドウイング」

を含めている。

「ジョブシャドウイング」とは、「働く人の仕事ぶりを『影(シャドウ)』のようについて回り、観察する活動」である。中学校の「職場体験」のように、子どもがやれる仕事をあてがってもらうのではなく、現場で働く人の生の姿を知る活動なのである。



(ジョブシャドウイングワークシート) (班内発表)

「ジョブシャドウイング」を選択した生徒達は、身近な社会人に依頼し、「職業人の1日」を観察させてもらう。あるいは三菱UFJフィナンシャルグループのジョブシャドウイング(東京都教育委員会主催)に参加した者もいる。(平成26年度は41名の生徒がジョブシャドウイングを選択した。)

生徒は観察内容をワークシートにまとめ、夏休み明けに班の仲間の前で発表する。そのことにより、活動をおこなった生徒はもとより発表を聞いた生徒も、「働く」ということの多様性や仲間とのコミュニケーションの大切さを知ることになる。

今後は学年生徒の多くを受け入れてもらえる職場を増やすため、国際ロータリークラブとの連携を検討中である。

## 4 まとめ

「2011年の秋に小学生となる子どもの65%は将来、今はない仕事に就く」というアメリカの社会学者の説がある。今ある社会だけを見せていては生徒の将来を考えさせていることにはならない。「働く意味」の普遍性を知らせることが、新しい時代を切り開く「産業教育」と言えるのではないか。本校の教育活動をそう考えていきたい。



## 社会の変化に対応した機械科教育を目指して

東京実業高等学校 機械科長 佐藤 卓司

### 1 はじめに

本校は、1922（大正 11）年、東京実業学校（商業課程）設立、東京都西神田に開校。1944（昭和 19）年には即戦力の技術者を養成するということで機械課程を併設、1970（昭和 45）年に電気科を設置、1976（昭和 51）年に普通科を設置、2010（平成 22）年に電気科ゲーム IT コースを設置した。平成 13 年の科の改編により、普通科文理コース・普通科ビジネスコース、機械科、電気科電気コース・電気科ゲーム IT コースの 3 科 4 コースとなり、今年で創立 92 年を迎えました。

### 2 機械科の取組

2006（平成 18）年に機械科・電気科が男女共学となり、これで全科・全コースが男女共学となる。機械科に初めての女子が平成 21 年に 1 名続いて、平成 22 年も 1 名入学。男子生徒と共に学び実習等を行い、卒業いたしました。実習や課題研究は各学年 3 部門とし、各クラスを 3 班に分け実施しております。1 年生は機械〔旋盤〕、溶接、電子工作。2 年生は機械〔旋盤等〕、材料試験、デジタルデザイン〔レーザー彫刻加工機・三次元モデリング加工機〕。3 年生は機械〔旋盤・平面研削盤等〕、材料試験、CAD 製図を行っております。

特に、基本切削を学んだ旋盤（せんばん：主軸に取り付けた円筒形の加工物に回転運動を与えながら、バイトという刃物で切削加工を行う工作機械）を使い、1 年ではコマを製作し、班内で競技会を行い、生徒達は「あ、回った」の一言で、流した汗を拭くのも忘れるくらい、喜んでいました。

3 年では、一人 1 個ダンベル（9 個の部品）を製作しています。二分割できるよう工夫、両側の



ダンベル（偏心穴付き）

ダンベル部に偏心穴をつけています。課題研究においては、アームロボットを利用した機械制御の学習、CNC 旋盤（コンピュータ数値制御コントロール：演算やモータ制御用にコンピュータが使われるようになったもの）を利用したものづくり（たまご形コマ：両手の親指と人差し指および中指で遠心力を与えると立ち上がります）。



たまご形コマ

昨年までの 2 年間で、工作機械等の新規購入・更新がおわり、平成 27 年度からは、実習内容を精選してロボドリル（マシニングセンターの一種で、切削加工を主に行うが、部品製作だけでなく

文字彫刻などの精密な加工もできる)、レゴマンドストーム(ロボットを組み立て、機械制御、プログラミングを学ぶ)、3D造形機(立体[3次元のオブジェクト]を造形する機器で複雑な形状の加工も簡単にできる)を加え、実施することになっています。特に、3D造形機は「製図」等の授業時に図面を作図させても、実際に立体を生徒に理解させるのが困難な面もあったが、3角法の図面より立体図を描く、立体図より3角法図面を選択するなどの学習に有用性が認められたので生徒自身の教材作りが楽しみです。

これからは、各種機械・機器の利点を生かし、個の部品から一つの完成品を仕上げるために、新しいものづくりを目指して、今まで以上に活力ある機械科にするため実習の内容を模索中です。

### 3 資格の取得

機械科に入学してくる生徒の多くは、学習面に苦手意識を持っています。そこで、将来の進路を見据え、資格の取得に目を向けさせています。

現3年生の取得状況は次のようになります。  
 アーク溶接特別教育 127名合格(合格率99%)  
 小型車両系建設機械特別教育 83名(100%)  
 ガス溶接技能講習 79名(90%)  
 フォークリフト運転特別教育 87名(97%)  
 有機溶剤作業主任者技能講習 57名(63%)  
 1ton未満移動式クレーン運転・玉掛け特別教育 75名(99%)

### 4 進路指導

1年次から、さまざまなプログラムを通じて指導しています。意識を高めるためにも校外の説明会等の参加も奨励しています。

大雑把であるが次に示すのが各学年の進路指導の流れです。(ブースを設けての個別説明。)

1年次 進路希望調査

2年次 進路ガイダンス(職業別体験講座)

3年次 進路ガイダンス(進学・就職)

※2学年保護者対象進路ガイダンス

平成25年度卒業生の機械科の内訳は、就職27.5%(17.8%)、大学17.6%(33.1%)、専門学校51.6%(44.4%)、未定3.3%(4.7%)となっています。( )は学年全体を表しています。

### 5 キャリア教育(全体の取組)

#### インターンシップ

主体は2年生ですが、1年次の時に希望を募り、目的や社会人と接する上でのマナーを学び、企業研究、自己紹介カードの作成、電話のかけ方、挨拶の仕方、お礼状の書き方等の指導を行いました。本年度は27の事業所の協力を得て、52名が参加しました。終了後は、来賓として事業所の方々にも出席いただき、本校アリーナにてインターンシップ報告会を行いました。

### 6 農家民泊体験(全体の取組)

農家の人々とふれあい共に生活する中で、農業のすばらしさや農産物にかかる労力や愛情を実感し、食の大切さを学ぶということを目的としています。4年目となった本年も26名の参加で実施しました。秋には、収穫されたお米が参加者に配られました。

### 7 おわりに

ものづくりの世界へ進む生徒が少ないというのが現状です。CNC旋盤やロボドリルの更新、有用な教育機材等が整ったのを機に、ものづくりの完成の達成感で終わっていた部分を、より進めて職業観や勤労観に発展させ指導することで、ものづくりの豊かな感性をもった人材を育成していきたい。ただ、懸念するのは、高度な機械になると指示された通り、材料をセットし、プログラムを呼び出して操作をする見張り番(保守要員)になりやしないかということです。ものづくりの感性を失わないように、工業の基礎・基本を生徒にしっかりと身につけさせることで、本校機械科の新たなものづくりを生徒達と実践していきたい。



## 高校で商業教育を展開する意義と可能性

—生徒の可能性を最大限に引き出す教育をめざして—

京華商業高等学校 教諭 杉山 広孝

### 1 はじめに

本校は明治34年に設立され、実社会の中核を担う人材の育成に貢献してきました。現在では都内で最も歴史のある商業高校の一つです。また、首都圏で唯一の私立共学商業高校として、新たな時代に対応する実学教育に主眼を置いています。

本校の目的は「人材の育成」にあります。これは学園の創立者である磯江潤が、孟子の「天下の英才を得て之を教育す」という言葉を建学の精神として掲げ、打ち出した指針です。「英才」とは、生徒一人ひとりの持つ才能・素質を、社会のリーダーとして発揮できるよう、素直に開花させていくことを意味しています。そして、校訓として「Never Die」を掲げています。これは、目的・目標に向かってやりぬく意志と行動力、そして自分自身と闘い、克服する精神力を表したもので、時代を通じて変わらぬ京華商業の精神＝Never Dieです。本校では、高校生活を通して、将来にわたっての指針となる人間性＝個性を育てると同時に、一人ひとりの夢を実現するための進路指導に重点を置いています。

変化の激しい現代社会では、自信をもって生きる強さと豊かな感性にあふれる「オンリーワン＝人間力」が求められています。本校では、社会生活に必要な「生活力」、豊かな教養と感性にあふれる「体感力」、自らを磨き将来に直結する「実学力」、これら3つの力の育成を「オンリーワン」教育の柱としています。

全国の高等学校（商業科）の平成25年3月卒業生の進路状況は大学・短大進学25.7%、専門学校進学28.7%、就職40.4%、その他5.2%となっています。また、本校の近年の進路状況は大学・

短大進学約55%、専門学校進学約35%、就職約10%の割合で推移しています。このデータから商業高校＝職業高校＝就職という認識はもはや過去の話であることは明白です。今日の商業高校に求められているのは、進学と就職のどちらにも対応可能な教育ということになります。

### 2 本校の主要カリキュラムと指導体制

資料1：平成25年度以降入学生用カリキュラム（抜粋）

| コース・学年<br>教科・科目 | 共通 | 大学進学コース |    | 情報処理コース |    | ビジネスコース |    |
|-----------------|----|---------|----|---------|----|---------|----|
|                 | 1年 | 2年      | 3年 | 2年      | 3年 | 2年      | 3年 |
| ビジネス基礎          | 2  |         |    |         |    |         |    |
| 課題研究            |    |         | 2  |         | 2  |         | 2  |
| 簿記              | 5  |         |    |         |    |         |    |
| 財務会計Ⅰ           |    | 3       | 2  | 3       | 2  | 3       |    |
| 原価計算            |    | 3       |    | 3       |    | 3       |    |
| ビジネス実務          |    |         |    |         |    | 2       | 3  |
| 情報処理            | 3  |         |    | 2       |    | 2       |    |
| ビジネス情報          |    |         |    | 4       | 3  |         |    |
| プログラミング         |    |         |    |         | 2  |         |    |
| マーケティング         |    |         |    |         |    |         | 3  |
| ビジネス経済          |    | 2       |    | 2       |    | 2       |    |
| 国語              | 4  | 8       | 8  | 4       | 4  | 4       | 4  |
| 英語              | 6  | 6       | 6  | *       | 5  | *       | 5  |

\*必修2単位、さらに選択科目として2単位履修可

1年次では共通カリキュラムによる幅広い社会性と基礎学力を養成します。2年次よりコース別指導による進路の準備と専門的知識・実力の養成をめざします。

大学進学コースでは、英語と国語の履修時間を普通科高校と同程度に組み、小論文対策、商業関

連知識の習得や資格取得などを通して、大学受験や大学入学後に必要な知識と能力を養い、レベルアップをサポートしています。また、大手予備校の授業導入など、さまざまな進路に合わせてよりフレキシブルな進学指導体制で臨んでいます。

情報処理コースでは、各種 IT 関連資格の取得をめざし、初歩から応用まで幅広く情報処理を学び、並行して簿記などの各種ビジネス系資格取得にも力を入れています。

ビジネスコースでは、各種ビジネス系資格取得のための実践的なカリキュラムで構成され、より高度な専門知識の習得をめざしています。

本校では、どのコースで学んでも進路を限定することはありません。コース選択＝学習内容の選択であり、コース選択＝進路選択ではありません。カリキュラムの特徴の一つとして、他の商業高校と比較して伝統的に語学（英語）の履修単位を多く設定していることが挙げられます。これは、創立当初より世界に目を向けた教育を行ってきたことのひとつの証ともいえます。

### 3 検定試験の活用と成果

資料 2：本校が取り組んでいる検定試験

| コース・学年<br>検定名                    | 共通 | 大学進学<br>コース |    | 情報処理<br>コース |    | ビジネス<br>コース |    |
|----------------------------------|----|-------------|----|-------------|----|-------------|----|
|                                  | 1年 | 2年          | 3年 | 2年          | 3年 | 2年          | 3年 |
| 全商簿記実務                           | ◎  | ◎           | ○  | ◎           | ○  | ◎           | △  |
| 全商商業経済                           | ○  | ○           |    | ○           |    | ○           |    |
| 全商情報処理                           | ◎  |             |    | ◎           | ○  |             |    |
| 全商ビジネス文書実務                       | ○  |             |    | ◎           | ○  | △           |    |
| 全商珠算・電卓実務                        | △  | △           | △  | △           | △  | ◎           | ○  |
| 全商英語                             | ◎  | ◎           | ○  | △           | △  | △           | △  |
| 日本漢字能力                           | ◎  | △           | △  |             |    |             |    |
| 日商簿記                             | △  | △           | △  | △           | △  | △           | △  |
| 情報処理技術者                          |    |             |    | △           | △  |             |    |
| 全商ビジネスコミュニケーション                  |    |             | △  |             | △  |             | △  |
| その他・・・硬筆・毛筆書写、全経簿記能力、実用英語技能、実用数学 |    |             |    |             |    |             |    |

◎・・・全員受検 ○・・・全員受検奨励 △・・・一部受検奨励  
空欄・・・希望者のみ

本校では、学習の一環としてさまざまな検定試験に取り組んでいます。検定試験に合格することを目標に掲げることでモチベーションを高めるようにしています。そして、コツコツと学習に取り組むことで充実感を得ながら、徐々に学習の習慣や姿勢を確立していきます。また、学習することの楽しさを感じるようになること、できるようになること、わかるようになること、得点が向上すること、合格することなどの体験を通して達成感を得られるようになります。そして、最終的にはやればできるという自信、さらに自分を高めていきたいという向上心、目標達成に向けた計画力、それを行動で示す実行力、自ら進んで取り組むという積極性を養成しています。

### 4 本校における商業教育の意義

生徒たちの潜在能力を開花させ、未知なる可能性を引き出すのが本校の教育です。

中学校まで勉学への関心の薄かった者に対して初めて学ぶ商業科目の学習をきっかけに学習意欲を高め、その取り組みを通して自学自習の学習姿勢を確立していくことが最大のねらいです。

高校段階で普通科目に加えて商業科目を学習することで商業（ビジネス）関連の基礎的・基本的な知識や技能を習得し、一人ひとりの興味関心の幅を広げることができます。さらに大学に進学した場合には、商業課程で学んできた者こそがもつ学問への探究心や探求方法を発揮することができるのです。その土台を築くのが本校の使命です。

### 5 おわりに

これからの新しい時代を切り拓いていけるような人材を育成するためには、それぞれ個性を持った一人ひとりの才能・素質を開花させ、それを最大限伸ばしていくことが大切です。高校段階で商業教育を施すことでそれを実践しているのが商業高校である本校です。今後も生徒たちの未知なる可能性を引き出していくために、世の中の変化に対応しながら、より効果的な教育実践をめざして取り組んでまいります。



## 造園デザイン科における資格取得と教育成果発表への取組

中央工学校 土木測量系学科長 土田 俊行

### 1 はじめに

本校は、明治42年(1909年)以来の建学目的を「工業技術を教授し、もって実務的な技術者を養成する」としている。創立105年目を迎える今日も、普遍的に継承されるものであり、その目的を達成するために、「厳しい実務教育」「人間涵養教育」「楽しい学校」「誇りの持てる学校」を教育の基本方針として、建築・デザイン・土木・測量・造園・機械CADなどの工業分野のみならず、商業実務分野及び文化教養、または国際的視点に立脚した留学生教育へと発展的展開を目指し、現在、昼間20学科、夜間3学科を設置している。

### 2 造園デザイン科の概要

造園デザイン科は昼間2年課程の学科で、造園技術者に必要な造園技能士(2・3級)や土木及び造園施工管理技士試験(2級)などの資格取得と造園デザインコンクールや国際バラとガーデニングショウなどの各種コンテストに出展するデザインの両方を学ぶ学科となっている。

今回は、造園技能士の資格取得と国際バラとガーデニングショウへの取り組みについて述べる。

### 3 造園技能士

造園技能士とは、国家資格である技能検定制度の一種で、造園に関する学科及び実技試験に合格した者をいい、等級区分は1級、2級、3級の別があり、造園技能士資格を持っていないものが造園技能士と称することは禁じられている。

造園技能士の役割は、住宅庭園の造園や庭木の手入れから公園、街路樹、公共施設、オフィスや工場緑化までありとあらゆる条件において必要と becoming 資格である。

本科では、1年次に3級、2年次に2級の合格を目標とした教育カリキュラムを実施している。

表のとおり、年間時間数の15～20%が受験対策授業として実施されており、その他に受験につ

|       | 3級対策     | 2級対策     |
|-------|----------|----------|
| 学科対策  | 54 時間    | 117 時間   |
| 実技対策  | 108 時間   | 117 時間   |
| 計     | 162 時間   | 234 時間   |
| 年間時間数 | 1,250 時間 | 1,330 時間 |



ながる学科などや検定試験直前には放課後や休日等を利用した特別授業も実施し全員合格を目指している。

その結果として、下表のように3級ではほぼ100%、2級でも全国平均を大きく上回る高い合格率を上げている。

## 造園技能士（3級）

| 年度  | 受験者数 | 合格者数 | 合格率   |
|-----|------|------|-------|
| H24 | 23 名 | 23 名 | 100%  |
| H25 | 19 名 | 18 名 | 94.7% |

## 造園技能士（2級）

| 年度  | 受験者数 | 合格者数 | 合格率   |
|-----|------|------|-------|
| H24 | 22 名 | 16 名 | 72.7% |
| H25 | 18 名 | 16 名 | 88.9% |

## 4 国際バラとガーデニングショウへの取り組み

## (1) 概要

国際バラとガーデニングショウは、世界のバラと美しいガーデニングを紹介する国内最大規模の祭典で 1999 年以降、毎年、西武ドームにおいてテーマに沿ったガーデンデザイナーによる作品展示、ガーデンマーケット、イベントプログラム、そして、本科が参加しているバラとガーデンコンテストなどが開催されている。



## (2) コンテストの概要

本科では、数ある部門の中から最大規模のガーデン部門に参加している。この部門は、プロ・アマ問わず参加でき、大きさ、形などが異なる 3 カテゴリーがあり、一次審査通過者は、会場で実際に作庭することができる。

| カテゴリー    | 面積  | 出展数   |
|----------|-----|-------|
| ガーデン A   | 24㎡ | 12 作品 |
| ガーデン B   | 12㎡ | 16 作品 |
| フロントガーデン | 6㎡  | 16 作品 |

## (3) 実績

本科では、1 年後期にコンテストの募集要項を実習授業における作品制作のテーマにして全員が取り組み応募している。

その結果、10 倍以上の倍率の一次審査を通過し、最終結果として以下の賞を受賞している。特に、ここ 2 年は、上位 3 組に与えられる準優秀賞を受賞している。

| 年度  | カテゴリー    | 審査結果 |
|-----|----------|------|
| H23 | ガーデン B   | 奨励賞  |
| H24 | フロントガーデン | 奨励賞  |
| H25 | フロントガーデン | 準優秀賞 |
| H26 | ガーデン B   | 準優秀賞 |



## 5 まとめ

造園デザイン科では「実務的な技術者を養成する」建学目的を達成するために、このような実務教育を実施し、その成果として、実務に役立つ資格取得の高い合格率とプロにも負けないコンテスト入選結果を得ている。

また、この他にも企業におけるインターンシップ、学校施設の環境整備、東京都や北区などの地域での造園・園芸関係イベントの協力など、学校内での授業と並行して様々な実務的な教育を積極的に取り入れている。

今後も、このような実務教育を継続し「即戦力の造園技術者」を造園業界に送り出すように教育に当たる。



## 日本の職業教育を大きく担っている専門学校

東京誠心調理師専門学校 校長 廣瀬 道

### 1 これからの職業教育

日本の職業教育を大きく担っている専門学校。今、日本の職業教育が、大きく変わろうとしています。それが、「職業実践専門課程」の創設です。

今までは、学術・研究を担ってきた大学や短期大学と職業教育を担ってきた専門学校の両輪あってこそ、日本の産業社会を向上させて来たのではないだろうか。

この「職業実践専門課程」は、今までの専門課程の教育と何が異なるのか。

#### 【認定要件】

- 1) 修業年限が 2 年以上
- 2) 総授業時数が 1700 時間 以上または、総単位数が 62 単位 以上
- 3) 企業等と連携して、演習・実習等を実施
- 4) 企業等と連携体制を確保して、授業科目等の教育課程を編成
- 5) 企業等と連携して、教員に対し、実務に関する研修を組織的に実施
- 6) 企業等と連携して、学校関係者評価と情報公開を実施

というような要件が、必要となります。

\* 文科省資料抜粋

上記の内容は、強いては、専門学校の質保証

に繋がることとなります。私たちは、専門学校は、大学のような偏差値や研究発表という場が、著しく少なく就職率や退学率など抽象的指標をもって専門学校の評価をされがちです。

しかしながら、学校別の教育の質保証は、全ての学校でされるべきでありながら、なされていないことの話題にもならない現状を考えると、大きな指標となるべく期待をするところであります。

### 2 本校での取組

調理や製菓系の専門学校における、教育の質保証とはなんでしょうか。技術力の向上、取得資格の多さではなく、外食産業に就職した時のスキルと仕事に立ち向かう姿勢（人間力）育成こそ、職業人たる資質の向上に繋がるものと考えております。

そこで、本校では、「技術」、「理論」と「実践」をベースに技能を細分化しました。調理師や製菓衛生師が、現場で求められるスキルを身につけることが、重要なポイントとなります。調理若しくは製菓技術の習得、販売する販売力と経営感覚を身につけることを第一に教育をしております。カリキュラムの構成としては、1年次に

基本技術の習得に向けて衛生面も含めた教育を実施し、2年次に応用技術の習得とレストランシミュレーションを実施することで、販売力を身につけます。また、2年次では、販売の他に「レストランマネジメント論」で材料の原価計算から商品開発までを学び、経営感覚を身につけていきます。そして、これらをトータルに学ぶことにより食のリーダーとなりうる人材の基本を学びます。

学内で学んでいるカリキュラムの修得を確認する意味でも、企業とのインターンシップ（校外研修）を実施し、学内での教科を確認することができるシステムになっています。

そして、本校の技術指導の中には、習熟度制を導入することにより、学生ひとりひとりが、どのレベルまで技術が到達しているかが、分かるようにしています。

これは、現場の状況が「経験」と「勘」にだけたよるのではなく、技術に裏付けされた理論をしっかりと学ぶことで、調理や製菓技術の応用を理解するのです。

### 3 教員としてのスキル

また、本校では、教員（先生）サイドが、定期的に外食産業での講習会参加や企業に技術や理論向上の目的で現場研修制度を導入しています。教員の技術力低下は、職業教育にとって最大のポイントとなります。学生には、常に最新の調理や製菓技術の提供をしなければなりません。勿論、基本技術を習得した上で、その技術

をどのように応用するか、その為には教員の技術向上は、不可欠な課題となってきます。また、現場では、様々なお客様をお迎えし、様々なリクエストに応えるが故に様々な技術が求められてくるのです。教員をそういう場で学ばせることも大切なことと考えております。そして、なによりもお客様のことを考える姿勢を学ぶ必要だと思えます。

### 4 終わりに

今後、職業教育における本校（専門学校）では、学校と企業とが連携を図り、学生や教員の人材交流や学校自身と外食企業による教育内容の見直しを初め、更にカリキュラムを常に進化させることこそ、専門学校の役割ではないかと思えます。入学をする方の為に、在籍している学生の為にも一定水準の知識と技能を修得し、フードビジネスマンとしての人間性向上してこそ、職業教育といえるのではないかと考えております。

職業教育＝専門学校を選択する際に、我々学校として教育サービスの提供内容をしっかりと見てから学校選択をすることが必要です。入試方法や楽しさだけで入学を決めても、その先に何があるのか。その先にどうなるのか。という視点を決して忘れてはいけません。

職業教育のスタンダードを日本として統一することも一方では、必要だと思ひ皆様方に職業教育の素晴らしさをお伝え出来れば幸いに思います。



## 未来の生活を創造し、問題を解決する力の 基礎を育てる「中学校技術・家庭科」

東京都中学校技術・家庭科研究会 研究部長

足立区立第十二中学校 校長 杉浦 伸一

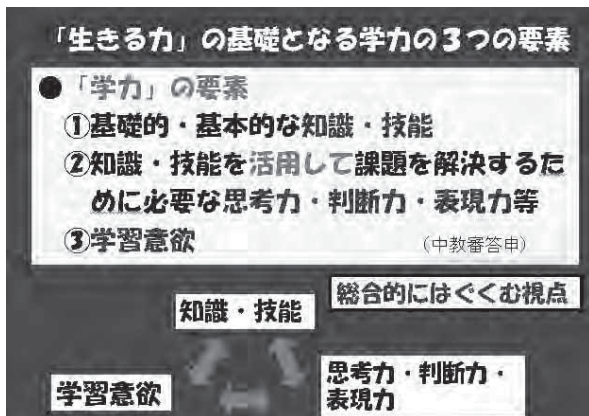
### 1 はじめに

約60年振りに教育基本法が改正されてはや8年、時代や社会の変化に対応できる、確かな学力、豊かな心、健やかな体の調和を重視する「生きる力」をはぐくむことが教育に求められています。

「技術・家庭」科は、中学校だけに設定されている教科ですが、小学校で学んだ様々な学習を総合して問題解決能力を図る、社会や身近な生活に最も関連した教科です。ここでは、新しい時代を切り開く産業教育の入口（基礎）となる本教科の特質や内容、育てたい力について紹介します。

### 2 学力の3要素

確かな学力とは、学習指導要領等で定める学力の3つの要素（下図）が相互に関連し合うことで効果的にはぐくむことができるとされています。



また、基礎的・基本的な知識・技能を活用して思考力、判断力、表現力等を育む学習活動の充実には、①体験から感じ取ったことを表現する②事実を正確に理解し伝達する③概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする④情報を分析・評価し、論述する⑤課題について、構想を立て実践し、評価・改善する⑥互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。などを有機的におりませながら、習得→活用→探究

のサイクルをスパイラルに展開することが効果的であるとされています。

### 3 「技術・家庭」科の学習内容

本教科は、大きく技術分野と家庭分野の2つに分かれています。各分野には下図のようにそれぞれ4つの学習内容があります。

#### ○技術分野

- A. 材料と加工に関する技術
- B. エネルギー変換に関する技術
- C. 生物育成に関する技術
- D. 情報に関する技術

#### ○家庭分野

- A. 家族・家庭と子どもの成長
- B. 食生活と自立
- C. 衣生活・住生活と自立
- D. 身近な消費生活と環境

実践的・体験的な特質をもつ本教科ではこれらの学習内容の、「習得→活用→探究」スパイラルを特性に合わせて下図のように構成したりします。

#### ○技術分野

- ↓現代社会で活用されている技術に関する学習（習得・知る）
- ↓技術を活用したものづくり製作・制作・育成（活用・つくる）
- ↓技術を評価し活用する能力と態度の育成（探究・評価する）

#### ○家庭分野

- ↓家庭での聞き取り調査の計画（習得・課題）
- ↓実験・実習方法を考える（計画）
- ↓実験・実習（活用・実践）
- ↓実験・実習結果を家庭での実践化に生かす（探究・評価、改善）

#### 4 言語活動の充実

全ての教科で、確かな学力の定着には、言語活動の充実が重視されています。本教科では、言葉を豊かにし、論理的思考や生活の課題を解決する能力をはぐくむ視点を重視することから「技術・家庭科の指導については、衣食住やものづくりなどに関する実習等の結果を整理し考察する学習活動や、生活における課題を解決するために言葉や図表、概念などを用いて考えたり、説明したりするなどの学習活動が充実するように配慮することとしている。」としています。

#### 5 今日的な課題や問題を解決する基礎を培う

世の中や社会の問題をあげてみると

少子高齢化、不況、情報の氾濫、ハイテク犯罪  
環境問題（公害・地球温暖化）、資源枯渇、生活習慣病、生活様式や価値観の多様化、いじめ、自殺、原発問題、食生活の乱れや消費者トラブル、ストレス社会

家族間の希薄化、児童虐待（家庭の機能低下）  
自立できない子供、自立させない保護者  
ものづくり離れ、職業観・勤労観の未熟さ、など

これらの問題のほとんどは、本教科の学習内容の中で題材として取り上げることができる。道徳的な教育内容も含めて、学習した知識や技術が実生活で十分生かされるよう、計画的・実践的な指導が求められています。

#### 6 東京都中学校技術・家庭科研究会の研究

本研究会では、東京都の技術・家庭科教員への授業力向上支援を行っています。また、子供たちが生き生きと学習する姿を目指し、授業を通して思考力・判断力・表現力を育て、習得した力を活用し工夫・創造する力を培う技術・家庭科教育について、実践的な研究を行っています。

##### ①本年度の研究テーマ（技術・家庭科共通）

「持続可能なよりよい生活や社会をめざし、自ら考え、行動しようとする生徒を育てる」

##### ②各分野の研究

##### （1）技術分野（D. 情報に関する技術）

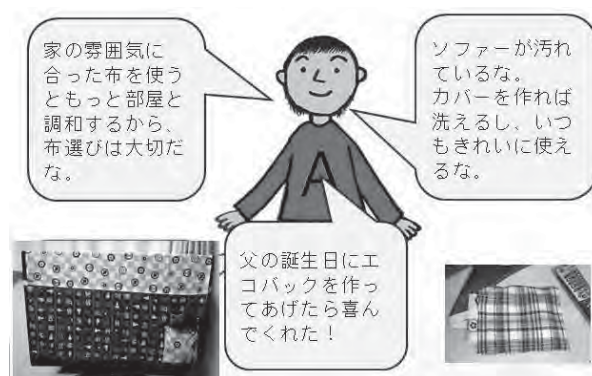
研究テーマ「デジタル作品の設計・制作における指導法の研究～評価活動を重視した指導～」



「リサーチ」活動

##### （2）家庭分野（C. 衣生活・住生活と自立）

研究テーマ「持続可能な社会をめざし、主体的に衣生活・住生活をデザインする生徒の育成～実践的・体験的な活動場面を重視した指導の工夫～」  
※各分野4つの分科会の1つが順番に、関東甲信越大会（10の都県）で東京都提案を行います。



課題と実践【テレビカバー】

#### 7 まとめ

「技術・家庭」科の目標は、「生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる」ことです。本教科は、今、社会や家庭など身近で起こっている様々な問題を題材にして直接、実生活に役立てることのできる教科です。先人の人々の築いてきた知恵をなぞり、現在を見つめ、これからの新しい時代を切り拓いていく人材を育成することのできる素晴らしい教科と自負しています。



## 新しい時代を切り拓く技術者教育の試み

東京都立産業技術高等専門学校 副校長 渡辺 和人

### 1 初めに

近年の科学技術の進歩は目覚ましく、私達の世界を短時間で一変させています。我が国でも、家電の生産を始め、重化学工業の発展や半導体産業による情報通信革命は経済発展の原動力となってきました。他方科学技術は、生活の豊かさや便利さを創出しただけでなく、公害、地球温暖化問題及び自然生態系の破壊など「影」の面も生み出しています。現代の技術は社会のグローバル化や科学技術の高度化・複雑化をとともなうため、技術者は個々に技術の改良や問題の解決に取り組むだけでは不十分で、社会や環境等への影響も考慮し、お互いに協力して複合的に問題の解決に当たることが求められています。

### 2 本校の求める技術者

東京都立産業技術高等専門学校（以降本校と表記）の使命は、「首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成」で本科の教育理念は「使命を実現するために、科学技術の高度化、複合化、グローバル化に迅速に対応できる応用力、創造力を有した実践的な技術者を育成する」と謳っています。本校では、社会の要求を適宜教育に取り入れるために、外部有識者による運営協力者会議や本校の卒業生が就職している企業を対象にしたアンケートを実施しています。表 1 に示した本校が平成 25 年度に実施した「企業調査アンケート」では、企業が本校に要望

する注力すべき教育は更なる「実践的な能力」の強化の他に「コミュニケーション能力」や「問題解決能力」の育成が挙げられています。

|                       | 1位                  | 2位                                               | 3位                     | 4位                          | 5位                        |
|-----------------------|---------------------|--------------------------------------------------|------------------------|-----------------------------|---------------------------|
| 企業アンケート<br>(平成24年度実施) | コミュニケーション能力の育成(72%) | 図面の読み書きや加工法、回路設計及びプログラミング等の提案ができる実務的実践能力の育成(57%) | 豊かな人間形成に向けた人間力の育成(55%) | 課題解決型学習による問題発見・解決能力の育成(51%) | 大学と異なる徹底的なものづくり教育の実践(42%) |

表 1 本校の注力すべき教育（本校 HP 参照）。

### 3 エンジニアデザインの概要

一般的にエンジニアリングデザイン教育（Engineering Design Education：以後 ED 教育と表記）とは問題発見・解決能力の高い技術者を育成するための教育で“学生が自ら持っている知識・情報・技術を用いて社会的・技術的な問題を自ら発見し、自ら解決することを体験させる”ことを指します。技術者教育の同等性を相互承認するための国際協定であるワシントン協定に参加す

1. 解決すべき問題を認識する能力
2. 公共の福祉、環境保全、経済性などの考慮すべき制約条件を特定する能力
3. 解決すべき課題を論理的に特定、整理、分析する能力
4. 課題の解決に必要な、数学、自然科学、該当する分野の科学技術に関する系統的知識を適用し、種々の制約条件を考慮して解決に向けた具体的方針を立案する能力
5. 立案した方針に従って、実際に問題を解決する能力
6. 論理的に考え適切に表現するコミュニケーション力
7. チームで協力して物事に取り組むチーム力

表 2 本校の ED 教育で育成する能力

る際に、日本の技術者教育は「ED 教育」が弱いとの指摘を受けています。本校では上記の項目以外に①チームで活動する能力や②口頭発表や討論のコミュニケーション力を含めた教育を ED 教育としています。本校の ED 教育で育成する能力を表 2 にまとめました。

これまで、本校の本科の卒業研究や専攻科の特別研究がこれらの教育の役割を担っているとしていましたが、アンケートの結果では問題解決能力、チーム力及びコミュニケーション力の育成が指摘される結果になりました。そこで、平成 26 年度と 27 年度に、専攻科の特別ゼミナールの時間を使って ED 教育の試行を始めることにしました。

#### 4 本校の ED 教育の概要

| 4月    | 5月             | 6月                          | 7月                           | 8月                  | 9月 | 10月              | 11月         | 12月 |
|-------|----------------|-----------------------------|------------------------------|---------------------|----|------------------|-------------|-----|
| ガイダンス | 企画立案<br>☆企画立案法 | ★電気設計法<br>★機械設計法<br>*信頼性 品質 | 計画・設計<br>デザインレビュー<br>*検証・評価法 | デザインレビュー<br>(自由 検討) |    | ★マイルストーン<br>☆製造法 | 試作<br>検証・評価 | ☆発表 |

表 3 主なスケジュール。☆は担当教員、★は学生、\*は外部講師。

荒川キャンパスでは 4 つのコースを融合した ED 教育、品川キャンパスでは機械、電気・電子及び情報の 3 つの ED 教育が展開されます。それぞれの ED 教育では、各チーム 3 名で構成し研究室等が異なるように選抜しています。まず、大きなテーマを与え、各グループ毎にブレインストーミングを通して課題を決定させます。各グループは毎週特別ゼミナールの時間（2 時間）に活動しますが、放課後、ED 教室で自主的に活動できるように配慮しています。一例として荒川キャンパスでの ED 教育の状況を示します。本年度のテーマは“学校をきれいにする装置の開発”で各チー

ムの提案した課題は“新たなごみ箱の開発”、“自動黒板消しの開発”及び“床掃除器の作成”です。中心となる教員を 1 名配し、導入教育として外部講師を含め数名の教員がその任に当たっています。外部講師からは本校教員では指導できない“信頼性・品質”や“検証・評価法”について学習します。表 3 には具体的なスケジュールを示しています。前期では 7 月までに課題の図面や回路等を設計し、発表会で提案し夏休みに再検討します。後期は具体的な作品の作成を目指して活動が続けます。

#### 5 今後に向けて

現在までの ED 教育の試行で浮き彫りになった問題点は①導入教育の仕方、②テーマの設定及び③評価の仕方が挙げられます。①の解決として先進校への教員の派遣や、相互教育を行っています。②は高専祭等での発表会に地域の多くの人々がその評価に参加できるようなテーマの設定を考えて試行錯誤をしています。③の評価をどのように捉えるかは非常に重要です。実社会に存在する課題解決にそのまま適用可能で、効果の高い提案が理想的ですが、質の高さを追求すると教員の指導が過剰になり、ED 教育としての実効が不十分となってしまいます。ED 教育の“自ら協力して考える”という目的を実現するためには、解決策自体の実用性よりも、学生が自ら持っている基礎的技術を組み合わせて解決策を構築するプロセスに重点を置き評価すべきであると考えます。このことは教員側にとっての“ED 教育”であり、正解はありませんので常に検討が必要と考えます。本校では平成 28 年度に専攻科で本格導入し、本科は平成 29 年度の導入を目指して現在準備を進めています。



## 生徒の社会的自立を目指した都立工業高等学校の取組

東京都教育庁指導部高等学校教育指導課 指導主事 鈴木 誠

### 1 はじめに

平成26年11月、文部科学大臣は、「初等中等教育における教育課程の基準等の在り方について」を中央教育審議会に諮問した。冒頭部分には、「生産年齢人口の減少、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等により、社会構造や雇用環境は大きく変化し、子供たちが就くことになる職業の在り方についても、現在とは様変わりすることになるだろう」と記されている。

子供が確かな学力や豊かな人間性、たくましく生きていくための健康や体力を身に付け、次代の担い手として、社会の中で自立して生きていくため、現在、都立工業高等学校が取り組んでいる事例を紹介する。

### 2 東京都教育ビジョン（第3次）と都立専門高校技能スタンダードの策定

平成25年4月、東京都教育委員会は、「社会全体で子供の『知』『徳』『体』を育み、グローバル化の進展など変化の激しい時代における、自ら学び考え行動する力や社会の発展に貢献する力を培う」ことを基本理念として、東京都教育ビジョン（第3次）を策定した。この理念を実現するための視点として、「変化の激しい社会を生き抜く思考力・判断力・表現力や創造力等を育てる」ことを挙げている。

また、国内の産業構造・就業構造の変化に伴う雇用の多様化・流動化の進展などに応えるため、生徒が身に付けるべき技術・技能の具体的な内容を示した「都立専門高校技能スタンダード」（以下「技能スタンダード」という。）を策定した。

### 3 第21回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会

東京都教育委員会及び東京都立工業高等学校長会は、平成26年11月22日に第21回東京都高等学校工業科生徒研究成果発表大会を、都立総合工科高校を会場に開催した。

本大会は、生徒の主体性、創造性及び課題解決能力、表現力などの育成に努め、高等学校工業科相互の活動状況を理解することを目的としている。また、工業高校に対する理解を促すため、中学生やその保護者、中学校関係者、大学、産業界、さらに地域社会等に広く公開することにより、工業教育の振興・充実に資することとしている。当日は、19校が参加し、30テーマについて、口頭発表やポスター発表を行い、審査員や多くの来場者の前で緊張しながらも、日頃から取り組んでいる課題研究等の成果を堂々と発表していた。

口頭発表は、実践報告部門及び学術研究部門に分け、課題解決に向けた工業技術者としての能力や態度や、プレゼンテーション能力等の発表技術など、発表内容や発表技術について審査を行い、



最優秀賞には、実践部門で六郷工科高等学校「光で学ぶ・遊ぶ電子玩具～LED BOX～の製作」が、研究部門で多摩科学技術高校「ハイドロタルサイトによるプラスチック油化～南の島からゴミをなくせ！！～」が選ばれた。



#### 4 平成26年度わくわくどきどき夏休み工作スタジオ

東京都教育委員会は、平成26年7月下旬から8月にかけて、小・中学生約1500名を対象に、ものづくりを体験してもらい、ものづくりへの興味関心を高めることで、将来のものづくり産業を支える人材を育成していくことをねらいとした「平成26年度わくわくどきどき夏休み工作スタジオ」を、都立工業系高等学校19校の会場で開催した。

本事業は、平成19年度から開始し、8回目を迎えている。作品完成まで工業高等学校の教員や、アシスタントとして参加する高校生が懇切丁寧に



教え、小・中学生がじっくりと時間をかけて取り組めるプログラムとなっている。

参加者は、都立工業系高校の生徒や教員の指導を受けながら、光ったり動いたりするおもちゃやロボット、木や金属などの素材を生かした作品づくりなどに、楽しそうに取り組んでいた。

#### 5 終わりに

高等学校学習指導要領解説工業編においては、「各科目にわたる指導計画の作成と内容の取扱い」の中で、外部人材について、以下のように記している。

- ・地域や産業界との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努めること。

- ・工業に関する各分野の第一線で活躍する地域や産業界の技術者、特に、伝統技能継承者や熟練技能者を学校に招き、実践的な指導を生徒が直接受けることや優れた技術・技能を見学することは大変効果的である。各学校においては、特別非常勤講師制度などにより、社会人講師等を積極的に活用することが大切である。

今後、工業高校は、ものづくり人材の育成を柱に、地域の次代を担う中核的人材、グローバル人材の育成など、教育に対する社会からの要請に今まで以上に応えていく必要がある。

また、こうした多岐にわたる諸課題を解決するためには、内部の改革を進めるとともに、外部の力を積極的に取り込むことのできる柔軟な学校組織を構築することが大切である。

今後も、工業の各専門分野に関する基礎的・基本的な知識や技術の習得を重視するとともに、就業体験等、実社会や職業との関わりを通じて、生徒の社会的自立に向けて必要となる能力や資質を醸成していく。



## 若い技術者、未来の技術者とともに

株式会社オーム社 常務取締役 大久保 智明

### 1 科学技術とともに歩んで 100 年

小社は、大正3年（1914年）に、社名の由来ともなっている電気雑誌『OHM』の発刊とともに創立しました。創業者の広田精一は、現在の東京電機大学の前身である電機学校（明治40年（1907年）創立）の創立者の一人でもあります。この電機学校は「実学尊重」を建学の精神として掲げていましたが、折から電力技術の勃興期を迎え、東京にある電機学校のうちだけにとどまらず、全国の電気技術者の育成・発展を目指して月刊誌『OHM』は創刊されました（図1）。以来100年、本誌は欠けることなく刊行を続け、現在に至っています。



図1 『OHM』創刊号の表紙

なお、「OHM」ないし「オーム」という名称からは、電気抵抗の単位が強くイメージされます。『OHM』誌の発刊の辞には、「オームは“抵抗”を連想します。確かに、雑誌や本を発行し続けるうえでは、様々な抵抗・障害が予想されますが、私たちは平凡な安易な道を歩もうとは思いま

せん。必ずやオリジナリティにあふれた我が国特有の学問・技術を確立することを目標とします。」という意味の言葉が述べられています。小社では、この先人たちの気概に満ちた理想を忘れることなく、出版活動を続けていきたいと思っています。

### 2 検定教科書の発行

小社では、月刊誌『OHM』などの定期刊行物5誌に加え、電気分野だけでなく、理工学の幅広い分野を網羅する書籍を年間約250点発行しています。内容的にも、一般書・入門書から、教科書・参考書、実務書、専門書、そして大辞典やハンドブックなどの大きなものまで様々ですが、最も力を入れているものの一つが、次世代を担う若手技術者の育成を目的とした書籍です。その中でも、50年以上前から、工業高校向けの検定教科書、実習書、演習書、参考書などを多数発行してきました（図2）。小社の工業高校生向け書籍の特徴は、「実学尊重」の立場から、現場技術をわかりやすく解説しているとともに、将来、技術者として実

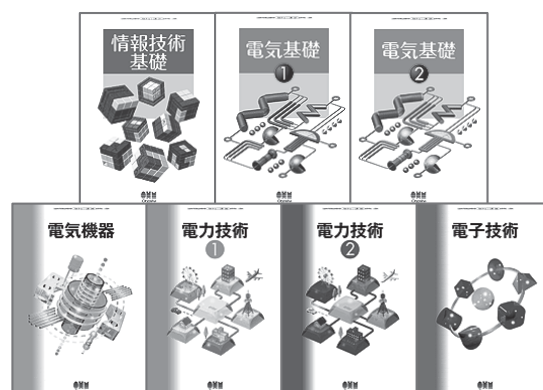


図2 検定教科書など

務に就き、あるいは大学等に進学して学ぶうえで、さらに豊富な小社の実務書・専門書を読むための好適な入門書となっていることです。

### 3 各種資格試験対策書の発行

また、小社では、検定教科書だけでなく、工業高校生向けを含む資格試験の受験対策書を多数発行しています。現在、多くの工業高校では、在学中に様々な資格を取得することが推奨されています。小社では、電気系の第一種および第二種電気工事士や第三種電気主任技術者試験をはじめとして、工事担任者や無線技士、さらに人気定番資格の危険物取扱者や消防設備士、電気・土木・建築などの施工管理技士、測量士補や冷凍・高圧ガス関係まで、幅広い分野で好評を得ている書目を豊富に揃えています（図3）。若い学生の方々が、これらの書籍で難関の資格試験を突破し、自信と希望をもって社会に巣立っていかれることを心から願っております。



図3 様々な資格試験対策書

### 4 ロボコンマガジンについて

さらに、小社が若手技術者の応援・育成を目指して活動しているものの一つに、ロボット総合情報誌『ロボコンマガジン』（隔月刊）があります（図4）。テレビで話題となった高専ロボコンや大

学ロボコンをはじめ、小学生から社会人までが競う全国各地の様々なロボットコンテストを紹介するとともに、電子工作やプログラミング、機械加工の基礎から、広くものづくり全般までを網羅しています。また、ロボットコンテストだけでなく、ロボット全般、例えば災害救助ロボットや介護ロボットの最新技術をやさしく解説するなど、若い方々に大変人気の雑誌となっています。

理工系離れやひきこもりなどが話題となる中、本誌の中で大活躍されている高校生や大学生を見ると、日本の将来に明るい希望が湧いてくるように感じられます。



図4 ロボコンマガジン

### 5 未来の技術者に期待する

「鉄は熱いうちに打て」とよくいわれます。確かに、学ぶことに遅すぎるということはないものの、小社が対象としているような理工学の分野では、やはり基礎的な数学力や物理・化学の知識が不可欠であり、若い頃の着実な学習が大変重要です。また、科学技術分野における目覚ましい進歩も、実は若い20代・30代の技術者の方々の日々の地道な努力によって支えられています。

小社では、創立時の理想を忘れず、親切でわかりやすい理工学書の出版を通して、今後とも若い技術者、未来の技術者を応援していきたいと思えます。



## 人と地球と建物のより良い未来を切り拓く

株式会社キクチ 代表取締役社長 菊地 照巳

### 1 次世代を担う「建物の専門医」の育成が我々の使命です

2020年に開催される東京オリンピックに向けて、私たちが事業を展開するBA（ビルディングオートメーション）システム業界も俄に活況を帯びてきました。株式会社キクチは、建物の空調自動制御システム・BAシステムの予防保全・保守・運用管理サービスを手がける専門企業としてこの40年間発展を続け、社員数も250名を超えるまでに成長してきました。その一方で、昨今の顧客ニーズや著しい技術革新により、近年の建物環境は多様化・複雑化を究め、さらに省資源・省エネルギーなどの地球環境保全の問題はよりクローズアップされるようになってきました。そのような状況を鑑みると、これからの社会を支える「安全快適な建物環境の実現」のためには、より高度な専門知識と技術を備え、トータルに物事を判断できる「建物の専門医」の育成が急務ではないかと考えます。これから学校を出て社会に入られる方々にもその一翼を担っていただきたいと考えております。幸いにも、私たちは、お客様の建物を計装設計・施工・調整・メンテナンス・省エネルギーソリューション・運用管理サービスまでトータルにサポートするサービス体制を構築し、お客様にご満足いただける品質と技術の追求に向けた新たな取り組みを進めています。また、上海、東南アジアなどグローバルな市場動向も考慮した上で、常に時代の一步先をリードする「快適建物環境の実現」のために、さまざまな新しいサービスを提供できるよう尽力する所存です。

私たちキクチは、次の企業理念を全社員で共有しながら事業を進めています。

#### ・個人の尊重

企業は人なりと言われるように、各個人の力が集約された結果が企業の力となります。

キクチは社員一人ひとりを尊重し、各人の能力が最大に発揮されるように務めています。

#### ・品質と技術の探求

常に優れたサービス品質を提供して初めて、お客様に満足いただけます。

そのためにはたゆまぬ技術の研鑽が必要となります。

#### ・環境保全を通して社会への貢献

キクチは事業を通じてお客様に建物やシステム、機器の省エネルギーを進めることで地球環境の保全に寄与し、社会に貢献しています。

### 2 人間力、技術力を備えた人財の育成

「企業は人なり」の言葉が示すように、大切な財産である人財の可能性がその企業の発展に大きく寄与すると考えています。特にメンテナンスを主体に、施工、ビル管理、省エネルギーソリューション等の技術を複合し、サービスという形で提供するのが当社の業務です。

お客様が悩まれている問題点を引き出し、適切な解決策を提示できる優れたコミュニケーション能力を備えると共に、それを裏打ちする技術力や公的資格を備えるよう、人財育成に重きを置き、技術力、営業力、人間力向上をめざす各種プログラムを用意し、社員教育や資格取得に力を入れています。

### ・人間力の育成

お客様に感動を与えるサービスを提供するため入社時の基本教育を始めとして顧客満足、コンプライアンス、モチベーション、コミュニケーション等の能力の育成強化を階層別研修を主体として行っています。

### ・技術力の育成

常に最先端の技術を追い求め、社員一人ひとりがメンテナンス対象となる旧システムから新システムまで、フレキシブルに対応できる技術力を育成するため、WEB教育の採用と専門技術講座を開設し対象者に参加してもらうことで技術力向上を図っています。

### ・公的資格取得の奨励

公的資格取得準備の通信教育、外部講習、受験料の全額会社負担や取得奨励金授与などの資格取得奨励制度を創設し社員の資格取得を補助しています。

### ・OJT が重要

以上各種プログラムや制度をもとに人財の育成を進める中で、要となるのはOJT（オンザジョブトレーニング：実務を通じた育成）といえます。新人にはマンツーマンの職場指導者を配し指導と仕事外も含めた面倒見を行うようにしています。

プレゼンテーション技術が向上していることがうかがえます。また、彼らから寄せられる感謝の言葉は次年度への励みとなっています。さらにはこのインターンシップが契機となって入社する方もおり副次的なメリットにも繋がっております。

このようなかかわりを通して産業教育に望むことを考えてみますと、学校として学生たちの専門性・技術力を高める目標は達成されていると感じますが、合わせて社会性・自主性・コミュニケーション力を高めることにもより力を注ぐことが肝要と考えます。

この分野ではインターンシップをはじめ共同研究など産業界と協調できることが多くあると考えます。



発表会の1シーン

## 3 学校教育とのかかわり

キクチは社会貢献の一環として、過去10数年にわたり100名を超える学生に対し、1回あたり10日間のインターンシップ・夏期実習を受け入れてきています。

インターンシップの目的は①実習を通じて学校で習っている理論や原理が実社会でどのように実用化され、活用されているか理解する、②開発、生産され市場に出された製品に対するメンテナンスの重要性を理解する、③学校生活と社会生活の違いを体得するとしています。

実習最終日には習得事項の発表をしていただいています。IT教育の進展に伴って年々彼らの

## 4 次代を担う学生たちに

学生時代は人生において最も多くのことを吸収し、成長する時期であります。良い先輩・友人と過ごした時間はのちのち大きな宝物となります。この時期に大いに自分を高める努力をしていただきたいと思います。

大事な要素として勉学はもちろんですが、自ら考え行動する力を養う、コミュニケーション力を高め周りを巻き込む影響力・訴求力を持つことがあります。またグローバル化する世界に対応できる広い視野を持つことも大事です。これらは実社会に旅立ってから常に求められる要素となるからです。皆さんの活躍を心から祈っています。

## 情報スクエア



### 夕張キャンプ第Ⅰ期報告

東京都立農芸高等学校 校長 岡本 利隆

#### 1 はじめに

東京都と北海道夕張市は、自治体間連携モデル事業を推進している。その一環として、夕張市民との交流を深め、夕張市の自然、歴史、文化、施設、産業等を直接体験することを通して、未来への洞察力、発想力、行動力を培うなど青少年の健全育成の実現に貢献するものとして実施された。

今年度は、農業、工業、商業、家庭に関する専門高校を対象に、テーマ「日常の学習成果を生かした夕張市への提案」により、夕張キャンプ第Ⅰ期の参加校6校を選ぶ選抜大会が6月21日（土）に開催された。参加した13校16チームは、「研究・開発部門」「広報・PR部門」「食品部門」の3部門に分かれ、1校8分間のプレゼンテーションという制約の中で競い合った。その結果、都立練馬工業高校、都立六郷工科高校、都立第三商業高校、都立園芸高校、都立瑞穂農芸高校、都立農芸高校の6校6チームが選抜された。

私たちは、7月18日の事前研修会を経て、7月22日から、高校生夕張キャンプ第Ⅰ期「夕張メロン等農産物の流通体験と現地交流活動」を目的に、生徒24名、引率教員7名、事務局員5名の計36名で現地での研修を行った。

生徒たちは、夕張市民の協力に支えられ、無事に当初の目的を達成し、全日程を終了することができた。

#### 2 夕張キャンプ第Ⅰ期の概要

##### (1) 目的

夕張メロン等農産物の流通体験と現地交流活動を通じ、夕張市の魅力に触れるとともに、夕張高校生と交流し、夕張市の魅力を表現した消費等を開発・研究するための情報収集を図る。

##### (2) 日程

7月22日（火）から25日（金）3泊4日

##### (3) 主な研修日程

###### 第1日

午後 ○開会セレモニー

○栽培・流通に関する講義

①夕張メロンの特性、②栽培ハウスでの実地研修（JA夕張市）

###### 第2日

午前 ○夕張メロン農家での作業体験

午後 ○選果場見学研修（JA夕張市）

○チーム毎の現地調査

###### 第3日

午前 ○夕張ツムラ研修

①工場見学、②講義、③漢方についての演習

午後 ○夕張高校との交流、

①歓迎セレモニー、②地域貢献ボランティア

○夕食交流会（夕張高校生との夕食会）

###### 第4日

午前 ○石炭博物館見学

○道の駅夕張メロード見学

午後 ○閉会式

##### (4) 宿泊場所

合宿の宿「ひまわり」

#### 3 主な研修内容

##### (1) 開会セレモニー

開会セレモニーで、鈴木直道夕張市長から、人口減少社会となっている夕張市は日本の未来図である。高校生には、将来の日本社会を支える原動力となることに期待するとの激励の言葉を頂いた。生徒たちは、その言葉に応えるかのように、チーム毎に研修目的をプレゼンテーションした。

##### (2) 夕張メロン研修

最初の研修は、夕張メロンの学習である。JA



夕張メロンハウスの見学研修

夕張市へ伺い、夕張メロンの生い立ち、品種、栽培方法について1時間の講義を受け、さらに温室を見学し夕張メロンの基礎知識を得た。

### (3) 農家実習と流通研修

夕張メロン栽培農家での作業体験は、6チームに分かれ農家の方々とともに出荷作業を行った。生徒たちは、150 mにも及ぶ長いビニールハウスを見学し、東京の農家の規模との違いに驚きを隠せないようであった。また、農家が出荷したものを、JA夕張市においてさらに厳しく選果される様子を見学し、高い品質とブランド名を守るための厳格な基準を知り驚くばかりであった。



夕張メロン農家での体験

### (4) 各チームの現地調査

各チームは、研究テーマに応じ3～5か所を見学し調査活動を行った。主な見学場所は、農家やJA夕張市、ホテルマウントレースイ、道の駅、物産センター、シュエパロ湖、幸せの黄色いハンカチ思い出広場等である。夕張市を活性化させるための商品開発や観光客誘致等、それぞれ特色のあ

るテーマに沿って、夕張市内の各所において聞き取り調査を行った。調査を進めるにしたがって、当初計画の変更や更なる工夫が必要であることが実感できた有意義な活動であった。

## 4 夕張高校との交流

夕張高校体育館での歓迎セレモニーは、迫力のある和太鼓の演奏、そして吹奏楽のやさしい音色で私たちを迎えてくれた。その後、共に行った地域清掃、公民館の窓拭きやワックス掛けは、互いが交流を深めるための貴重な活動であった。そして、夕張高校生との夕食交流会は、テーブルを同じくし楽しく語り合えた貴重な時間となった。



夕張高校との交流

## 5 まとめ

一昨年から始まったこの事業は、地域が抱える課題を現地調査により解決する。まさに、将来の日本を担うことを期待されている高校生にとって、価値のあるプログラムであると言える。

特に、急激な人口減少による高齢化・過疎化が顕著な夕張市は、今後、日本の各地で起こりうる現象を先取りしていると言っても過言ではない。そういった現状を、自らの目で具に見ることができた経験は、将来、地域を支える原動力となるに必要な洞察力、発想力、行動力を培うことに繋がったものと言える。

おわりに、このような機会を与えて頂いた、東京都教育委員会、夕張市、夕張市民の方々に感謝を申し上げる次第です。



## 定時制課程における学校設定科目「食育」の指導

東京都立農業高等学校 主幹教諭 渡邊 幸盛

### 1 自己肯定感を高める教育活動

平成 25 年 4 月に東京都教育ビジョン（第 3 次）において、子供一人一人の個性や能力に着目し、最大限に伸ばすとともに、自己肯定感を高める資質を醸成することが示された。

自己肯定感を高める資質を醸成することは、本校定時制課程にとって最も重要な教育課題である。

### 2 学校設定科目「食育」の導入

本校は農業科と普通科を併置する定時制課程で、15 学級・生徒数約 300 名の定時制課程マンモス校である。生徒は 10 代～60 代まで年齢層は幅広く、既に社会人の生徒等、個性豊かで多様な生徒が多く在籍している。

赴任した当初、「生徒がやめるので卒業アルバムを作ることができない」とベテランの先生が話された。その言葉に私は衝撃を受けた。「入学した生徒が卒業できる学校を作りたい。」これが、私の定時制課程での教育の原点となった。

昨年度、学力スタンダードが策定され、教育の「質の保証」が叫ばれている。本校における「質の保証」、それは全日制課程に負けない教育内容を生徒に提供することである。私は教務部主任として農業科における「総合実習」の実習項目を大幅に増やし、成功体験を多く得ることで生徒の自己肯定感を高める取り組みを実践した。

これにより、現在では日本学校農業クラブ連盟全国大会実物鑑定競技 4 年連続出場や農業情報処理競技会東京都大会優秀賞、意見発表会東京都大会出場等、全日制課程の生徒と同じ土俵で数々の実績を残した。さらには、地域連携として校外学習や奥多摩産業観光課と連携した環境調査（シカの食害）、夕張キャンプ選抜大会等、学校外の活動にも積極的に取り組んでいる。その結果、4 年間担任をした農業科の学級で卒業率を 20%増加させ

ることができた。そして平成 25 年度より新教育課程の実施をチャンスと捉え、普通科に学校設定科目「食育」を導入した。これは農業科の生徒だけでなく、普通科の生徒にも自然や生命から学ぶ「農業」を体験させることで自己肯定感を高める教育活動を展開したいと考えたからである。

### 3 「食育」における授業コンセプト

「食育」における授業コンセプトは以下の 4 点である。

- (1) 普通科生徒を対象とした授業であること。
- (2) 農業を身近に感じてもらうため、圃場を活用せず、あえて教室や廊下で栽培を実施する。
- (3) 体験学習を通して生徒に達成感や協働作業による仲間意識を醸成させる。
- (4) 生徒に給食の残飯から「もったいない」の意識を芽生えさせる。

### 4 「食育」の授業展開 I（トマトの栽培・収穫）

- (1) 給食の牛乳パックや発泡スチロールの回収  
「体の五感を使って学ぶ」、これは私の持論である。「農業」は汗をかき、仲間との協働作業から守るべき規則やコミュニケーション能力を高めることができる。「食育」では「農業」を身近に感じてほしいと、あえて牛乳パックや発泡スチロールを活用した。

#### (2) トマトの栽培

- ① 給食で使用した発泡スチロールをプランターの代用として使用した。これに赤土と神代農場の落ち葉を集めた腐葉土、給食の残飯を発酵ささせて作った堆肥を篩にかけ、土づくりを行った。

#### ② 植え付け及び栽培管理

発泡スチロールプランターを本校舎の廊下へ設置しトマト苗の植え付け及び支柱立て、誘引、

かん水等の栽培管理実習を行った。

### ③ 収穫

3ヶ月間、栽培してきたトマトが育ち、7月上旬に収穫の時期を迎えた。「食育」ではトマトの性質や栽培方法だけでなく、調理して「食する」ところまで発展的に学ばせることをコンセプトとしている。収穫時期に入り、栄養士と調整し、給食室の使用や何を調理するのかを検討した。



【渡り廊下での観察スケッチ】 【栽培したトマト】

## 5 「食育」の授業展開Ⅱ（ピザにして食する）

### (1) スプラウトの栽培

スプラウトは2週間ほどで収穫まででき、給食の廃材である牛乳パックとペットボトルを活用して栽培することができる。この教材の最大の利点は持ち運びが簡単であること。したがって栽培観察や栽培記録スケッチを教室で行うことができる。



【教室にて栽培スケッチ】

### (2) 「食する」

収穫したトマトとスプラウトは「ピザ」の食材として給食室にて調理し「食する」ところまで行った。生徒は美味しそうに「ピザ」を頬張り、授業



【調理実習（ピザ）】

を終えた。

## 6 授業評価【生徒回答数 65 名】

授業アンケート「あなたはこの授業に自分なりの課題や目標を持って取り組んでいますか？」について「食育」と他の科目（平均値）との比較分析を行った。他の科目（平均値）のアンケート結果は「A そう思う、B どちらかといえばそう思う」と回答した生徒は73%であるのに対し、「食育」では90%に達し、17%も他の科目より上回る結果となった。そして、何より他の科目で「D そう思わない」と回答した生徒が11%だったのに対して、「食育」では0%であり、全生徒が自分なりの課題や目標を持って取り組んでいることが確認できた。

また、生徒意見より「イチゴやスイカなど他の栽培もしてみたい」や「汗をかきながらの実習は達成感がありました」等、「食育」の授業が「学ぶ意欲」を高め、「目標を持って取り組む姿勢」を醸成するのに効果的であることが分かった。

これらの結果により、自分の存在をかけがえのない存在であると肯定的に認め、課題や目標に前向きに取り組む姿勢を醸成できたと考えられる。

今後は文化祭にて「食育」ブースを設置し、冬野菜の実物展示を行う。さらに日本農業技術検定の資格取得も指導し、小さな成功体験を積み重ねることで自己肯定感を高める教育活動を実践していきたい。

## 7 まとめ

この度、「食育」を導入し、栽培から収穫、さらには「食する」指導を通じて生徒に成功体験や学ぶ楽しさを体験させた。その結果、自分の才能に自信を持ち、目標を見出し、やる気を高めるという正の感情を引き出すことができた。「食育」は自己肯定感を高める教育活動であると確信した。

また「食育」は畑がなくても教室や廊下で簡単にできる教育活動である。したがって、他の定時制課程や中学校、小学校、特別支援学校等、給食のある学校であればどの学校でも取り組むことができる。

私は、中学校や小学校等の他校種でも「食育」を導入し、多くの子供たちが学ぶ喜びを体験し、「農と食」について理解を深め、将来の「農業」の応援団となってくれることを望む。



## 学校設定科目「コミュニティデザイン」

— 社会の課題を解決する人材の育成 —

東京都立千早高等学校 校長 林 修

### 1 はじめに

東京都立千早高等学校は、平成9年9月に東京都教育委員会が策定した「都立高校改革推進計画」による「第一次実施計画」に基づき、平成16年4月に新しいタイプの進学型専門高校として開校し、今年度で11年目を迎えた。東京都で初めてのビジネスコミュニケーション科として英語とビジネス教育に重点を置いた教育課程を編成し、特色ある教育活動を展開している。平成26年10月25日には本校体育館において「創立10周年記念式典」を挙行し、さらなる10年を目指して新たなスタートを切ったところである。



創立10周年記念式典

### 2 特色あるビジネス教育

本校では、ビジネスに関する基礎的・基本的な知識・技能を修得させながら、グローバルに激変する社会環境の中で主体的に対応し、将来、国際社会で活躍できる人材の育成を目指して、大学等へ進学し継続して学習することを前提とした専門教育を行っている。

卒業までの英語に関する科目の必修単位数を23単位に設定し、選択科目を含めると最大33単位まで履修が可能である。また、ビジネス（商業）

に関する科目については、必修単位数を20単位とし、5単位を英語に関する科目で代替しているが、選択科目を含めると最大30単位までビジネス（商業）に関する科目を履修できるように、次のような教育課程を編成している。

|             |                                                          |                                    |         |
|-------------|----------------------------------------------------------|------------------------------------|---------|
| 1 年<br>(必修) | ビジネス基礎(2)                                                | 簿記(4)                              | 情報処理(2) |
| 2 年<br>(必修) | 総合実践(2)                                                  | マーケティング(4)、財務会計Ⅰ(4)、電子商取引(4)のうち1科目 |         |
| 2 年<br>(選択) | ビジネス実務(3)、広告と販売促進(3)、原価計算(3)、コミュニティデザイン(3)のうち2科目まで       |                                    |         |
| 3 年<br>(必修) | 課題研究(3)                                                  | 総合実践(3)                            |         |
| 3 年<br>(選択) | 会計総合(4) 1科目又は商品開発(2)、ビジネス経済応用(2)、コミュニティデザイン演習(2)のうち2科目まで |                                    |         |

ビジネス（商業）科目のカリキュラム ※（）内は単位数

本校のビジネス教育は、ビジネスを通して社会を考える学習に重点を置き、「役立つビジネスを社会から学ぶ」ことを柱としている。

### 3 学校設定科目「コミュニティデザイン」

本校の特色あるビジネス教育の一つとして、学校設定科目「コミュニティデザイン」がある。

この科目のカリキュラム開発にあたっては、本校学術アドバイザーである立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科委員長・教授、社会デザイン研究所所長の中村陽一先生から全面的に御支援と御助言をいただいている。

これからの社会には、市民社会の課題を発見するとともに、問題解決への具体的な方法論を探究し、かつそれを実現できる人材が必要である。そのような人材には、環境に配慮した経済活動、企

業のCSR活動、企業とステークスホルダーとの関係性、市民・企業・行政の協働等といったビジネス活動を行う上で必要となる要素を学習することが求められ、それを高校生の段階から取り組もうとしたものが「コミュニティデザイン」である。

このような背景により、開校2年目から「コミュニティデザイン」(第2学年・3単位)及び「コミュニティデザイン演習」(第3学年・2単位)を、それぞれ選択科目として開講している。

この科目では、「社会的な課題の解決と同時に、新たな価値を生み出す仕組みを創造すること」を目標とし、「福祉」「環境」「国際協力」「コミュニティ」の4つの分野について、『私たちが住むコミュニティを、今よりもさらに良くするために私たちに何が出来るのか』という視点で考え行動することで、主体的に社会にかかわるための資質や能力を育成している。

「コミュニティデザイン」では、コミュニティデザイナーとしての視点づくりと身近な問題をテーマに基本的なトレーニングを行い、社会問題の解決に向けた基礎的な知識と能力を身に付ける。また、「コミュニティデザイン演習」では、「コミュニティデザイン」の学習をベースに、生徒自らが社会の中にある問題を発見し、解決のための取り組みを実践することでコミュニティデザイナーとしての能力を育成する。

授業は、『①現状の問題点を発見(Introduction)→②課題について調査(Survey)→③ゲストとディスカッション(Workshop)→④講師の先生の講演(Lecture)→⑤活動場所の見学・体験(Fieldwork)→⑥発表資料を作成(Research)→⑦発表・まとめ(Presentation)』という流れで展



コミュニティデザインの授業の様子

開している。

また、平成23年度からは中村先生の「大学生が関わる授業づくりができないか」という御提案を受け「メンター制度」を導入した。このメンター制度では、本校生徒(メンティ)の学習に対して指導的な役割を果たす大学生(メンター)が継続的・定期的に相談・助言等を行うものである。

毎年10名程度の大学生が、専門分野の深い知識や人的ネットワーク、課題発見型研究の豊かな経験を生かし、生徒の学習活動を支援している。

この新たな授業形態は、生徒の学習活動だけでなく、直接大学生と交流することで、将来大学で学びたい分野や専門がより明確になるなど、生徒の進路選択においても大きな成果を上げている。

#### 4 おわりに

今年度は新たな試みとして、山形市にある東北芸術工科大学において7月26日(土)から2泊3日で行われた「SUMMER IDEA CAMP」に、本校生徒11名が全国から集まった20名の高校生とともに参加した。この大学は、平成26年4月に日本で初めてコミュニティデザイン学科を設置し、社会の課題を人々のつながりで解決できるコミュニティデザイナーを育成している。本校卒業生もこの大学で学んでおり、同じ志をもつ全国の仲間との交流は、生徒の貴重な経験となった。



東北芸術工科大学での「SUMMER IDEA CAMP」

今後の課題は、「コミュニティデザイン」の選択を希望する生徒が年々増えていることから、この科目を指導できる教員を育成するとともに、将来的には2年生の必修修科目として全生徒にこの科目を学習させたいと考えている。



## 第 12 回創造ものづくりフェア in TOKYO

東京都中学校技術・家庭科研究会事業部長

中央区立佃中学校 校長 加藤 譲司

創造ものづくりフェア in TOKYO は、東京都内の中学校に通う生徒が、技術・家庭科の学習で身につけた、ものづくりの技や知識を競い合い、ものづくりの意義を理解するとともに、互いの創造性を伸ばす場として開催している。その概要は、以下のとおりである。

1. 主催 東京都中学校技術・家庭科研究会
2. 後援 東京都教育委員会  
東京都産業教育振興会  
東京都中学校長会
3. 日時 平成 26 年 11 月 9 日（日）  
平成 26 年 11 月 29 日（土）食部門
4. 場所 中央区立佃中学校  
女子栄養大学（食部門）
5. 対象者 東京都内中学校に通学する中学生
6. 内容
  - (1) 全国中学生創造アイデアロボットコンテスト東京地区予選（授業内部門・応用部門）
  - (2) 「木工チャレンジコンテスト」東京予選
  - (3) 「豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール」東京地区予選
  - (4) 「あなたのためのおべんとうコンクール」東京地区予選
  - (5) 生徒作品コンクール東京地区予選
  - (6) 東京都中学校ロボットコンテスト（二足歩行ロボット格闘部門）

### 7. 開催へ向けて

創造ものづくりフェア in TOKYO も 12 回を数え常連校が増えると同時に各中学校に定着した。毎年ながら会場校の校長先生をはじめ諸先生方に

は多大なるご理解とご支援をいただいての開催である。ここ 5 年間お世話になっている東京都立工芸高等学校の体育館工事のため、今年度は中央区立佃中学校を主開催会場として実施された。佃中学校会場は全国フェアの経験もあり、その実績と経験を生かし会場への機材搬入等準備が順調に進めることができた。また作品展の事前搬入や当日の会場準備にも会場校との事前打ち合わせを重ね、開催へ向けての準備を進めた。今年度も会場日程調整の結果、食部門と日程を分けての開催となった。

生徒作品コンクールは、各地区で選ばれた作品が会場校へ送られてきている。当日持参分も含め



生徒作品展の様子

て各地区相当分の作品は完成度の高い作品が多く見られ、会場を多いに賑わせていた。

なお大会運営は、東京都中学校技術・家庭科研究会事業部を中心に佃中学校会場 40 名、女子栄養大会場で 20 名の体制で進められた。

### 8. 開催結果

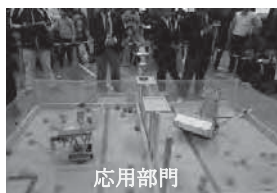
今年の参加者は、見学の保護者を含めると両会場併せて 500 名を超えた。その内訳と各部門の内容は次のとおりである。

＜関東甲信越大会に向けての予選大会＞

○「創造アイデアロボットコンテスト」の授業内



調理作品（女子栄養大）



部門：中学校技術・家庭科の授業においてロボットを題材とした学習を履修した生徒による作品の部門です。授業

での取り組みを想定して、モーター 3 個まで使用したロボットでゴミをかき集め、一定時間内で相手コートにどれだけ投げ込めるかを競う 1 対 1 の競技。29 チームの生徒達が参加。応用部門：中学校技術・家庭科で学んだ知識や技能を応用して製作された生徒作品の部門です。主ロボットのモーターは 7 個まで使用することができ、制限時間内に、自陣エリアにあるアイテム（庭球大のプラボール 40 個）を相手エリアに送り込む競技である。さらに今年度は自動制御の要素を取り入れ、コート中央にあるビックリドッキリメカエリアに、自動制御で動くビックリドッキリメカ（各チーム製作による）を主ロボット操作により配置することができる。最終的に送り込んだボール数と自動制御ロボ配置による付加ポイントの合計点で競う対戦型ゲームである。25 チーム 100 名以上が参加した。

○当日示された設計図により、決められた大工道具や木工機械を正しく使用し、寸法通り正確に作品をつくる「木工チャレンジコンテスト」には各



地区から選ばれた 13 名が参加した。

○「生徒作品コンクール」には、各地区で選ばれた技術分野と家庭分野で、授業内外部門の合計 181 作品と、昨年を大きく上回る出品数であった。

○「あなたのためのおべんとうコンクール」は、レポートと写真の応募作品 91 チームの審査を経て、当日の本大会は 13 校 20 チーム 55 名が参加した。

○「豊かな生活を創るアイデアバッグコンクール 東京地区予選」では事前選考の 4 校 17 作品の参

加であった。

＜東京都ロボットコンテスト＞ モーター 2 個



◇東京都独自として実施したロボットコンテストは、格闘型のロボットが主流になっている。

「格闘部門（団体戦）」は、900mm×900mm のリングで 1 チーム 3 台（先鋒、中堅、大将）の 2 足歩行ロボット同士が戦う競技である。2 勝した方が勝ちになる。引き分けの場合は代表戦で勝負を決める。36 チーム 108 台が参加した。

また、「格闘部門（個人戦）」では 103 台の参加により競い合い、昨年度を大きく上回っている。

## 9. 成果と課題

ものづくりフェア in TOKYO 全体としては、参加生徒もここ数年一定数おり、中学生の技術・家庭科に対する関心・意欲を喚起し、関係諸機関等の認識を深められていると捉えている。参加生徒数は全体として昨年度までの減少傾向は微かながら回復した。部門によっては大幅な参加増があり各校現指導要領下での指導計画・実践も定着してきたものと考察できる。今後授業内容をさらに工夫改善して、ものづくりの楽しさや魅力をいかに実感させるかが課題である。来年度のものづくり



フェアに向けて、なお魅力的な事業となるよう授業時数を踏まえたルールや運営方法等を改善することにより、興味・関心・

意欲を一層高め参加者を増やしていきたい。

開催会場の中央区立佃中学校、女子栄養大学のご理解、そして東京都教育委員会をはじめ東京都産業教育振興会、東京都中学校長会から表彰状をいただいたことは、フェアの盛り上がりと充実に結びついており感謝申し上げます。

## 第24回全国産業教育フェア宮城大会

— さんフェア宮城2014 —

繋げよう・広げよう・伝えよう みやぎから

第24回全国産業教育フェア宮城大会（さんフェア宮城2014）が、平成26年11月8日（土）と9日（日）の両日にわたり、名取市文化会館をメイン会場に名取市民体育館、まなウェルみやぎ、セキスイハイムスーパーアリーナなどで開催された。

本大会の目的は、専門高校等における日頃の学習成果を広く紹介し、魅力的な教育内容について理解・関心を高めるとともに、「富県宮城」、「観光王国みやぎ」、「食材王国みやぎ」に取り組む宮城県から、次代につながる新たな産業教育の在り方を発信する、併せて、東日本大震災からの復興に貢献する人材育成の現状を紹介するとともに全国から送られた支援への感謝の意を表す、であった。

名取市文化会館大ホールで行われた総合開会式では、生徒実行委員による司会のもとで、大会実行委員会会長、文部科学省初等中等教育局長、公益財団法人産業教育振興中央会理事長、宮城県知事、宮城県議会議長等があいさつ、祝辞を述べ、最後に生徒実行委員会委員長が歓迎のことばを述べた。総合開会式終了後、生徒実行委員会によるオープニングアトラクションが行われ、「仙台すずめ踊り」が披露された。

このほか、各会場において作品展示、体験・実演コーナー、震災復興関係展示、学校生産物展示販売、意見・体験発表、作品・研究発表、ファッションショー、高校生レストラン、海洋総合実習船「宮城丸」の船内見学、全国高校生フラワーアレンジメントコンテスト、全国高等学校ロボット競技大会、全国高校生介護技術コンテスト、宮城県商業高等学校英語スピーチコンテスト、全国の専門高校等の生徒による知的学習成果の発表など、多彩な催し物、発表が行われた。作品展示には、都立芝商業高等学校と都立荒川商業高等学校の2校が参加した。



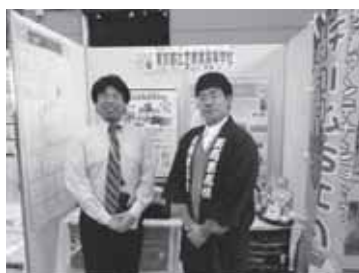
総合開会式



アトラクション



作品展示会場



都立芝商業高等学校



都立荒川商業高等学校

## 第56回 全国産業教育振興大会（宮城大会）

主催 全国産業教育振興連絡協議会

公益財団法人産業教育振興中央会

会 場 仙台ガーデンパレス 4階「羽衣」

日 時 平成26年11月8日（土）15：30～17：00

第56回全国産業教育振興大会（宮城大会）は11月8日（土）仙台ガーデンパレスで、全国から参集した関係者の出席のもと開催された。

開会のことば、国歌斉唱に続き、主催者として杉江和男公益財団法人産業教育振興中央会理事長と佐藤政一宮城県産業教育振興会理事長が挨拶された。続いて水田功文部科学省初等中等教育局主任視学官と高橋仁宮城県教育委員会教育長が来賓として挨拶された。

来賓紹介後、講演会に移り、「JF みやぎ復興の歩み－宮城県の漁業漁村の復興に向けた漁業協同組合の取組み－」と題して、小野秀悦氏（宮城県漁業協同組合専務理事）に以下のお話をうかがった。  
○東日本大震災でJF みやぎでは組合員392人と職員1人が人的被害を受けた。家屋に被害のあった組合員は5,341人で、被害額の合計は2,275百万円である。震災後、JF みやぎでは、区画漁業権の一括管理、組織の再編、漁港の復旧、漁業の再開、経営支援など9項目の復興基本方針を策定し、復興に向けた取組みを行ってきた。

○平成26年7月25日時点で岩手・宮城・福島の水揚の3県の主要な魚市場の水揚げは震災前年比で水揚量69%、水揚金額82%である。漁港は被災した全岸壁延長の概ね5割の復旧が平成25年度末までに完了した。漁船の復旧目標（2万隻）は87%まで進捗している。ワカメ養殖は被災前の約9割まで復旧している。

○この間、全国各地のライバル関係にある漁業者からの支援や阪神淡路大震災を経験した関西の各県から多大なる支援があった。今後も広域での地域間の支援体制や組織間の協力体制の構築が不可欠である。

講演後、西澤宏繁全国産業教育振興連絡協議会理事長（都産振会長）を議長として、大会決議文が協議され、決議文が採択された。（決議文は次頁に掲載）

最後に次年度開催県である三重県産業教育振興会の西山博副会長・理事長から決意表明と挨拶があり、大会を終了した。



主催者挨拶



大会決議文の協議・採択



次年度開催県の挨拶

## 決 議

農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉の専門学科及び総合学科を設置する高等学校（以下「専門高校」）は、多くの専門的職業人を育成し輩出することを通じて、我が国の社会、経済の発展を支える原動力として大きな役割を果たしてきた。近年では、地域の産業を支える人材の高齢化や団塊世代の退職等に伴う後継者としての人材、少子高齢化社会を支える医療や福祉を担う人材等を育てる教育機関として、専門高校の役割と期待は益々高まっている。

今日、グローバル化や情報化の進展などにより世界全体が大きく変化している中、我が国にあっては、急速な少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や過疎化の進行への対応、そして東日本大震災からの復興など、多くの課題を抱えている。これらを克服し、我が国が将来にわたって持続的に発展し豊かな社会を築いていくためには、若い人達の力が必要であることは言うまでもない。専門高校で学ぶ生徒は、自己の将来の職業について強い目的意識を持ち、将来を担うスペシャリスト（専門的職業人）となることを目指しており、これからの我が国の産業・経済の発展、医療・福祉の充実、地域社会の発展には欠かせない重要な役割を担っている。

全国産業教育振興会連絡協議会は、全国の専門高校の生徒達による「第 24 回全国産業教育フェア宮城大会」にあわせ、産業界と教育界の強い連携の下、「第 56 回全国産業教育振興大会」を開催し、我が国が力強く発展し、豊かな社会を築くため、専門高校のより一層の充実・発展に全力を傾け、次の事項の実現に向けて取り組むことを表明する。

- 一、実践的な職業教育を推進するための教育内容の充実。生徒が取り組む各種検定試験、各種発表会・競技会、特色ある教育活動、長期就業体験の推進及びその支援。
- 一、少人数指導に対応した教職員定数の改善。専門教科担当教員の養成及び採用の拡充。社会人実務経験者の任用、特別免許状の積極的活用。教員の研修機会の確保及び研修内容の充実。
- 一、実践的な職業教育を推進するために不可欠な実験・実習施設及び教育用設備の整備充実。また、東日本大震災の被災校に対する施設・設備の早急な整備支援。
- 一、専門高校卒業生の就職における採用枠の拡大、地域による格差是正、女子採用の促進などの就職支援。
- 一、各種資格・検定等の取得や各種コンクール、就業体験等の活動実績を反映した多様な入学者選抜など、専門高校の特性を踏まえた大学等入学者選抜の実施・拡充。
- 一、専攻科を修了した国家資格取得者（看護師、海技士等）の大学又は短大専攻科（保健師、助産師等）への編入学制度の実現。専攻科における学修を大学等の単位として認定する制度の実現。
- 一、専門高校への理解、啓発を図るための「全国産業教育フェア」等への支援。保護者の経済的負担の軽減を図るための就学支援等の充実。社会的・職業的自立に資する小学校段階からのキャリア教育の推進。生徒が自らの生き方を考え主体的に進路を選択する中学校における進路指導の推進。

以上決議する。

平成 26 年 11 月 8 日

第 56 回全国産業教育振興大会（宮城大会）

## 報 告

## 平成26年度 総会・功労企業表彰 報告

平成26年度総会・功労企業表彰及び講演会が6月3日（木）午後2時から、都庁第二本庁舎31階特別会議室21において開催されました。

来賓に公益財団法人産業教育振興中央会専務理事の富岡逸郎様、東京都立中学校長会副会長の常盤 隆様（立川市立立川第二中学校長）をお迎えしました。

開会にあたり、西澤宏繁会長から「本会は、産・学、行政の三者が協力して職業人の卵をしっかり教育していくためのシステムを作っていくための協力をどうしていったらいいかということのために設立された会です。今、社会の情勢は現場の力を非常に重視しなければならない時代に入りつつあると思います。世界とどのように付き合っていくか、また、科学技術の展開ということがなにより大事であり、それを支えるのは結局は現場であるということは実感されてきていることだと思います。

都立の専門高校を見学させていただくと設備等も豊かにできている、しかし希望する生徒数が減少している。そういうなかで、会をサポートいただく方たちを増やしていかななくてはいけない。

来年度、本会は設立60周年を迎えますので、一つの区切りとなる作業をしたいと思います。よろしく願いいたします」との挨拶がありました。

引き続き、常任理事の堤雅史都立学校教育部長に代わって松川特別支援教育推進担当部長から次のような挨拶がありました。

「本会は産業界、教育界、行政が協力しながら産業教育の振興に寄与するということを目的に発足して半世紀以上にわたる活動を通して多くの成果を挙げてまいりました。東京都教育委員会では、これまで総合学科高校、産業高校、科学技術高校、デュアルシステムなど特色ある学校づくりを推進してきました。しかし、高度情報化、グローバル化に伴う社会、経済などの構造的な変化など生徒を取り巻く状況は大きく変化してきています。このため、都教育委員会では平成24年2月に策定した都立高校改革推進計画に基づき、専門高校の改善を進めています。平成25年4月には都立専門高校技能スタンダードを策定し、生徒に専門的な技術・技能を確実に習得させ、有用な資格取得を促進する取組を開始しました。また、同年12月には都立専門高校改編基本構想検討委員会を設

置し今後の専門高校の在り方に関して検討を行っているところです。こうした施策を実効性あるものにしていくためには、企業や他の教育機関のご支援やご協力が不可欠でございます。昭和30年の設立以来、産業界、教育界そして行政が一体となり産業教育の振興に取り組んできた本会も、来年度は設立60周年を迎えます。本会と都教育委員会との連携は今後ますます、重要なものとなってまいります。よろしくご支援のほどお願いいたします。」

来賓の富岡逸郎様、常盤隆様からご挨拶を頂き、東京都立高等学校長協会会長柴田哲様からのご挨拶を紹介した後、西澤宏繁会長を議長として、事務局から6議案が提案され、審議の結果、各議案とも原案通り承認されました。総会資料等承認議案は会員企業、学校等に配布しております。

本年度の役員を紹介いたします。

会 長 西澤 宏繁（留任）  
副 会 長 金子 昌男（留任）  
同 小林 治彦（留任）  
同 徳田 安伸（留任）  
（東京都立園芸高等学校長）  
理 事 長 比留間英人（留任）  
常任理事 堤 雅史（留任）  
同 山本 謙治（新任）

議事終了後、本年度の産業界会員功労者（永年会員）として有限会社東京プリンテック様を紹介いたしました。





## 講演会・講演要旨 「教養と教育」が大切

講師：藤嶋 昭 氏  
東京理科大学 学長

### 1 はじめに

皆様こんにちは、ただいま副会長の金子さんからご紹介をいただきました藤嶋です。今日は、このような機会を与えていただきまして大変光栄です。今日は、皆さん中学生、高校生になったつもりで「何か質問してみよう」ということを考えて話を聞いていただければと思います。

「教養と教育が大切」。これはかけている言葉です。今日、用（教養）があって、今日、行く（教育）ところがないと困るのです。つまり、教養と教育は本当に大切だということを言いたいのです。

### 2 教育が大切

さて、今日お話しすることは、私自身が何のために研究をするのかということです。

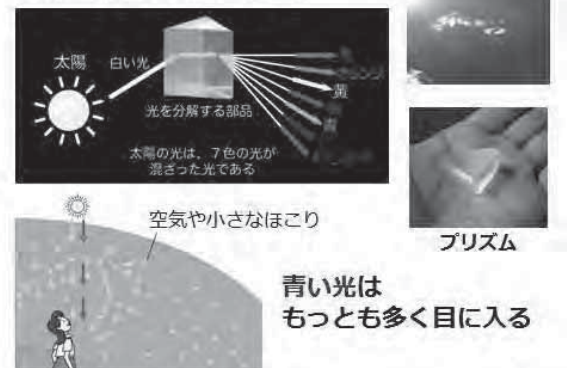
科学技術は、一番みんなが望んでいること、例えば天寿を全うするために研究する。そのために、エネルギー問題を解決する、環境問題を解決する、健康問題を解決する、というようなことを目的として、それらを達成するためのものでなければいけないと私自身思っています。

若い方々の理科離れが起こりつつあります。これをいかに防ぐかは大事なことです。若い方々に理科が好きだ、科学が面白いということを理解してもらうには、身の周りのことが面白い、不思議なことが周囲にある、というように思ってもらわなければだめなのです。

では、簡単な問題です。「空は、なぜ青いか」。これはずっと人類にとっての疑問でした。

ニュートンが自分の田舎の書斎の2階で穴をあけてプリズムに太陽光を当てたら太陽の光が7色になったのです。これが最初のきっかけでした。ニュートンは空気の中に小さな埃があると思ったのです。これと青い光が散乱現象をして、空は青くなると思ったのです。

### 空はなぜ青いのか？



ところがおかしい。高い山に登っていくと空気がきれいになる。そうすると余計に空が青くなる。空気中の酸素と窒素が関係していることがわかってきました。これはダルトンという人が言っていたのです。

### Q1 晴れた空は、なぜ青いの？



空気中の酸素・窒素が青い光を散らす

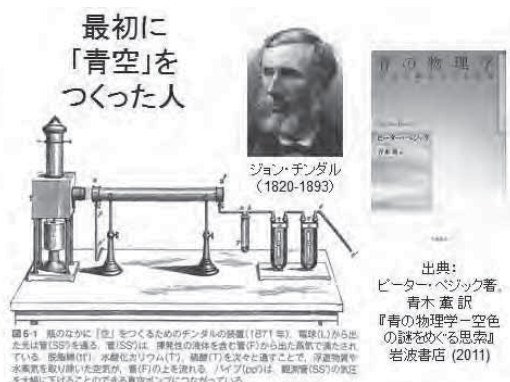
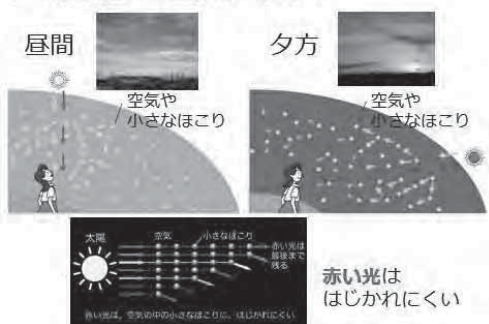
2013年10月6日(日) 朝日小学生新聞

では、夕焼けはなぜ赤くなるのか、太陽が沈むあるいは日の出の時は、最初に青い光が取られ散乱してしまうと、黄色と赤色の光が残ります。

それが雲にあたり、夕焼けが黄色くなり赤くなるのです。チンダルという人が初めて、空が青いということを実験で再現したのです。

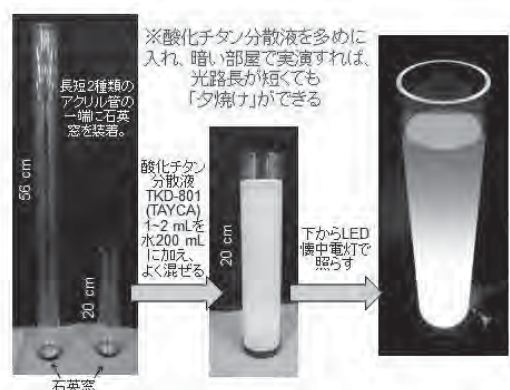
ところが、私は、もっと簡単にできる実験を考えたのです。ペットボトルに水を入れ、ほんの少

## 夕焼けはなぜ赤いのか？



し酸化チタンの粉を水の中に溶かしこれに懐中電灯をあてます。下が青くなります。これが青い空です。上の方は黄色です。夕焼けです。簡単に再現できるのです。

不思議なことを解明していくということは、非常に面白いことです。



では、雲はなぜ白いのでしょうか。雲が白いのは水滴が粒径 0.01 mmのところ太陽の光が来て、全ての光が拡散すると、白くなるためです。雲が厚くなれば黒くなります。台風前の雲が黒いのは、雲が厚く光が来ないからです。

雨が降るのはなぜでしょうか。0.01mm の直径の水滴が 0.1mm になれば重くなり落ちてくるた

めです。

では、なぜ、雪が降るのでしょうか。なぜ空気中、高くなると寒くなるのでしょうか。山に登って上があれば上がるほど寒くなります。これは、太陽の光、熱が地面に吸収されて地面が暖まり、海が暖まります。熱い温度は下から来るのです。そこから離れれば、寒くなるためです。

これらのことは、みんな疑問に思っていますよね。そのような、当たり前前に思っていることを解明しなければいけないでしょうし、それを生徒の方々に教えてあげなければいけない。そうすると、全ての現象が面白くなるでしょう。

皆さん、草の名前をいくつ知っていますか。草の名前を 10、20 覚えてしまうと道を歩くのが楽しくなります。これは一番のポイントなのです。

次に虹についてお話します。日本の小学生が 9、11 のときにアメリカの小学生に送った絵の半分以上が「虹」の絵でした。

色の順番、半径、虹ができる条件などは知っていますか。

半径は自分が立っているところと、にわか雨が降っているところの距離が半径です。

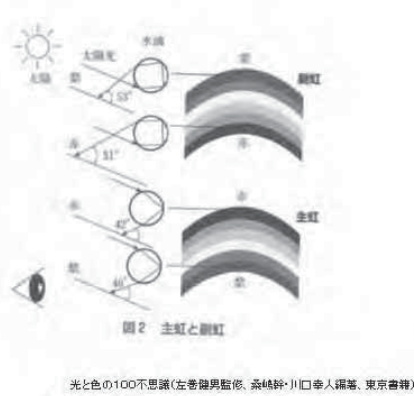
日本では 7 色、アメリカ、イギリスでは 6 色、ドイツ、ロシアでは 5 色、そのような教育を受けていると思います。だから教育はいかに大事かということです。

虹は、普通に見えるところは内側が紫で外側が赤でしょう。ところが、二重の虹が見えるラッキーなときがあります。主虹と副虹が見えるときありますが、主虹と副虹の色が逆転しています。太い方の主虹は内側が紫、外が赤ですが、外側にある副虹は内側が赤で、外側が紫、逆転しているのです。

ニュートンが 1660 年、観測したことを絵に描いている。なぜかということも、全部説明がつくということになるわけです。

このように不思議なことは他にもたくさんあります。私は 400 も集めて、「世の中のふしぎ 400」という本を出しました。

川に架かっている橋について取り上げます。たとえば御茶ノ水に「聖橋」があります。どちらが入口で、どちらが出口でしょうか。橋の入口には、



幣束 (さいそく) 裂いた麻や畳んだ紙を細長い木口はさんだ祭具  
おまらいをするのに用いる



漢字で「聖橋」と書かれています。出口には、ひらがなで書かれています。ルールに従っているか、チェックしてみてください。では、出口のところに「ひじりばし」と書いてあるかという「ひしりはし」と書いてあります。川が濁っては困るので、濁点は使わないというのがルールなのです。

雷のことを稲妻といいます。「妻」は「生まれる」という意味です。つまり「稲が生まれる」のです。雷が多いと豊作になります。太陽が当たって田んぼから水が蒸発して入道雲になって、それがこすれて雷になるのです。

稲が豊作になるときの天候が、ちょうど雷が多い。だから稲妻というのです。

幣束には2つの意味があります。

一つはここからは清いところだという敷居を意味しています。もう一つは稲妻の形、つまり豊作を祈願するためのものです。雷が多い方がいいということを意味しているのです。これが日本人の知恵です。

では、ここでもう一つ、なぜゴロゴロというのか。ピカッということは分かります。上で雲がこすれて静電気が起こって放電するからピカッというのです。童話作家の加古里子先生は言っています。「雲の上で鬼が太鼓をたたいている」。実際放電現象が起こって、温度が熱くなり、空気が揺らぎ、そしてゴロゴロと音が出るのです。

### 3 教養が大切

私が、小学校、中学校、高校の皆さんにお話するときは、「いい本を読もうよ、いい雰囲気を作ろうよ」ということを言っています。

良い雰囲気をつくると特別なことができてし

まう、一人ではできないのだけれども、数人の人が集まっていい雰囲気を作ると、特別なことができてしまう、という例をお話します。

たとえばパリのオルセー美術館には、印象派の絵がたくさんあります。ルノアール、モネ、ゴッホ、ゴーギャン、どこで、いつ絵を描いたのかというそれは、同じ時にみんなパリです。

ある場所に数人の人が集まると、特別な雰囲気ができてしまうのです。そして、互いに高め合ってしまうのです。ここが一番のポイントなのです。同じ考えの人が集まって高め合うと素晴らしいことができてしまうのです。

鎌倉時代、「正法眼蔵」は道元の弟子の懷奘さんがまとめているのですけれども、「霧の中を歩めば、覚えざるに衣湿る」とありますが、霧の中を歩いてみると、そのときは気が付かないのですが、帰ってみると、衣が湿っています。その場所にいると気が付かないのですが、影響を受けて、衣が湿ってしまうのです。そのようなことです。

鎌倉時代、1100年から1200年にかけて仏教に対する素晴らしい方が、この時期全部いるのです。法然、栄西、親鸞、道元、日蓮、一遍。鎌倉幕府の武家政治が始まったときの日本は、仏教教的な特別の雰囲気だったのです。

イタリアのフィレンツェ、その典型的な3人を紹介しますとレオナルド・ダ・ビンチが1452年生まれ、次に生まれたのがミケランジェロ1475年、1483年生まれがラファエロです。15世紀のフィレンツェに素晴らしい方が固まってしまうのです。

高校の出前事業に行ったときなどは、「本を読もうよ、いい本を読もう。」と話します。では、

『正法眼蔵』  
曹洞禅の開祖道元の

「霧の中を歩めば、  
覚えざるに衣湿る」

## Q24 偉人は同時代に活躍？



2013年12月22日(日) 朝日小学生新聞

どのような本を読めばいいのでしょうか。「人生に二度読む本」という本があります。城山三郎さんと平岩外四さんが12冊を選んで、いかに自分たちが影響されたか、全部まとめた本です。

1冊目は、夏目漱石の「こころ」です。文庫本で毎年一番売れる本は、この「こころ」です。「カモメのジョナサン」も素晴らしいでしょう。リチャード・バックの、あるいは五木寛之さんの名訳。読んでいっしょになかったら、ぜひ読んでいただければということです。

私が、学長を務めております東京理科大学は、明治14年にスタートし133年の歴史になりました。

学生諸君に本を読ませようと思って、新書を7,000冊くらい揃えた新書文庫を作りました。

今も各キャンパスでどんどん増やしています。

また、近くの子供たちに本を読んでほしいということで神楽坂に作りましたのが「こどもえほん館」、さらに私は、「子どもと読みたい科学の本棚」というものを1年前の6月に出しました。

いい本を読まなければだめなのです。いい本を感動をもって読まなければだめだということをやっています。

ピサでガリレオ・ガリレイは1564年に生まれます。そして1642年に亡くなっています。不思議なことにその年ニュートンが生まれています。本当に継続するのです。

ガリレオが何をやったか。ピサの斜塔で実験した後に30倍の望遠鏡を作り、まず、月のクレーターを見たのです。

1610年1月7日から実験を始め、月にクレーターがあることを見つけました。次に木星を見て、惑星が4つ回っていることが分かったのです。

1610年3月2日まで実験をするのです。その実験ノートが本として残っています。それが「星界の報告」です。ガリレオ自身が書いた本です。

30倍の望遠鏡はレプリカですけれども東京天文台にあるということがニュースで報道されました。

私が最も尊敬する人は、ファラデーです。今、電気が来ているのはファラデーのおかげです。電磁誘導です。私は、「ファラデーの生涯」という本を大学院の学生の時に読んで本当に感動しました。

1791年ロンドンの生まれ、鍛冶屋の息子です。家はすごく貧しく学校に通えず、製本屋の丁稚奉公になりました。昼休みに自分で製本した本を読んで勉強しただけです。22歳の時に王立研究所で公開実験があり、製本屋の旦那が切符をくれました。これが彼の研究のスタートです。一番前に座り、当時花形のデイビー教授の公開実験を聞いたのです。一生懸命書きとめて、それをまとめて自分の得意な皮表紙の製本にしておきました。しばらくして、デイビー先生の実験助手がいなくなったので、「あのとき真面目に聞いてくれた彼に聞いてみよう」と来てもらったのです。

そうすると、ファラデーがデイビー先生の前で、自分で製作した実験ノートを出しました。デイビー先生は感動して彼を実験助手としたのです。22歳か23歳にスタートして、65歳までずっと屋根裏に住んで実験をやります。

ファラデーが書いた40数年分の実験ノートが残っています。「ファラデー・ダイアリー」として7巻あります。1巻400数ページです。ファラデーの日誌と伝記を読みながら、あの電磁誘導はいつやったのか、全部再現でき、見られるのです。

感動します。

このファラデーは1867年に亡くなります。しかし、不思議なことに、この年にキュリー夫人が生まれるのです。

ガリレオが亡くなるとニュートンが生まれ、マイケル・ファラデーが亡くなるとキュリー夫人が生まれるのです。その不思議さというものは調べてみると、もう本当に驚きます。

マイケル・ファラデーは、教授になってほしい、イギリスの総裁になってほしいなどということを全部断りました。

“I must remain plain Michael Faraday to the last.”  
これは、彼が言っている言葉です。「自分は最後まで、死ぬまで普通の無官のマイケル・ファラデーでいたい」。

これも、私が今年の3月21日に理科大の卒業式で使った言葉です。

ファラデーさんのやったクリスマス・レクチャーは、今でもイギリスで続いています。特に「ろうそくの科学」は文庫本にもなっています。

最後の70歳のときのクリスマス・レクチャーで、6日間連続講座をろうそく1本使って行ったのです。

1日目の公開実験では、太いろうそくを燃やしたときに、中のろうは溶けているのに外側は縁があって固まっていて外に垂れないようになっているのはなぜかと、ロンドン市民に対して質問しました。

ろうそくの上は熱くなります。だから空気が循環し、冷たい空気が下からきて外側を冷やします。だから、縁が固まっているのです。これが1日目の説明でした。このような素晴らしい人がいるのです。



名前は続く

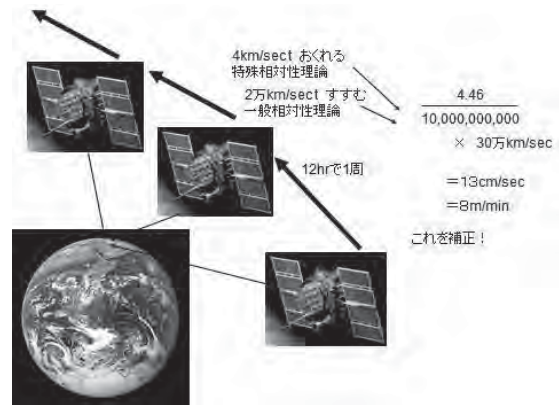
この写真が撮られた1927年までに、マリー・キュリー（はベルギーのブリュッセルで開かれる最高の物理学者たちの会議であるソルベー会議のメンバーになった。前列左から3番目がマリーである。この中には、ボーア、ブラッグ、アインシュタイン、ハイゼンベルク、ローレンツ、パウリ、プランク、シュレーディンガーもいる。

アインシュタイン、この人もまた素晴らしいです。

これは1927年、ベルギー、ブリュッセルでの科学者の集まり、今でも続いているソルベー会議の写真です。アインシュタインが真ん中に、左側にキュリー夫人がいます。

アインシュタインのすごさは、もうご存知の通りです。一般相対性理論、特殊相対性理論を出したのは1905年、だから100年後の2005年は世界中が物理の年、アインシュタインの年としてお祭りしたのです。

ナビゲーション、GPSの精度がなぜ高いのでしょうか。アインシュタインの相対性理論によって、人工衛星の中の時計に生じる、ほんの少し遅れを補正し、精度が上がったのです。100年後の今、恩恵を受けて便利な社会になっているのです。



もっとすごいことは、エネルギー変換則です。 $E = mc^2$ の質量変化が起こるのです。質量に光の速度に2乗をかけたもののエネルギーが出てしまうのです。これがアインシュタインの誘導した式です。太陽エネルギーの22億分の1が地球にきている。その1万分の1を利用できればエネルギー問題は全部解決します。アインシュタインが書いた本が文庫本でもたくさん出ています。

#### 4 私の研究

さて、私がやった研究はいろいろなところに使っていただいています。例えば、横浜みなとみらいにあるこの建物。タイルは全て汚れていません。

透明な酸化チタンがコーティングされているタイルを使っているのです。太陽の光と雨によって、建物は全部常にきれいです。日本が主ですけども、外国でもいろいろなところで

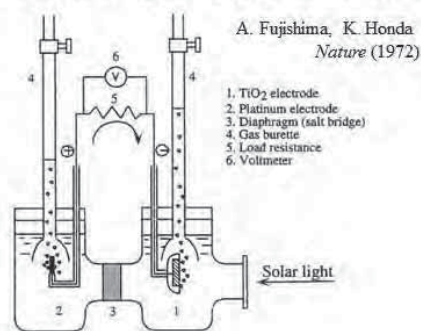
## 光触媒の実用例



使っていただく技術になりました。

この研究をなぜ私がやったのかというと、東大大学院マスター1年のとき、酸化チタン結晶に出会ったことがきっかけです。神戸の中住さんが、会社を設立し、宝石のためにこの結晶を作り始めたのです。お願いして使わせていただくことができ、水の中に入れて光を当てたら表面からガスが出てきました。酸素だったのです。水が分解したのです。このこと論文にまとめて「Nature」に出したところ、すぐに採択されました。

## 光だけで水が分解できた！



普通は、1つの論文を出すと2、3年に1人が引用してくれれば充分なのですが、私の47年前に書いた論文が、去年だけでも英語の論文で1,000以上も引用してくれているのです。

もう一つ、見つけた現象があります。

鏡が曇らなくなるという現象を見つけました。25年前に、鏡の表面に酸化チタンというものを透明にコーティングしたのです。蛍光灯の光を当てたらそこが曇らなくなったのです。

ほとんどの車のサイドミラーは雨の日でも運転しやすくなっています。水滴が粒にならず見やす

くなっています。日本で交通事故が減少してきているということは、私たちの寄与も少しあるのではないかなと思っているわけですが、そんなところに応用していただいています。

東京駅、八重洲の改札を出たところに、とても大きな覆いがあります。真っ白です。丸の内にある、丸ビルのタイル、あれが最初の例です。

日本経済新聞にも、東京オリンピックのマラソンコースに関する記事で、「光触媒を駆使」として、道路に光触媒を応用する話を書いてありました。また、廃棄物の中の窒素酸化物が分解して大気がきれいになってしまうのです。

環七の一部で道路をコーティングしてもらったことがあります。それをもっと都としてやってくださいとお話してから、もう20年近く経っています。実現しませんでしたけれども、今度東京オリンピックでやってくれることになりそうです。

さて、私の尊敬する童話作家加古里子先生が、今年の3月31日に88歳になられました。私は加古先生と一緒に「太陽と光しょくばいものがたり」という本を作りました。今、これが英語、中国語、韓国語に訳されています。

さて、私は1年前に野田キャンパスに研究所を作りました。4階建ての光触媒専門の研究所です。



今、外国から4~5人研究者が来ていますし、理科大学の学生が50人程研究をしています。外は光触媒コーティング、中の実験台も光触媒、エアコンも当然光触媒です。ウイルスが取れますから。去年の6月4日にオープンしました。

この写真は、数年前ノーベル化学賞を受賞した根岸先生に来ていただいた時の写真です。



研究所の中には植物工場が2部屋あります。

ここでは特に漢方薬を作ろうと考えています。中国、韓国から漢方が入らなくなったら、やはり自分たちで作る必要があるからです。

もう一つ、私が一生懸命やっていることはダイヤモンドなのです。このダイヤモンドと酸化チタンの結晶は同じ性質なのです。

中住さんはダイヤモンドに近い結晶である酸化チタンのルチル型単結晶を作っている人、私がその結晶を使わせていただいたということが光触媒のスタートでした。本当のダイヤモンドですが私自身も自分たちで今では作って研究しています。これは、まったく人工的なもので宝石ではありません。工業材料です。透明ではなく、逆に黒くしています。黒ダイヤです。これでいろいろな応用をしています。例えばオゾン水を作ったり、最近注目していただいているものですが、炭酸ガス、 $\text{CO}_2$  はダイヤモンドを使うと非常に有効に燃料にすることができるということが、つい最近分かったのです。何ができるかということ燃料のホルムアルデヒドができるということが分かってきて、これを使いますと、いろいろなポリマーの合成に使うことができるというわけです。

## 5 おわりに

「物華天宝」、中国の王傑という人が言った言葉です。王傑が言った「物」とは何か。その地方の物産という意味です。私の解釈は違って物理化学。その「華」、中華の「華」は、成果、結果です。

科学技術の研究結果は、天に隠されている宝を探すことです。まだ、たくさん隠されている、まだ、解からないことがたくさんあるのです。まだ、研究することはたくさんあるのです。ということ

で、科学技術によって一生懸命研究して、天に隠されている宝を探すべきである。これが、私が常に思っていることです。

では、どのようにしたらよいか。実際は、「物華天宝」に通じた言葉があるのです。中国の言葉は大体8字です。次は人傑地霊という言葉です。

では、人傑地霊とはどのようなことでしょうか。人、人が大切です。人が重要である。人傑です。そして地霊、雰囲気です。その場所とその雰囲気ですね。ということで、今日お話してきたことが、これでまとまると思うのです。

科学技術を一生懸命やっても、まだまだ天に残されている、隠されている宝があります。それをまた、一生懸命科学技術にするのです。「物」科学技術によってその研究成果「華」を出していく。

では、どのように探すかということやはり人しかないので、研究者が一生懸命するのです。人傑です。人がしかも一生懸命にやる。人傑。

地霊、雰囲気です。その場所とその全体の持っている雰囲気です。

「物華天宝人傑地霊」。いい言葉をご紹介します、終わりにさせていただきます。

## 平成 26 年度 東京都産業教育振興会 教育功労者表彰

平成 26 年度公益財団法人産業教育振興中央会実施の「御下賜金記念産業教育功労者」及び本会実施の「中学校技術・家庭科教育功労者」に対する表彰式を平成 26 年 11 月 18 日に都庁第二本庁舎 31 階特別会議室 26 で挙行了いたしました。

表彰式では、本会西澤宏繁会長から功労者に表彰状と記念品が手渡されました。会長の祝辞に続いて、東京都教育委員会を代表して早川剛生教育庁都立学校教育部長から祝辞がありました。続いて公益財団法人産業教育振興中央会専務理事富岡逸郎様、東京都公立高等学校長協会副会長上村肇様、東京都中学校長会会長樋口郁代様の 3 名のご来賓の方々からご祝辞をいただきました。祝辞を受け、受賞者を代表して東京都立工芸高等学校松本光正校長から謝辞が述べられました。

表彰式の出席者は、「御下賜金記念産業教育功労者」19 名中 16 名、「中学校技術・家庭科教育功労者」5 名の計 21 名でした。

受賞者は次の方々です。(敬称略・順不同)

### I 御下賜金記念産業教育功労者 (19 名)

|               |           |         |
|---------------|-----------|---------|
| 東京都立園芸高等学校    | 主 幹 教 諭   | 戸代谷 泰 一 |
| 東京都立瑞穂農芸高等学校  | 実 習 助 手   | 守 屋 良 一 |
| 東京都立農業高等学校    | 主 任 教 諭   | 増 田 博 幸 |
| 東京都立農業高等学校    | 主 任 教 諭   | 山 本 則 和 |
| 東京都立農業高等学校    | 教 諭       | 大 川 伸 一 |
| 東京都立農業高等学校    | 専修実習助手    | 高 松 真由美 |
| 東京都立六郷工科高等学校  | 統 括 校 長   | 石 井 末 勝 |
| 東京都立総合工科高等学校  | 教 諭       | 小 澤 宏   |
| 東京都立工芸高等学校    | 統 括 校 長   | 松 本 光 正 |
| 東京都立北豊島工業高等学校 | 校 長       | 高 橋 康 宏 |
| 東京都立荒川工業高等学校  | 主 任 教 諭   | 小 川 晴 男 |
| 東京都立荒川工業高等学校  | 主 任 教 諭   | 日 木 克 年 |
| 東京都立本所工業高等学校  | 主 任 教 諭   | 小 林 俊 昭 |
| 東京都立墨田工業高等学校  | 非 常 勤 教 員 | 中 泉 俊 彦 |
| 東京都立荒川商業高等学校  | 教 諭       | 鈴 木 貞 衛 |
| 東京都立江東商業高等学校  | 副 校 長     | 太 田 充 幸 |
| 東京都立世田谷泉高等学校  | 統 括 校 長   | 橋 本 昇   |
| 大森学園高等学校      | 教 諭       | 川 端 克 己 |
| 昭和第一学園高等学校    | 教 諭       | 田 辺 登   |

### II 中学校技術・家庭科教育功労者 (5 名)

|             |         |         |
|-------------|---------|---------|
| 世田谷区立深沢中学校  | 主 幹 教 諭 | 吉 原 宏   |
| 練馬区立上石神井中学校 | 主 任 教 諭 | 永 川 祐 助 |
| 八王子市立城山中学校  | 教 諭     | 松 本 誠 之 |
| 立川市立第四小学校   | 校 長     | 大神田 佳 明 |
| 府中市立府中第四中学校 | 校 長     | 三 浦 登   |



## 平成 26 年度 東京都産業教育振興会後援事業

下記の団体に対し後援を行い、状況は以下の通りであった。

|   | 対 象 事 業                                | 開催期間              | 実 施 場 所                                   | 参加者数                          |
|---|----------------------------------------|-------------------|-------------------------------------------|-------------------------------|
| 1 | 第 30 回葛飾区産業フェア                         | 9 月<br>5 日～7 日    | 東京理科大学葛飾キャンパス<br>キャンパスモール                 | 120,000                       |
| 2 | 第 65 回関東地区学校農業クラブ連盟大会<br>平成 26 年度東京大会  | 8 月 20 日～21 日     | 東京農業大学                                    | 503                           |
| 3 | 第 12 回全国中学生創造ものづくり教育フェア<br>inTOKYO     | 11 月 9 日、29 日     | 中央区立佃中学校<br>女子栄養大学駒込キャンパス<br>(お弁当コンクールのみ) | 生徒約 1,000<br>来賓・主催者<br>延約 150 |
| 4 | 関東工業化学教育研究会第 62 回総会・<br>研究協議会          | 8 月 1 日           | 工業教育会館                                    | 55                            |
| 5 | 第 65 回関東支部農業関係高等学校<br>教頭・副校長研究協議会      | 10 月<br>16 日～17 日 | ホテルフロラシオン青山                               | 57                            |
| 6 | 平成 26 年度第 21 回東京都高等学校<br>工業科生徒研究成果発表大会 | 11 月 22 日         | 東京都立総合工科高等学校<br>視聴覚ホール                    | 生徒・保護者・<br>教職員<br>約 320       |
| 7 | 第 2 回東京都立総合学科高等学校<br>教育活動成果発表会         | 12 月 20 日         | 東京都立晴海総合高等学校<br>講堂                        | 309                           |
| 8 | 第 15 回<br>全国中学生「創造ものづくり教育フェア」          | 1 月 24 日～25 日     | 新木場タワー、木材会館<br>女子栄養大学                     | 約 8,500                       |

## 平成 26 年度 産学懇談会

産学懇談会は、産業界と行政、学校が産学連携を図り、産業界や教育現場が抱える課題等に対応するために学校見学と懇談会（情報交換会）を行うもので、平成 18 年度から開催されている。今年度は平成 26 年 11 月 17 日（月）午後 1 時から、東京都立千早高等学校で開催され、22 名の参加者があった。

最初に、主催者を代表して本会の西澤宏繁会長が挨拶し、次に会場校の林修校長からご挨拶をいただいた。その後、石野隆副校長のご案内で授業参観・施設見学を行った。

授業参観・施設見学後、会議室において懇談を行った。

始めに、林修校長から、学校の概要について以下のとおり説明していただいた。

「千早高校は、平成 16 年 4 月に開校したビジネスコミュニケーション科を設置する新しいタイプの進学型専門高校で、今年度で 11 年目を迎えている。グローバルに激変する社会環境の中で主体的に対応し、将来、国際社会で活躍できる人材の育成を目指し、英語教育とビジネス教育に重点を置いた教育課程を編成するとともに、大学等へ進学し継続して学習することを前提とした特色ある教育活動を展開している。

「使える英語を楽しく学ぶ」「役立つビジネスを社会から学ぶ」を教育の柱とし、生徒は、英語を通じて実践的コミュニケーション能力を身に付け、異文化を理解するとともに、ビジネスを通して社会を見つめ、地域とともに課題を解決する新しい社会貢献の在り方を学習している。

また、このような教育活動の根底には、本校のもう一つの柱、校歌にも登場する「RESPECT」の精神がある。すべての生徒が、他者を受け入れ、お互いの気持ちや立場を考えて行動するよう、学校のすべての場面において、「RESPECT」を合言葉に生活している。

今後は、グローバルな人材育成の視点にローカルの視点を加えた「グローバル」な視点による教育活動を展開していきたい。すべての教育活動を創立時の基本理念である「RESPECT」の精神で接続し、生徒、保護者、教職員、そして地域が一体となって、更なる 10 年を目指していきたい。」

次に、先生方から、千早高校独自の学校設定科



都立千早高等学校（正門）



校長挨拶



授業見学



授業見学

目「ERP（多読と発表）」、「コミュニティデザイン」等を中心に、英語教育及びビジネス教育について詳しい説明があった。

その後、参加された皆様から次のようなご感想やご質問・意見をいただいた。

○今日の授業は、飽きることなく、楽しい授業で、参加したくらいであった。生徒は恵まれていると思った。この学校のカリキュラムは現状をよく分かっている人が作ったのか、時宜にかなったカリキュラムであると思う。

○4月に1人、千早高校より入社した。すばらしい教育を受けてきているのが分かる。この学校の教育を3年で終わらせることなく、5年かけてやって欲しい。

○30数年前にこういう高校があったら、英語はもっと上達していたのと思った。最近の若者は、知識は豊富だが、プレゼンが上手でなく仕事が前に進んでいかない。

○千早高校のことは、あまり知らなかった。英語教育とビジネス教育は鳥肌が立つくらいであった。なんで地域の者が知らないのか。生徒は恵まれていて、羨ましいと思った。

○千早高校は上に続く道筋、「千早から大学へ」を大事にして欲しい。

○商業分野の学習の経営・経済よりも英語に特化していると思った。

○英語を好きにさせるにはどうするかがポイントだと思う。

○進路先との連携が課題である。先進的授業が今日なされていた。グローバル、コラボレーションは大事な視点である。目先の大学進学にシフトするとスケールが小さくなるので、先を見て進めてほしい。

○素晴らしい人材育成をしている。大学卒業後、将来何になるのかを見据えて、この学校での教育を進めて欲しい。

○英語の千早ということで参加したが、簿記を英語でやっていた。刺激になった。

○今日の授業は受験とリンクしていないが、子供たちに不安はないか。

○（副校長）受験とは連動していないが、進学実績はでている。8割から9割は一般受験とは違う形で進学している。千早に入学する生徒は、ほぼ進学を目指している。

○男子が少ないという現状があるが、将来の展望は。

○（校長）男子は600人中2割である。男子が増えれば活気づくかもしれないが、特に増やそうと意識していない。男女を問わず、希望者に学んでもらえればよい。

○英語の蔵書が15000冊もあることに驚いた。英語を学ぶ環境がすばらしい。



懇談会



懇談会



懇談会

ご参加いただきました皆様方に厚く御礼申し上げますとともに、会場をご提供くださいました東京都立千早高等学校の林修校長先生、石野隆副校長先生をはじめ、教職員の皆様方のご協力に深く感謝申し上げます。

## 平成26年度「作文コンクール」入選者一覧

今年度の「作文コンクール」の応募者数は、中学校の部が28校134名、高等学校の部は19校106名、専修学校の部は4校23名で、総数51校263名でした。

昨年度に比べ中学校の部は45名の減、高校の部は13名の増、専修学校の部は15名の増で、全体で17名の減でした。来年度も更に都産振の作文コンクールをPRし、各学校での取り組みをお願いしていく必要があります。

応募作文は、各部の選考委員による第一次選考を経て、約22%、57作品が第二次選考にあがりました。第二次選考は、中学校の部が10月28日に、高校・専修の部は10月27日に行われました。厳正な選考の結果中学校の部は最優秀賞：1、優秀賞：3、佳作：15の19名入選（約14%）、高校・専修の部からは最優秀賞：1、優秀賞：3、佳作：17、計21名（約16%）が入選され、中学校の部及び高校・専修の部の総計の入選者数は40名（15%）となりました。

入選者に対する表彰式は12月19日に選考委員、本会役員、東京都教育庁管理職等の出席を得て、東京都庁都民ホール（都議会議事堂1階南側）において行われました。

入選者は以下の通りです。

### 中 学 校 の 部

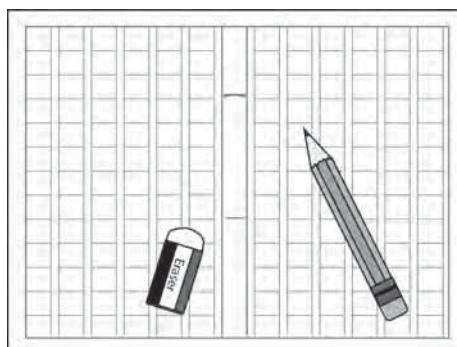
|       |               |                            |    |         |
|-------|---------------|----------------------------|----|---------|
| 最優秀賞  | 九割じゃダメなんです    | 世田谷区立喜多見中学校                | 3年 | 横 内 琴 音 |
| 優 秀 賞 | ものは友達         | 大田区立大森第一中学校                | 3年 | 菊 地 崇 太 |
| 優 秀 賞 | しおり           | 大田区立大森第六中学校                | 3年 | 後 藤 健 斗 |
| 優 秀 賞 | 伝える仕事         | 葛飾区立一之台中学校                 | 3年 | 久 能 裕 加 |
| 佳 作   | 夢のオリンピック      | 中央区立晴海中学校                  | 3年 | 大 槻 涼 香 |
| 佳 作   | 壁             | 新宿区立西早稲田中学校                | 2年 | 末 吉 楓   |
| 佳 作   | 幸せ            | 墨田区立吾嬬立花中学校                | 3年 | 亀 田 百合花 |
| 佳 作   | 働くことの喜び       | 品川区立小中一貫校荏原<br>平塚学園荏原平塚中学校 | 2年 | 永 井 風 也 |
| 佳 作   | 「つくる喜び」とは     | 大田区立大森第六中学校                | 1年 | 阿 部 悠 斗 |
| 佳 作   | 他人の笑顔         | 世田谷区立喜多見中学校                | 3年 | 平 山 佑   |
| 佳 作   | 体験を生かす        | 中野区立第七中学校                  | 3年 | 阿 部 優 花 |
| 佳 作   | 言葉のない命        | 中野区立第七中学校                  | 3年 | 伊 藤 瑞 喜 |
| 佳 作   | 職場体験を通して学んだこと | 北区立赤羽岩淵中学校                 | 3年 | 遠 藤 七 瀬 |
| 佳 作   | 頑張る人に夢を与えたい   | 葛飾区立堀切中学校                  | 3年 | 加 藤 太 一 |
| 佳 作   | 体験を未来に繋げて     | 東京都立大泉高等学校附属中学校            | 2年 | 井 上 明 香 |
| 佳 作   | 見えない『バックヤード』  | 東京都立大泉高等学校附属中学校            | 2年 | 齋 藤 舞   |
| 佳 作   | 感謝する          | 東京都立大泉高等学校附属中学校            | 2年 | 廣 瀬 由梨佳 |
| 佳 作   | いのちをあずかる      | 東京都立大泉高等学校附属中学校            | 2年 | 細 田 夏 花 |
| 佳 作   | 心の強さ          | 東京都立大泉高等学校附属中学校            | 2年 | 山 田 才   |

## 高等学校の部

|      |                |              |    |       |
|------|----------------|--------------|----|-------|
| 最優秀賞 | モノづくりの心を受け継ぐ   | 東京都立農産高等学校   | 2年 | 加藤幸乃  |
| 優秀賞  | 笑顔             | 愛国高等学校       | 3年 | 下司結香  |
| 優秀賞  | 経験を武器にして       | 東京都立瑞穂農芸高等学校 | 2年 | 関根愛衣子 |
| 佳作   | 素敵な瞬間を見て—私の目標  | 愛国高等学校       | 3年 | 上野愛恵  |
| 佳作   | 看護実習を体験して      | 愛国高等学校       | 3年 | 奥村沙希  |
| 佳作   | 夢              | 愛国高等学校       | 3年 | 杉本莉佳子 |
| 佳作   | 病院実習を行って       | 愛国高等学校       | 3年 | 畠山花香  |
| 佳作   | 未来のルール         | 岩倉高等学校       | 3年 | 青島圭汰  |
| 佳作   | 私が鉄道実習を通して学んだ事 | 岩倉高等学校       | 3年 | 安部康介  |
| 佳作   | 学んだことは「2つの心」   | 岩倉高等学校       | 3年 | 野口雄太郎 |
| 佳作   | 体験してこそ見えた世界    | 岩倉高等学校       | 3年 | 宮崎和幸  |
| 佳作   | 農業で知った作ることの喜び  | 東京都立大島高等学校   | 3年 | 影山雅晃  |
| 佳作   | 商いと人とのつながり     | 東京都立第一商業高等学校 | 2年 | 石田麻奈美 |
| 佳作   | 夢への道のり         | 東京都立農芸高等学校   | 3年 | 田中愛里  |
| 佳作   | 酪農体験で知る        | 東京都立農産高等学校   | 3年 | 石田凌   |
| 佳作   | 動物と生きる         | 東京都立瑞穂農芸高等学校 | 1年 | 太田しゅう |

## 専修学校の部

|     |               |              |    |       |
|-----|---------------|--------------|----|-------|
| 優秀賞 | 回り道をすること      | 青山製図専門学校     | 1年 | 横堀圭亮  |
| 佳作  | 専門教科を通して学んだこと | 青山製図専門学校     | 1年 | 三木遼太  |
| 佳作  | 学習に対する心構え     | 青山製図専門学校     | 1年 | 宮島真美子 |
| 佳作  | 将来の夢          | 中央工学校        | 1年 | 藤原誠也  |
| 佳作  | 私の職業観         | 日本工学院八王子専門学校 | 2年 | 加藤理恵  |



## 作文コンクール最優秀賞作文

### 九割じゃダメなんです

世田谷区立喜多見中学校 3年 横内 琴音

私は普段はスマートフォン片手にテレビゲームのコントローラーをあやつるようなデジタルの海を漂っているタイプの人間です。普段はそんな私ですが学校の技術や美術で色々なものを作るときには消費電力ゼロの原始的作業に没頭します。のこぎりで板をカットしたり彫刻刀で柄を削り出したり、やり直しができない緊張とリアルに出てくる結果は現実世界にしかない驚きと嬉しさが詰まっています。だから私は何かを作ることが好きなのです。

学校で作った棚は音楽ディスクを入れるために作りました。大きくもなく小さくもなく私の部屋にぴったりのサイズです。美術で作った時計はこんなデザインのものが売っていたら買うのになと思うデザインを彫りました。時計盤の世界を旅するイメージで秒針の先が飛行機になっているパーツを私は選びました。

一から作るのはとても大変ですが制作中は音楽ディスクをどの順番で並べようとか、時計はどこに置こうかなど完成した後のことを想像していて飽きることがありません。完成して部屋に置いたとき満足感は終わることなくものに宿ります。ものを作る喜びは自分で自分の欲しかったものを作って得られるということです。

完成した作品を見ていて不思議なことを感じる瞬間も私は好きです。この木はどこの山に生えていたのだろう。このビス原材料の金属はどこの山で採掘されたのだろう。地表で育った樹木と地中で眠っていた金属と東京で育った自分。三者が出会い今、ここで私の部屋でお気に入りのモノになっている。小さな地球がここにあるように思え何だかうれしいとを感じるのです。

私には作ってみたいもう一つのものづくりがあります。それは自分のためにつくるのではなく誰か知らない人にもものを作って提供したいという希望です。

今はとても恥ずかしくて自分の作ったものを他人にあげるなんてことはできません。技術もないし知識も不足しています。

学校のテストなら九十点とれば褒めてもらえますが誰かに提供する商品だったら完成度九十パーセントのものなんて商品とは呼べません。九割くらい正確に動いている時計を身に着けているパイロットは

一人もいません。十回のうち九回しかブレーキが効かない自動車が売っていたらどんなに安くても見た目がかっこよくても私は買いません。

ものを知らない誰かに届けるということはとても大変で厳しいことなのだと思います。作ったものがきちんと機能しているのか、持ち主を傷つけるようなことがないのか検証したりしなければいけないと思います。そこまでいくにはまだまだ勉強が必要ですし色々な人の意見を聞いたり話し合ったりすることもとても重要なのだと思います。技術だけではなくコミュニケーションも身に付けていきたいと強く思っています。そして社会がどのようなものを望んでどんなものだったら人は便利だと思うのか感じ取れるようになりたいと思います。そして将来は色々な世代や分野の人と関わりチームで何かを作りたいです。そして完成したとき作ったみんなで完成を喜びたいし、知らない誰かに作ったものを手に取って喜んでもらいたいです。

## モノづくりの心を受け継ぐ

東京都立農産高等学校 2年 加藤 幸乃

七十八歳になる私の祖父は、六十三年間モノづくり一筋に情熱を注いできました。祖父の仕事はプラスチックの原料を、押し出し機と呼ばれる高温の機械を使って着色し、ボールペンなどに使われるプラスチックを製造することでした。私は祖父の働く姿が大好きでよく工場を手伝いをしていました。

祖父は普段温厚な人ですが、ひとたび工場に入ると厳しい顔つきに変わり、鋭い目つきで製品の着色具合を見きわめます。また、プラスチックは、機械の温度や水温により色や堅さに影響が出るため、祖父は作業をしながら常に機械から出る微妙な音の変化に耳を傾け、温度や水温の調整をしていました。でき上がったプラスチックは二十五キロずつ袋に詰め、肩に担いで運びます。そんな祖父の体は、いつも汗と染め粉で真っ黒でした。長年培った技術は、他社には着色できない難しい仕事もこなすほどでした。より良い製品を作ろうと毎日懸命に働く祖父が私にはとても誇らしくあこがれでもありました。

また祖父は、仕事で使う道具や機械をととても大切にしていました。祖父が使う機械はとても古く、いつ壊れてしまってもおかしくありませんでした。しかし「機械は自分の子供と同じだ」と、毎日の手入れを怠らず、錆びた箇所をペンキで塗り替え、「ありがとう」と機械にいつも感謝していました。また機械は、そんな祖父の愛情に応えるかのように祖父が目指す製品を察知し、祖父の手となり足となり、まさに一心同体のように見えました。祖父の姿を見ていると、自分の力だけでモノづくりはできないと

いうことが実感できました。

モノづくりは、作り手がモノや道具に心を込めたとき、その心がモノや道具にも伝わり技術だけでは作ることのできない、素晴らしい製品が生みだされるのだと思いました。

昨年私は農産高校に入学しましたが、そのとき祖父に教えてもらったことがあります。それは、「モノづくりは、よく観察することで、見えないものが観えてくるよ」ということです。その意味もよく分からないまま植物を育てていた私ですが、夏のキュウリの栽培で巻きひげの巻き方に興味を持ち、調べてみることにしました。巻きひげは巻き方を途中で変えることで、バネのように伸び縮みし、風などから巻きひげが切れるのを防いでいる事が分かりました。また何気なく観ていた庭のタンポポが、葉を放射線状に広げているのを見て、授業で習ったロゼット植物を思い出しました。ロゼット植物は、地面にへばりつくように葉を広げて、寒風や土が乾くのを防ぎます。タンポポの花は開花を終えると花茎を横に倒し、他の花の開花に席を譲り、種子が実ると再度花茎を立ち上げます。花茎を高く伸ばすのは、種子を遠くに飛ばすためです。

まるで植物が意志を持っているかのように感じられます。その他の植物も生き抜く為にさまざまな工夫をしていることが分かりました。よく観察することで、目には見えない植物の知恵を観る事ができ、祖父のおかげで植物を育てることがより楽しくなりました。

大切なことを教えてくれた祖父ですが、様々な事情から今年の三月に工場を閉鎖しました。毎日当たり前の様に感じていた機械の音や熱気、そして祖父の姿が工場から消え、私はたまらない寂しさを感じると共に、祖父の歩んできた道を無駄にしたいと強く思うようになりました。私は、祖父の仕事を受け継ぐことはできません。しかし祖父のモノづくりに対する愛情や、思いを受け継ぐことはできます。モノや道具を大切に感謝していく心、そして愛情を注いでつくるという、祖父のモノづくりの精神を、今の私は農業や園芸といったモノづくりに生かしていきたいです。愛情をかけたからこそできる、心のこもった作物を、祖父のように作っていきたいです。

第二の人生を歩み始めた祖父は、少し寂しそうに見えます。私は、長年の疲れた体と心を癒す、園芸という新しいモノづくりを、祖父と一緒に楽しみたいと思います。

## 平成26年度「作文コンクール」応募校一覧

## &lt;中学校の部&gt;

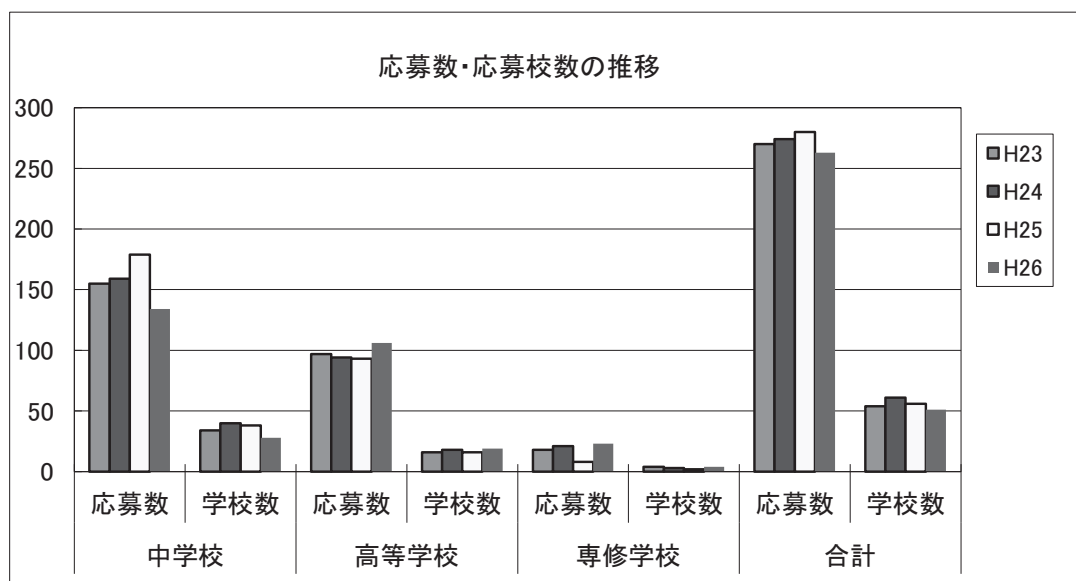
| 番号 | 区・市名 | 学校名         | 応募数 | 入選数 |
|----|------|-------------|-----|-----|
| 1  | 中央区  | 晴海中学校       | 1   | 1   |
| 2  | 新宿区  | 牛込第二中学校     | 2   |     |
| 3  |      | 西早稲田中学校     | 2   | 1   |
| 4  | 墨田区  | 両国中学校       | 10  |     |
| 5  |      | 吾嬬立花中学校     | 1   | 1   |
| 6  | 品川区  | 日野中学校       | 10  |     |
| 7  |      | 荏原第一中学校     | 1   |     |
| 8  |      | 荏原平塚中学校     | 2   | 1   |
| 9  | 大田区  | 大森第一中学校     | 1   | 1   |
| 10 |      | 大森第六中学校     | 5   | 2   |
| 11 | 世田谷区 | 松沢中学校       | 4   |     |
| 12 |      | 用賀中学校       | 4   |     |
| 13 |      | 喜多見中学校      | 9   | 2   |
| 14 | 中野区  | 第七中学校       | 3   | 2   |
| 15 |      | 中野中学校       | 5   |     |
| 16 | 北区   | 王子桜中学校      | 1   |     |
| 17 |      | 赤羽岩淵中学校     | 1   | 1   |
| 18 | 荒川区  | 第七中学校       | 1   |     |
| 19 | 足立区  | 第六中学校       | 10  |     |
| 20 |      | 第十一中学校      | 1   |     |
| 21 |      | 湊江中学校       | 10  |     |
| 22 |      | 千寿青葉中学校     | 1   |     |
| 23 | 葛飾区  | 堀切中学校       | 10  | 1   |
| 24 |      | 一之台中学校      | 10  | 1   |
| 25 | 調布市  | 第六中学校       | 10  |     |
| 26 | 羽村市  | 羽村第三中学校     | 7   |     |
| 27 | 都立   | 大泉高等学校附属中学校 | 6   | 5   |
| 28 | 私立   | 愛国中学校       | 6   |     |
| 計  |      |             | 134 | 19  |

## &lt;高等学校・専修学校の部&gt;

| 番号 | 学校名          | 応募数 | 入選数 |
|----|--------------|-----|-----|
| 1  | 都立第一商業高等学校   | 3   | 1   |
| 2  | 都立園芸高等学校     | 2   |     |
| 3  | 都立中野工業高等学校   | 1   |     |
| 4  | 都立農芸高等学校     | 2   | 1   |
| 5  | 都立赤羽商業高等学校   | 4   |     |
| 6  | 都立北豊島工業高等学校  | 1   |     |
| 7  | 都立忍岡高等学校     | 10  |     |
| 8  | 都立荒川工業高等学校   | 6   |     |
| 9  | 都立農産高等学校     | 10  | 2   |
| 10 | 都立橘高等学校      | 8   |     |
| 11 | 都立瑞穂農芸高等学校   | 7   | 2   |
| 12 | 都立小金井工業高等学校  | 2   |     |
| 13 | 都立農業高等学校     | 10  |     |
| 14 | 都立大島高等学校     | 1   | 1   |
| 15 | 都立八丈高等学校     | 2   |     |
| 16 | 愛国高等学校       | 10  | 5   |
| 17 | 岩倉高等学校       | 8   | 4   |
| 18 | 蒲田女子高等学校     | 9   |     |
| 19 | 国際理容美容専門学校   | 10  |     |
| 小計 |              | 106 | 16  |
| 1  | 青山製図専門学校     | 10  | 3   |
| 2  | 中央工学校        | 2   | 1   |
| 3  | 二葉栄養専門学校     | 1   |     |
| 4  | 日本工学院八王子専門学校 | 10  | 1   |
| 小計 |              | 23  | 5   |
| 計  |              | 129 | 21  |

## &lt;まとめ&gt;

| 区分   | 応募校数 | 応募数 | 入選数 |
|------|------|-----|-----|
| 中学校  | 28   | 134 | 19  |
| 高等学校 | 19   | 106 | 16  |
| 専修学校 | 4    | 23  | 5   |
| 総計   | 51   | 263 | 40  |



|     | 中学校 |     | 高等学校 |     | 専修学校 |     | 合計  |     |
|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|-----|-----|
|     | 応募数 | 学校数 | 応募数  | 学校数 | 応募数  | 学校数 | 応募数 | 学校数 |
| H23 | 155 | 34  | 97   | 16  | 18   | 4   | 270 | 54  |
| H24 | 159 | 40  | 94   | 18  | 21   | 3   | 274 | 61  |
| H25 | 179 | 38  | 93   | 16  | 8    | 2   | 280 | 56  |
| H26 | 134 | 28  | 106  | 19  | 23   | 4   | 263 | 51  |

応募数の変化(前年度から見た変化)

| 校 種  | 平成23年度(2011) |     | 平成24年度(2012) |    | 平成25年度(2013) |     | 平成26年度(2014) |     | 平均<br>応募数 |
|------|--------------|-----|--------------|----|--------------|-----|--------------|-----|-----------|
|      | 応募数          | 増減  | 応募数          | 増減 | 応募数          | 増減  | 応募数          | 増減  |           |
| 中学校  | 155          | 13  | 159          | 4  | 179          | 20  | 134          | -45 | 157       |
| 高等学校 | 97           | -29 | 94           | -3 | 93           | -1  | 106          | 13  | 98        |
| 専修学校 | 18           | -1  | 21           | 3  | 8            | -13 | 23           | 15  | 18        |
| 総数   | 270          | -17 | 274          | 4  | 280          | 6   | 263          | -17 | 272       |

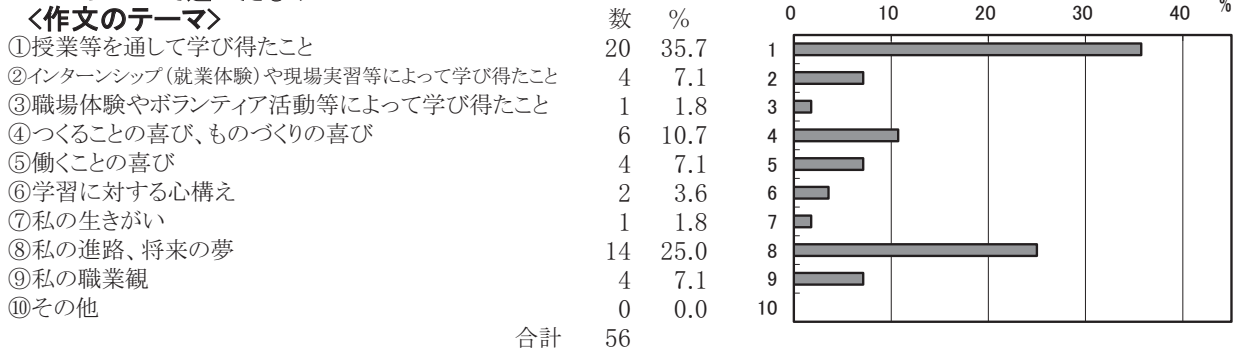
作文コンクール 入選数の集計

| 校種   | 平成23年度(2011) |     |    | 平成24年度(2012) |     |    | 平成25年度(2013) |     |    | 平成26年度(2014) |     |    | 平均% |
|------|--------------|-----|----|--------------|-----|----|--------------|-----|----|--------------|-----|----|-----|
|      | 応募数          | 入選数 | %  | 応募数          | 入選数 | %  | 応募数          | 入選数 | %  | 応募数          | 入選数 | %  |     |
| 中学校  | 155          | 22  | 14 | 159          | 23  | 14 | 179          | 26  | 15 | 134          | 19  | 14 | 14  |
| 高等学校 | 97           | 16  | 17 | 94           | 15  | 16 | 93           | 14  | 15 | 106          | 16  | 15 | 16  |
| 専修学校 | 18           | 3   | 17 | 21           | 3   | 14 | 8            | 2   | 25 | 23           | 5   | 22 | 20  |
| 総数   | 270          | 41  | 15 | 274          | 41  | 15 | 280          | 42  | 15 | 263          | 40  | 15 | 15  |
| 参考   | 選考要領は15%程度   |     |    | 選考要領は15%程度   |     |    | 選考要領は15%程度   |     |    | 選考要領は15%程度   |     |    | —   |

## 分野別応募数 高校・専修の部(平成26年度)

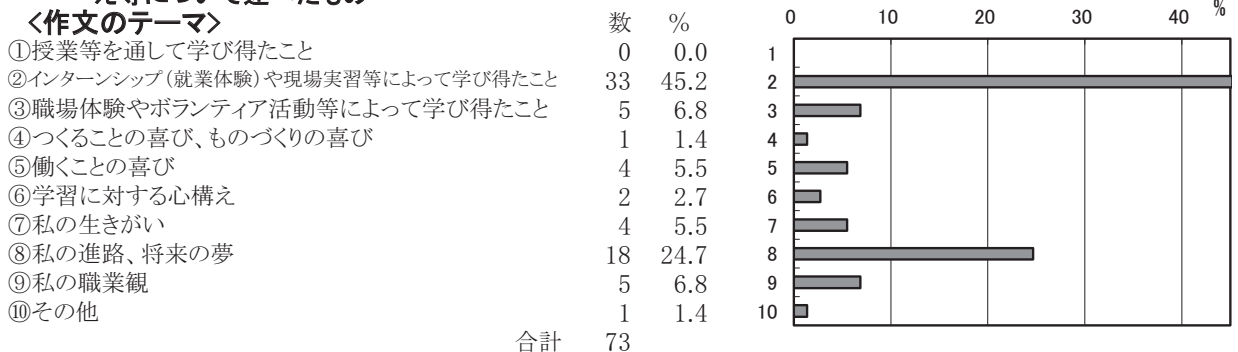
## ＜作文の内容＞

(1) 中学校の技術・家庭科、高等学校及び専修学校等における専門教科の学習を通して体験したことについて述べたもの



## ＜作文の内容＞

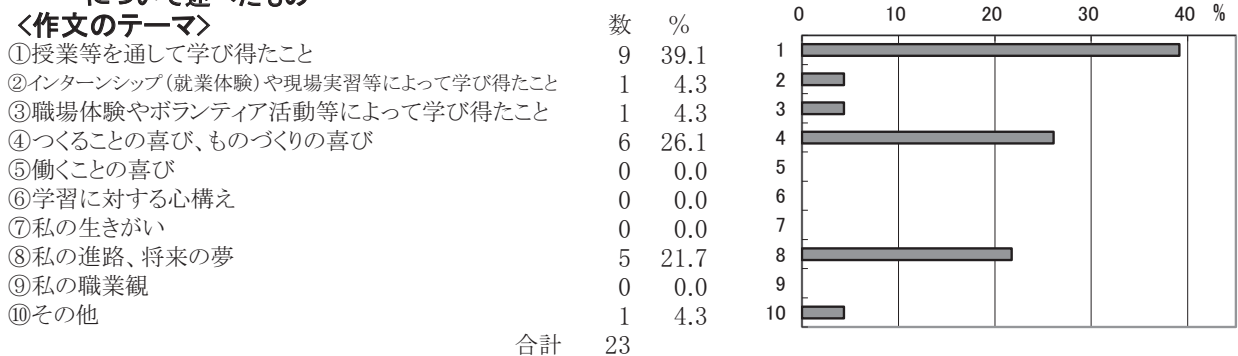
(2) 勤労に係わる体験的な学習によって学び得た人生観・職業観、自己の将来に対する考え方・心構え等について述べたもの



## 分野別応募数 中学校の部(平成26年度)

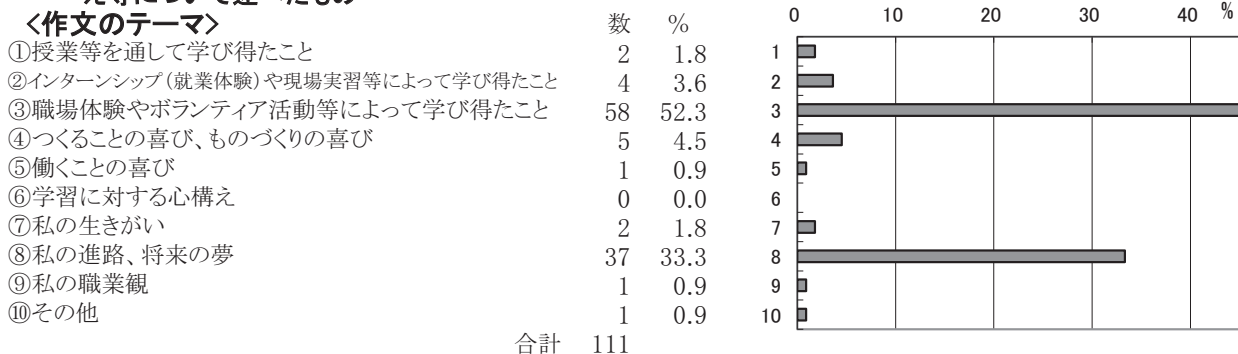
## ＜作文の内容＞

(1) 中学校の技術・家庭科、高等学校及び専修学校等における専門教科の学習を通して体験したことについて述べたもの



## ＜作文の内容＞

(2) 勤労に係わる体験的な学習によって学び得た人生観・職業観、自己の将来に対する考え方・心構え等について述べたもの



## 本会の概要

# 平成26年度 事業経過報告

(平成27年2月20日現在)

### 1 会計監査

4月15日(火) 午後3時から、都庁第二本庁舎28階 第三会議室を会場として  
常任監事及び監事2名による各種帳簿類等の監査を実施(本会事務局長立会い)

### 2 理事会

5月13日(火) 午後3時から、都庁第二本庁舎31階 特別会議室25で開催

### 3 総会・講演会

6月3日(火) 午後2時から、都庁第二本庁舎31階 特別会議室21で開催

○ 講演 演題 「教養と教育が大切」

講師 東京理科大学学長 藤嶋 昭 氏

※ 総会の報告は会報第146号に、講演会の報告は本誌に掲載しております。

(本誌 p.43～50)

### 4 委員会

(1) 企画推進委員会 7月3日(木) 都庁第二本庁舎31階 特別会議室26で開催

(2) 中学校技術・家庭科教育功労者選考委員会

9月19日(金) 都庁第二本庁舎28階 第三会議室で開催

(3) 作文選考委員会 6月19日(木) 全体会 都庁第二本庁舎28階 第三会議室で開催

10月27日(月) 分科会(高等学校・専修学校の部) 都庁第二本庁舎28階  
第三会議室で開催

10月28日(火) 分科会(中学校の部) 都庁第二本庁舎28階 第三会議室で  
開催

### 5 振興奨励事業

(1) 教育功労者表彰: 中学校技術・家庭科教育功労者(5名)、御下賜金記念産業教育功労者(19名)  
の表彰式を、11月18日(火) 午後3時から都庁第二本庁舎31階・特別会議室26において挙行了た。  
本会より表彰状の授与と記念品贈呈を行い、記念撮影をした。(本誌 p.51～52)

(2) 研究団体助成: 産業教育関係の教育団体に対する奨励助成として、農業、工業、家庭、統合学科、  
定時制・通信制、中学校技術・家庭科の各研究会に対し、研究資料作成など事業活動費の一部を  
助成した。

(3) 作文コンクール: 中学生、高校生、高専生、専修学校生、短大生に対する作文募集を行い、応  
募総数は263点であった。その中から最優秀賞2名(中学校1名、高校1名)、優秀賞6名(中  
学校3名、高校2名、専修学校1名)、佳作32名(中学校15名、高校13名、専修学校4名)計  
40名の入選者を選定した。

12月19日(金)に都議会議事堂1階都民ホールにおいて「作文コンクール表彰式」を行い、  
入選者に賞状と賞品を授与した。また、入選者以外の応募者全員に記念品を贈呈した。

(本誌 p.55 ～ 62)

- (4) 卒業生選奨：優良卒業生に対し、各学校の校長を通じ、本会会長及びに公益財団法人産業教育振興中央会会長の表彰状の交付及び授与を行った。

○東京都産業教育振興会会長表彰

|       |       |              |      |           |
|-------|-------|--------------|------|-----------|
| 中学校   | 840 名 | 中等教育学校（前期課程） | 12 名 |           |
| 高等学校  | 217 名 | 専修学校         | 55 名 |           |
| 高専・短大 | 14 名  |              |      | 計 1,138 名 |

○公益財団法人産業教育振興中央会会長の表彰

|              |         |
|--------------|---------|
| 高等学校及び高等専門学校 | 計 112 名 |
|--------------|---------|

- (5) 後援事業：産業教育の普及向上に寄与する事業を実施する団体等に対して、本会の後援名義の使用を承認している。本年度は 8 団体、8 事業に対して後援名義の使用を承認した。(本誌 p.52)

## 6 産学交流事業

産学懇談会を 11 月 17 日（月）に都立千早高等学校を会場として行った。ビジネスコミュニケーション科の授業、施設見学の後、教育内容や産学連携等について話し合い、有意義な懇談会であった。参加者は、会場校長・副校長・教員および産業界・地元商工会議所・公立高校・公立中学校・専修学校の管理職等、教育庁指導部・都立学校教育部職員等 21 名であった。また、懇談会后、有楽町線・副都心線千川駅近くで自由参加（15 名）による教育懇親会を持った。(本誌 p.53 ～ 54)

## 7 情報連絡事業

- (1) 本年度は、会報「東京の産業と教育」を年 2 回発行、第 146 号を 7 月 18 日に、第 147 号を 12 月 1 日に発行し、全会員及び関係諸機関に配布した。
- (2) 会誌「東京の産業教育」第 52 号を 3 月 1 日に発行し、全会員及び関係諸機関に配布する。
- (3) 生徒作文集「明日に生きる」第 25 号は入選作品 40 編を掲載して、3 月 1 日に発行し、入選者及び全会員・関係諸機関に配布する。
- (4) 全国産業教育振興会連絡協議会総会及び公益財団法人産業教育振興中央会参与・学校代表委員総会が、5 月 22 日（木）に東京の工業教育会館で開催された。本会より会長、事務局長、学校代表委員が出席した。
- (5) 文部科学省・宮城県教委・公益財団法人産業教育振興中央会ほか主催の、第 24 回全国産業教育フェア宮城大会・第 56 回全国産業教育振興大会が、11 月 8 日（土）～9 日（日）、宮城県名取市内の会場を中心に開催され、本会から会長と会員数名が参加した。(本誌 p.40 ～ 42)
- (6) 東京都産業教育振興会のホームページを月一回更新した。
- (7) 公益財団法人産業教育振興中央会の実施する「産業教育改善に関する特別教育助成」事業に本会から 1 名の応募があった。なお、同会主催の「産業実地研修会」、「海外産業教育事情視察」等の事業には本会からの応募者・参加希望者はなかった。

## 8 会員の増加運動の推進

専修学校会員 3、個人会員 7、が新規に加入した。

# 平成 25 年度 決 算

総収入額      ¥2,964,774  
 総支出額      ¥2,508,366  
 差 引 額      ¥ 456,408

## [ 収入の部 ]

(単位：円)

| 科 目  | 予算額       | 決算額       | 差額        | 摘 要                                     |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------------------------------------|
| 会 費  | 2,454,000 | 2,260,000 | △ 194,000 | 1 学校関係 1,482,000                        |
|      |           |           |           | ① 国公立中学校 411 校 822,000                  |
|      |           |           |           | ② 都立高校 全 53 校 318,000<br>定 31 校 93,000  |
|      |           |           |           | ③ 私立・国立高校 全 20 校 120,000<br>定 1 校 3,000 |
|      |           |           |           | ④ 高専・短大 3 校 18,000                      |
|      |           |           |           | ⑤ 専修学校 17 校 18 口 108,000                |
|      |           |           |           | 2 産業界関係 778,000                         |
|      |           |           |           | ① 企 業 50 社 76 口 760,000                 |
|      |           |           |           | ② 個 人 9 名 9 口 18,000                    |
| 利子収入 | 399       | 173       | △ 226     | 預金利息                                    |
| 雑収入  | 165,000   | 175,000   | 10,000    | 広告料ほか                                   |
| 繰越金  | 529,601   | 529,601   | 0         | 前年度繰越                                   |
| 合 計  | 3,149,000 | 2,964,774 | △ 184,226 |                                         |

## [ 支出の部 ]

(単位：円)

| 科 目     |            | 予算額       | 決算額       | 差額      | 摘 要                   |         |
|---------|------------|-----------|-----------|---------|-----------------------|---------|
| 事務費     |            | 520,000   | 322,395   | 197,605 |                       |         |
| 項 目     | 需用費        | 80,000    | 60,950    | 19,050  | 総会資料印刷、消耗品費等、資料管理費    |         |
|         | 役務費        | 400,000   | 261,445   | 138,555 | 配送費、郵便振込手数料、郵券等、連絡通信費 |         |
|         | 旅 費        | 40,000    | 0         | 40,000  | 全国産業教育フェア（愛知）         |         |
|         | 会議費        | 100,000   | 19,955    | 80,045  | 理事会、総会、講演会、各種委員会      |         |
| 事業費     |            | 2,358,000 | 2,101,016 | 256,984 |                       |         |
| 項 目     | 振 興<br>奨励費 | 960,000   | 887,726   | 72,274  | ①教育功労者表彰              | 183,278 |
|         |            |           |           |         | ②研究奨励助成               | 112,000 |
|         |            |           |           |         | ③作文表彰等                | 384,999 |
|         |            |           |           |         | ④永年会員表彰               | 42,069  |
|         |            |           |           |         | ⑤表彰状印刷等               | 132,630 |
|         |            |           |           |         | ⑥表彰状筆耕料               | 32,750  |
|         | 情 報<br>連絡費 | 1,388,000 | 1,208,040 | 179,960 | ①会報発行（2 回分）           | 204,120 |
|         |            |           |           |         | ②会誌 51 号発行            | 430,920 |
|         |            |           |           |         | ③作文集 24 号発行           | 378,000 |
|         |            |           |           |         | ④ HP 更新費              | 189,000 |
| ⑤全産協参加費 |            |           |           |         | 6,000                 |         |
| ⑥中央会図書費 |            |           |           |         | 0                     |         |
| 産学交流費   |            | 10,000    | 5,250     | 4,750   | 産学懇談会                 |         |
| 分担金     |            | 65,000    | 65,000    | 0       | 全国産業教育振興会連絡協議会        |         |
| 予備費     |            | 106,000   | 0         | 106,000 | 緊急対応                  |         |
| 合 計     |            | 3,149,000 | 2,508,366 | 640,634 |                       |         |

（注）科目間の流用は、会長承認によって行うことができる。

## 平成 26 年度 予 算

総収入額 ￥2,924,000

総支出額 ￥2,924,000

差 引 額 ￥ 0

## 〔収入の部〕

(単位：円)

| 科 目  | 本年度<br>予算額 (A) | 前年度<br>予算額 (B) | 増△減<br>(A-B) | 摘 要                                     |
|------|----------------|----------------|--------------|-----------------------------------------|
| 会 費  | 2,302,000      | 2,454,000      | △ 152,000    | 1 学校関係 1,474,000                        |
|      |                |                |              | ① 国公立中学校 410 校 820,000                  |
|      |                |                |              | ② 都立高校 全 53 校 318,000<br>定 31 校 93,000  |
|      |                |                |              | ③ 私立・国立高校 全 18 校 108,000<br>定 1 校 3,000 |
|      |                |                |              | ④ 高専・短大 3 校 18,000                      |
|      |                |                |              | ⑤ 専修学校 18 校 19 口 114,000                |
|      |                |                |              | 2 産業界関係 828,000                         |
|      |                |                |              | ① 企 業 51 社 81 口 810,000                 |
|      |                |                |              | ② 個 人 9 名 9 口 18,000                    |
| 利子収入 | 592            | 399            | 193          | 預金利息                                    |
| 雑収入  | 165,000        | 165,000        | 0            | 会誌広告料                                   |
| 繰越金  | 456,408        | 529,601        | △ 73,193     | 前年度繰越                                   |
| 合 計  | 2,924,000      | 3,149,000      | △ 225,000    |                                         |

## 〔支出の部〕

(単位：円)

| 科 目 | 本年度<br>予算額 (A) | 前年度<br>予算額 (B) | 増△減<br>(A-B) | 摘 要                             |
|-----|----------------|----------------|--------------|---------------------------------|
| 事務費 | 410,000        | 520,000        | △ 110,000    |                                 |
| 項 目 | 需用費            | 80,000         | 80,000       | 0 総会資料印刷、消耗品費等、資料管理費            |
|     | 役務費            | 300,000        | 400,000      | △ 100,000 配送費、郵便振込手数料、郵券等、連絡通信費 |
|     | 旅 費            | 30,000         | 40,000       | △ 10,000 全国産業教育フェア（宮城）          |
|     | 会議費            | 100,000        | 100,000      | 0 理事会、総会、講演会、各種委員会              |
| 事業費 | 2,318,000      | 2,358,000      | △ 40,000     |                                 |
| 項 目 | 振 興<br>奨励費     | 960,000        | 0            | ①教育功労者表彰 190,000                |
|     |                |                |              | ②研究奨励助成 130,000                 |
|     |                |                |              | ③作文表彰等 400,000                  |
|     |                |                |              | ④永年会員表彰 50,000                  |
|     |                |                |              | ⑤表彰状印刷 150,000                  |
|     |                |                |              | ⑥表彰状筆耕料 40,000                  |
|     | 情 報<br>連絡費     | 1,348,000      | △ 40,000     | ①会報発行（2 回分） 240,000             |
|     |                |                |              | ②会誌 52 号発行 500,000              |
|     |                |                |              | ③作文集 25 号発行 400,000             |
|     |                |                |              | ④ HP 更新費 200,000                |
|     | 産 学<br>交流費     | 10,000         | 0            | ⑤全産協参加費 6,000                   |
|     |                |                |              | ⑥中央会図書費 2,000                   |
| 分担金 | 65,000         | 65,000         | 0            | 全国産業教育振興会連絡協議会                  |
| 予備費 | 31,000         | 106,000        | △ 75,000     | 緊急対応                            |
| 合 計 | 2,924,000      | 3,149,000      | △ 225,000    |                                 |

(注) 科目間の流用は、会長承認によって行うことができる。

# 平成 26 年度 東京都産業教育振興会 役員 (敬称略・順不同)

(☆印：新任)

平成 26 年 7 月 16 日現在

|         |                                                  |         |
|---------|--------------------------------------------------|---------|
| 会 長     | 日本リスク・データ・バンク株式会社 顧問<br>(前・株式会社企業再生支援機構 代表取締役社長) | 西 澤 宏 繁 |
| 副 会 長   | 株式会社カナック企画相談役                                    | 金 子 昌 男 |
| 〃       | 東京商工会議所総務統括部長                                    | 小 林 治 彦 |
| 〃       | 東京都立園芸高等学校長                                      | 徳 田 安 伸 |
| 理 事 長   | 東京都教育委員会教育長                                      | 比留間 英 人 |
| 常 任 理 事 | ☆ 東京都教育庁都立学校教育部長                                 | 早 川 剛 生 |
| 〃       | ☆ 東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長                          | 山 本 謙 治 |
| 理 事     | 公益社団法人経済同友会常務理事                                  | 伊 藤 清 彦 |
| 〃       | 東京経営者協会常務理事                                      | 平 井 康 行 |
| 〃       | 信川化学工業株式会社取締役社長                                  | 信 川 仁 道 |
| 〃       | 株式会社日刊工業新聞社代表取締役社長                               | 井 水 治 博 |
| 〃       | 三和電気工業株式会社代表取締役社長                                | 石 井 卓 爾 |
| 〃       | 墨田区教育委員会教育長                                      | 横 山 信 雄 |
| 〃       | 江東区教育委員会教育長                                      | 岩 佐 哲 男 |
| 〃       | 武蔵野市教育委員会教育長                                     | 宮 崎 活 志 |
| 〃       | ☆ 板橋区教育委員会学務課長                                   | 榎 木 恭 子 |
| 〃       | ☆ 墨田区教育委員会学務課長                                   | 齋 藤 好 正 |
| 〃       | 東京誠心調理師専門学校長                                     | 廣 瀬 道   |
| 〃       | 岩倉高等学校長                                          | 浅 井 千 英 |
| 〃       | 安部学院高等学校長                                        | 安 部 元 彦 |
| 〃       | 東京都立工芸高等学校長                                      | 松 本 光 正 |
| 〃       | 東京都立園芸高等学校長 (副会長兼任)                              | 徳 田 安 伸 |
| 〃       | 東京都立第四商業高等学校長                                    | 大 林 誠   |
| 〃       | 東京都立忍岡高等学校長                                      | 浦 部 万里子 |
| 〃       | ☆ 東京都立青梅総合高等学校長                                  | 永 村 隆   |
| 〃       | ☆ 武蔵野市立第六中学校長                                    | 田 極 政一郎 |
| 〃       | 足立区立青井中学校長                                       | 池 田 敦 彦 |
| 〃       | 東京都教育庁指導部長                                       | 金 子 一 彦 |
| 〃       | 東京都教育庁指導部高等学校教育指導課長                              | 江 本 敏 男 |
| 〃       | ☆ 東京都教育庁指導部主任指導主事 (産業教育担当)                       | 大 山 敏   |
| 〃       | 東京都教育庁都立学校教育部ものづくり教育推進担当課長                       | 臼 井 万寿雄 |
| 理事・事務局長 | 東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課計画担当係長                       | 有 馬 育 子 |
| 常 任 監 事 | ☆ 東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課管理係長                       | 森 田 明 夫 |
| 監 事     | 有限会社飯吉製作所代表取締役                                   | 飯 吉 修一呂 |
| 〃       | 中野区立第十中学校長                                       | 関 年 隆   |

## 東京都産業教育振興会各委員会 委員 (敬称略・順不同)

### 企画推進委員会

|                            |         |
|----------------------------|---------|
| 東京都立農芸高等学校長                | 岡 本 利 隆 |
| 東京都立荒川工業高等学校長              | 山 寺 佳 幸 |
| 東京都立葛飾商業高等学校長              | 高 石 公 一 |
| 東京都立足立西高等学校長               | 宮 川 隆 史 |
| 東京都立若葉総合高等学校長              | 北 川 英 一 |
| 中央区立佃中学校長                  | 加 藤 讓 司 |
| 東京実業高等学校長                  | 上 野 毅   |
| 京北学園白山高等学校副校長              | 杉 原 米 和 |
| 東京工科自動車大学校理事長              | 山 本 匡   |
| 東京都立産業技術高等専門学校長            | 田 原 正 夫 |
| 東京都教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事     | 西 牧 豊 美 |
| 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事 | 吉 川 泰 弘 |

### 作文選考委員会

|                            |         |
|----------------------------|---------|
| 東京都立府中工業高等学校長 (高校・専修の部委員長) | 瀧 澤 勝   |
| 東京都立農産高等学校長                | 並 川 直 人 |
| 東京都立江東商業高等学校長              | 高 橋 進   |
| 東京都立鷺宮高等学校長                | 石 坂 敦 子 |
| 東京都立王子総合高等学校長              | 庄 司 一 也 |
| 日本工業大学駒場高等学校教諭             | 竹 内 真   |
| 安部学院高等学校長                  | 安 部 元 彦 |
| 国際理容美容専門学校教頭               | 佐 谷 肇   |
| 東京都教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事     | 鈴 木 誠   |
| 東京都教育庁指導部高等学校教育指導課指導主事     | 平 柳 伸 幸 |
| 足立区立第十二中学校長 (中学校の部委員長)     | 杉 浦 伸 一 |
| 小平市立小平第十五小学校長              | 熊 井 久 乃 |
| 青梅市立泉中学校長                  | 高 橋 章 次 |
| 立川市立第四小学校長                 | 大神田 佳 明 |
| 葛飾区立一之台中学校長                | 入 山 賢 一 |
| 足立区立江南中学校長                 | 宮 下 みどり |
| 板橋区立上板橋第三中学校長              | 坂 詰 悦 子 |
| 中野区立第七中学校副校長               | 深 井 明 美 |
| 新宿区立牛込第三中学校副校長             | 寺 島 京 子 |
| 荒川区立赤土小学校副校長               | 出 井 玲 子 |
| 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事 | 吉 川 泰 弘 |
| 東京都教育庁指導部義務教育特別支援教育指導課指導主事 | 馬 場 一 平 |

# 東京都産業教育振興会会則

## 第1章 総 則

第1条 この会は、東京都産業教育振興会という事務所を東京都教育庁内におく。

第2条 この会は、産業界、教育界および行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公私立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校などの産業教育の改善進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。

第3条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- (1) 産業教育振興運動の推進に関すること。
- (2) 産業教育の調査研究に関すること。
- (3) 産業教育の普及理解に関すること。
- (4) 産業教育、就職問題などに関する懇談会、講演会、研究会などの開催並びにこれらについての資料の頒布、情報の連絡に関すること。
- (5) 産業教育振興に関し関係機関への建議に関すること。
- (6) 関係行政機関の施策に協力すること。
- (7) 産業教育に関する教職員の研究奨励に関すること。
- (8) 産業教育に関する生徒の就学並びに学習の奨励に関すること。
- (9) その他本会の目的を達成するのに必要なこと。

## 第2章 会 員

第4条 本会は次の会員をもって組織する。

- (1) 団体会員 会社、工場、本都内における学校およびこれが振興を目的とした団体を代表するもので本会の趣旨に賛同したもの。
- (2) 個人会員 本会の趣旨に賛同したもの。
- (3) 名誉会員 産業教育又は本会に功績があった者で会長が理事会の議を経て推薦したもの。

## 第3章 役員及び職員

第5条 この会に会長1名、副会長3名、理事25名以上35名以内及び監事3名をおく。

第6条 会長、副会長は理事会で選出する。会長は会務を総理し、本会を代表する。

2. 副会長は会長を補佐し、会長事故あるときはこれに代る。

第7条 理事は東京都教育委員会教育長、東京都教育庁都立学校教育部長、東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長の職にある者のほか、総会で選出する。

2. 理事長は東京都教育委員会教育長の、常任理事は東京都教育庁都立学校教育部長及び東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課長の職にある理事をもって充てる。
3. 理事長は会務を掌理するとともに理事会を代表し、常任理事は日常の会務を執行する。
4. 理事は理事会を組織する。
5. 理事会は理事長が招集し重要な会務を処理する。

第8条 監事は東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課管理係長の職にある者のほか、総会で選出する。

2. 監事のうち1名は常任監事とし、東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課管理係長の職にある監事をもって充てる。
3. 監事は会計を監査し、総会に報告する。

第9条 この会の役員の任期は1年とする。ただし再任を妨げない。

第10条 この会に顧問・参与をおくことができる。

2. 顧問は会長の諮問に応じ、参与は理事会、総会に出席して意見をのべることができる。

第11条 この会の事務を処理するために事務局をおく。事務局には事務局長、書記その他の必要な職員をおくことができる。

2. 事務局の職員は理事長が任免する。

3. 事務局長は日常の事務を総括処理し、書記その他の職員は日常の事務を処理する。

4. 職員は有給とすることができる。

#### 第4章 総 会

第12条 総会は年1回会長が招集する。ただし、会長が必要と認めるときは臨時招集することができる。

2. 総会は会長を議長とし、事業方針、予算決算その他重要な会務を審議する。

第13条 総会の決議は出席者の過半数によって定める。

#### 第5章 部会分会

第14条 この会には部会又は分会をおくことができる。部会又は分会に関する規定は理事会の議を経て会長が定める。

#### 第6章 会 計

第15条 この会の事業執行に要する費用は会費、寄付金及びその他の収入をもってあてる。

第16条 会費は次の通りとする。

##### (1) 団体会員

ア 産業界会員 1口 年額1万円

##### イ 学 校 会 員

○高等学校全日制 1口 年額6千円

○高等専門学校 同

○短期大学 同

○専修学校 同

○高等学校定時制・通信制 1口 年額3千円

○中学校 1口 年額2千円

##### (2) 個人会員 1口 年額2千円

ただし、総会の決議により臨時会費を徴収することができる。

第17条 本会の会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

#### 第7章 支 部

第18条 この会に支部をおくことができる。

#### 第8章 会則の変更及び解散

第19条 この会の会則の変更及び解散は総会の決議を経なければならない。

#### 第9章 付 則

第20条 本会則実施に必要な細則は会長が理事会の議を経て定める。

昭和30年5月20日制定

以下の総会で一部改正

昭和46年度、52年度、58年度、平成18年度、20年度、22年度

産 業 界 会 員 名 簿

50 音順

|    | 企業会員名                 | 所在地  | 過去5年間の採用実績<br>(○印)                   | 企業の概要・特色                                                                                                                           |
|----|-----------------------|------|--------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | (株)秋月電子通商             | 世田谷区 | —                                    | 電子部品（主としてコンピュータパーツ）、及び制御コンピュータ用応用機器製品の販売、電子工作用各種製品開発セット、製作、直接販売。世界各国の最新機器の日本への紹介。                                                  |
| 2  | 浅地事務所                 | 港区   | —                                    | 経営相談、コンサルティング、社外役員の紹介及び仲介他                                                                                                         |
| 3  | (有)飯吉製作所              | 葛飾区  | —                                    | 金属プレス加工業を昭和24年創業、昭和37年会社設立後、永年培った技術を活用し、アルミ押し出し型材のプレス加工金型の設計製作を始め、各種プレス金型分野に進出、傍ら自社ブランドのキャスターを開発、製造販売を始め、現在に至る。                    |
| 4  | (株)エイコー               | 葛飾区  | (○) 高校卒                              | 昭和35年にビルメンテナンス業を創業。<br>平成13年、同業他社に先駆けて「ISO9001」を取得。現在、ビルメンテナンスのみに留まらず総合管理業として、躍進しております。                                            |
| 5  | エス・イー・シー<br>エレベーター(株) | 台東区  | (○) 高校卒 (○) 専門学校卒<br>(○) 短大卒 (○) 四大卒 | エレベーター、エスカレータの保守点検及び新設、ニューリアル工事                                                                                                    |
| 6  | (株)エヌ・アール             | 千代田区 | —                                    | 不動産の賃貸及び管理業                                                                                                                        |
| 7  | (株)オーム社               | 千代田区 | (○) 高専卒 (○) 四大卒<br>(○) 大学院           | 科学技術関係の書籍及び月刊誌を発行。情報科学、情報通信、電気電子、応用物理、機械制御、土木建築、空調衛生設備、化学環境、生命科学、医用電子など理工学全分野に及ぶ。定期雑誌は『OHM』『新電気』『電気と工事』『設備と管理』『ロボコンマガジン』の月刊・隔月刊5誌。 |
| 8  | (株)カナック企画             | 葛飾区  | (○) 高校卒 (○) 四大卒                      | 当社は、カーオーディオやカーナビゲーションなどカー AV (Audio Visual) 機器の取付キットビジネスの最前線を常に開拓するリーディングメーカーです。ISO9001・14001を取得して品質を重視し、環境に配慮した商品の開発を行っております。     |
| 9  | 亀有信用金庫                | 葛飾区  | (○) 高校卒 (○) 短大卒<br>(○) 四大卒           | 信用金庫法に基づく金融業。葛飾区、足立区、三郷市、八潮市を中心に24店舗（1出張所を含む）を構え、お客様との信用・信頼を第一に地域のコミュニティバンクとして活躍しています。                                             |
| 10 | (株)川邑研究所              | 目黒区  | (○) 専修卒 (○) 四大卒                      | 固体被膜潤滑剤の研究・開発・製造・販売                                                                                                                |
| 11 | (株)キクチ                | 品川区  | (○) 高校卒 (○) 専修卒<br>(○) 高専卒 (○) 四大卒   | ビルディングオートメーションシステムのメンテナンスサービス。設備管理サービス。電気計装工事。内装・補修工事                                                                              |
| 12 | (株)キトウ                | 千代田区 | (○) 四大卒                              | 中学校技術・家庭科および美術科・工芸科用教材・教具および機械・工具の専門店。工作機械、工作台等のメンテナンスサービスも充実させています。                                                               |
| 13 | 国光施設工業(株)             | 大田区  | (○) 高校卒 (○) 専修卒<br>(○) 四大卒           | 10年後の創立100周年を目指し、顧客の施設（電気・計装・空調・通信・太陽光発電）を計画段階から建設、メンテ及び施設の取壊しまで長期に渡り担当するエンジニアリング集団です。                                             |
| 14 | 恵雅堂出版(株)              | 新宿区  | (○) 高校卒 (○) 短大卒<br>(○) 四大卒           | 卒業アルバム及び一般書籍の出版。                                                                                                                   |
| 15 | (株)小葉印刷所              | 中央区  | —                                    | 創業80年の印刷会社。学会誌、書籍の編集・印刷に強み。近年、エディトリアルデザインや Web 用のデータ作成業務に力を入れている。                                                                  |
| 16 | (株)コヤマ服装              | 府中市  | —                                    | 学生服他、製造販売。                                                                                                                         |
| 17 | 三和電気計器(株)             | 千代田区 | (○) 高校卒 (○) 専修卒<br>(○) 短大卒 (○) 四大卒   | 1941年創業、従業員70名の現場用電子計測器の専門メーカーです。高品質のアナログテスタ、デジタルマルチメータ、クランプメータ、絶縁抵抗計などを製造し、日本国内はもとより世界74ヶ国以上に輸出し、SANWA ブランド製品として高い信頼を得ています。       |
| 18 | 実教出版(株)               | 千代田区 | (○) 四大卒                              | 高等学校用教科書・補助教材類・専門図書等の出版・販売および不動産賃貸業を展開。情報・実業科目に強み。情報教育・情報処理検定試験等にも注力している。1941年創業、従業員150名。                                          |
| 19 | (株)昭和理化               | 豊島区  | (○) 高校卒                              | 消防用設備（自動火災報知設備、消火設備、避難設備）、弱電設備（インターホン、ナースコール、テレビ共聴、放送、映像、監視用テレビカメラ、防犯）の施工、保守。多様化社会の昨今、需要多く多岐にわたる技術及び法対応に自信を持って対応致しております。           |

|    | 企業会員名        | 所在地  | 過去5年間の採用実績<br>(○印)                             | 企業の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                             |
|----|--------------|------|------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 20 | (株)鈴木塗装工務店   | 足立区  | (○) 高校卒 (○) 専修卒<br>(○) 短大卒 (○) 四大卒             | 全国主要都市に支店・営業所を有し、ビル・マンション・工場等のリニューアル工事を多岐に亘り施工しております。また、安全・環境・美観対策に効果的な工法を積極的に取り入れた施工を行い、ISO9001：2008 認証取得により品質管理を徹底しております。                                                                                                                          |
| 21 | 青和信用組合       | 葛飾区  | (○) 四大卒                                        | 「限定地域主義」の方針のもと、葛飾区の八町、江戸川区の二町、足立区の五町に居住される約 103,510 世帯（人口 213,570 人）と、地域内で事業を営まれる中小企業、並びにそこに勤務される方々を対象に営業しており、現在約 46,370 世帯（64,038 人）の個人の皆様と、2,331 先の法人等にお取引をいただいております。                                                                              |
| 22 | 千住金属工業(株)    | 足立区  | (○) 高校卒 (○) 高専卒<br>(○) 短大卒 (○) 四大卒<br>(○) 大学院卒 | スマートフォンやコンピュータ等には欠かせない「はんだ」では世界のトップメーカーです。半導体メーカー世界最大手のインテル社より 2012 年度最優良納入業者として表彰（世界で 8 社）を受けました。海外拠点も 26 ヶ所あります。                                                                                                                                   |
| 23 | 第一科学(株)      | 文京区  | (○) 高校卒                                        | 高校、大学、官公庁（都内）への理科機器、コンピュータ、教育用機材の販売                                                                                                                                                                                                                  |
| 24 | 太平観光(株)      | 練馬区  | (○) 専修卒 (○) 四大卒                                | 昭和 38 年創業。学校関係主体の旅行業者。資本金 5,000 万円、従業員 27 名（常勤役員 4、正社員 19、パート 4）。年商 10 億。学校関係 70%、海外旅行 10%、国内募集旅行 10%、個人一般旅行 10%。                                                                                                                                    |
| 25 | (株)竹尾        | 千代田区 | (○) 四大卒 (○) 大学院卒                               | 1899 年の創業以来、一般印刷用紙、特殊印刷用紙（ファインペーパー）の開発、販売を通して「情報の伝達」「環境の保護」「文化の向上」等の社会貢献に寄与しています。「ファインペーパーの竹尾」と全国に知れ渡り、約 400 銘柄、9,000 種の紙を取り扱い、市場ニーズにあった製品の提供を続けています。                                                                                                |
| 26 | (株)チバダイス     | 葛飾区  | (○) 専修卒 (○) 四大卒                                | プラスチック歯車の金型や金属の歯車を製作。自社歯車の開発や、研究所ではトライボロジーの研究も行っています。売上げの 3 割は海外との取引です。                                                                                                                                                                              |
| 27 | (株)ツバサ・翼学院   | 葛飾区  | (○) 短大卒 (○) 四大卒<br>(○) 大学院卒                    | 学習障がい、不登校、非行歴のある子など約 300 名の塾生が在籍（青砥駅前校、水元校、東水元）、当塾から都立高、私立中高、大学へと巣立っていきます。児童発達支援・放課後等デイサービスつばさクラブを併設して生活訓練や、社会との関わりに関する訓練も行っています。また全国初の NHK 学園高等学校の連携教育相談センターとして高校卒業のサポートを行っています。「学校でさじをなげた子を何とかしてくれる機関」として文部科学省や各地域の教育委員会からの視察、著書やメディアからの取材も多数あります。 |
| 28 | 鉄道機器(株)      | 中央区  | (○) 高校卒 (○) 四大卒                                | 大正 3 年創業。昭和 62 年の国鉄民営化までは日本国有鉄道の指定工場として鉄道分岐器を専門に製作し、民営化後は JR 各社をはじめ私鉄各社、各都市交通局等向け分岐器の設計・製作・販売を全国的に展開してきました。近時は特に低騒音化、低振動化、地震対策等、時代のニーズに対応した分岐器の開発・改良に注力しています。                                                                                        |
| 29 | 東京ガス(株)      | 港区   | (○) 高校卒 (○) 高専卒<br>(○) 四大卒                     | 当社は、1885 年の創立以来、120 年余りの長きにわたり、首都圏を中心とした地域への都市ガス供給を通じて、お客様の豊かな暮らしや産業の発展を支えてまいりました。現在では、1000 万件を超えるお客さまに対し、都市ガスに加え、電力・熱供給などエネルギーまわりの付加価値を提供させていただいております。                                                                                              |
| 30 | 東京商工会議所      | 千代田区 | (○) 専修卒 (○) 短大卒<br>(○) 四大卒 (○) 大学院卒            | 東京商工会議所は東京 23 区内の会員（商工業者）で構成される民間の総合経済団体です。1878 年に設立され、商工業の総合的な発達と社会一般の福祉の増進を目的に、経営支援活動、政策活動、地域振興活動の 3 つを柱として活動しています。                                                                                                                                |
| 31 | 東京書籍(株)      | 北区   | (○) 四大卒 (○) 大学院卒                               | 1909（明治 42）年の創業。「教育と文化を通じて人づくり」を企業理念とし、新しい時代に挑戦する個性的、創造的な人材の育成を目指す。小中高等学校の教科書を中心に、ワークブック・問題集・辞典などの教材、ビデオ、パソコンソフト、辞典、エッセイなどを幅広く発行。                                                                                                                    |
| 32 | 東京スマイル農業協同組合 | 葛飾区  | (○) 高校卒 (○) 四大卒                                | 概要：営農指導・信用・共済・経済事業等を行っている。<br>特色：地域に密着した取組をしている。                                                                                                                                                                                                     |

|    | 企業会員名          | 所在地  | 過去5年間の採用実績<br>(○印)                       | 企業の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----|----------------|------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 33 | (株)東京都民銀行      | 港区   | (○)専修卒 (○)短大卒<br>(○)四大卒                  | 昭和26年の創立以来、金融サービスを通じ、地元東京と中小企業の発展、個人の豊かなライフステージの実現のために、東京の頑張る人を応援している地方銀行です。お客様のニーズに合わせ、各種預金商品、融資商品の提供、近隣地銀の横浜銀行、千葉銀行やセブン銀行等と提携し、首都圏9,000ヶ所以上のATMで平日日中に手数料無料でお引き出しできるネットワークの充実を図っています。給料日前に働いた範囲内で給料を受け取れるサービス「前給」(特許取得済)の取扱、ビジネスマッチングのための展示商談会の開催、中国でのビジネス支援をするコンサルティング会社としての上海現地法人「都民銀商務諮詢(上海)有限公司」の設立、M&A等のご相談等様々な金融ビジネス展開を行なっています。また、平成26年10月1日に、八千代銀行と共同持株会社「東京TYフィナンシャルグループ」を設立し、経営統合いたしました。「思いを預かる。思いをつなぐ。」をスローガンに、皆さまの思いをお預かりし、たくさんの思いを大切に育み、お客さまの一番そばにいて頼られる金融機関を目指してまいります。 |
| 34 | (有)東京プリンテック    | 世田谷区 | —                                        | “信頼を紙上に示す”をモットーに、お客様のご要望にきめ細かく対応することを心がけております。名刺・封筒・カタログ・冊子まで、便利な街の印刷屋さんを目指しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 35 | (株)日刊工業新聞社     | 中央区  | (○)四大卒                                   | わが国唯一のモノづくり総合紙                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 36 | (株)日本化薬東京      | 足立区  | (○)高校卒 (○)専修卒<br>(○)四大卒                  | 当社はインクジェットプリンター用色素、繊維・紙パルプ用染料を製造しております。会社運営のキーワードとして(3つのCSQE)、即ち「コストダウン」「コンプライアンス」「コミュニティー」「セーフティー」「クオリティー」「エコロジー」を掲げ、高機能都市型工場を目指しております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 37 | 日本自動ドア(株)      | 中野区  | (○)高校卒 (○)専修卒<br>(○)高専卒 (○)短大卒<br>(○)四大卒 | 日本自動ドアは、人々の暮らしの快適さと利便性の向上を目的とし、高品質の自動ドアエンジンと、迅速で信頼性の高いメンテナンスサービスを提供しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
| 38 | 信川化学工業(株)      | 葛飾区  | —                                        | 超大型射出成形機を多数設備し、プラスチック製品を製造する。中型・大型・超大型のプラスチック射出成形品には、JA 機器・建築・土木・工業品・自動車・家電・日用品雑貨等幅広い分野の製品がある。射出成形機2,700t、2,200t、1,600t×2、1,200t、850t×4、650t×2他計21台。クレーン20t、10t他。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 39 | (株)箸勝本店        | 千代田区 | —                                        | 明治43年創業の割箸専門店です。国内、海外へ業務用から家庭用、粗品用を含め300種類以上の特徴あるお箸を揃えております。昭和25年より宮内庁に白木のお箸を納め始め、今も園遊会など各種行事に納入しております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 40 | 日野自動車(株)       | 日野市  | (○)中学卒                                   | 「人、そして物の移動を支え、豊かで住みよい世界と未来に貢献する」を社会的使命として掲げ、企業活動と地球環境保全との調和を図るとともに、世界各地域の経済発展に貢献すべく、安全かつ効率のよい輸送を担うトラック・バスの開発・製造・販売・サービスに努めております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 41 | (株)ムトーエンジニアリング | 世田谷区 | (○)専修卒 (○)四大卒<br>(○)大学院卒                 | 設計製図機器、光学式計測器の開発・製造・販売、リサイクルトナー販売。LED関連製品の製造・販売、オゾン関連商品の販売。CADソフト及びデバイス類の販売。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 42 | 森山精機(株)        | 文京区  | (○)高校卒 (○)四大卒                            | 流体実験装置の製造販売並びに教育機器の販売を50年継続。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 43 | 山崎教育システム(株)    | 東村山市 | (○)専修卒 (○)四大卒                            | 全国中学校、高等学校オリジナル実習教材、教育用ソフトウェア企画、開発、販売(全国代理店500社)。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 44 | 山崎製パン(株)       | 千代田区 | (○)高校卒 (○)専修卒<br>(○)高専卒 (○)短大卒<br>(○)四大卒 | パン・和洋菓子等の製造及び販売。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 45 | ヤマ産業(株)        | 文京区  | (○)高校卒 (○)四大卒                            | 教育備品を販売して50年。学校よりの信用を得て、安定している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 46 | (株)読売新聞社東京本社   | 中央区  | (○)四大卒 (○)大学院卒                           | 「読売新聞」は1874年(明治7年)11月の創刊。全国紙として成長し、1994年に発行1000万部を達成した。発行部数は世界一。千代田区大手町に新社屋を建設中(2014年秋に完成予定)で、その間、中央区銀座に一時移転している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

## 個人会員

- 堀居 英治
- 齋藤 武捷
- 倉持 俊義
- 梶谷 正義
- 末松 茂孝
- 内川 武雄
- 中村 浩
- 小島 勤
- 増田 英二
- 松井 章朗
- 花野 耕一
- 富岡 逸郎
- 曾根 敏邦
- 園田 秋雄
- 森 健
- 福島 正幸

## 学 校 会 員 名 簿

50 音順

|  | 学校名 | 所在地 | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数 | 学校の概要・特色 |
|--|-----|-----|----|------------------------|----------|
|--|-----|-----|----|------------------------|----------|

## 私立高校

|    |                  |      |        |                                                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----|------------------|------|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 爱国高等学校           | 江戸川区 | 全      | 普通科 (240)<br>商業科 (120)<br>家政科 (80)<br>衛生看護科 (40)<br>衛生看護専攻科 (40)                                   | 昭和 13 年創立以来、「親切正直」の校訓の下で女子教育を行っている。平成 22 年春に新学生寮落成。普通科は A (一般教養)・B (進学) の 2 コースが、商業科は「会計」・「情報処理」の 2 コースがあり、どちらも公認資格をできる限り取得させる。卒業時に、家政科は調理師資格を、衛生看護科は准看護師受験資格を、衛生看護専攻科 (上級 2 年コース) は看護師受験資格を取得する。<br>上級学校には、上記衛生看護専攻科の他に、大学 (人間文化学部)・短期大学 (家政科)・保育専門学校 (幼児教育科・介護福祉士専攻科) がある。                                                                                                                 |
| 2  | 安部学院<br>高等学校     | 北区   | 全      | 商業科 (200)                                                                                          | 1940 年 (昭和 15 年) に創立して以来、一貫して「商業科のみの女子高校」として歩み続け、現在で満 74 年を迎えました。在校生には、「5 つの挨拶」「資格取得」に力を入れて指導しています。<br>2 年次よりコース制になり、簿記 1 級の取得を目指す「会計コース」と、パソコン等の実務的な授業を多く履修する「ビジネスコース」の 2 コースに分かれて授業を行っています。<br>卒業後の進路は、以前は就職する生徒が多く占めましたが、現在は就職希望者よりも進学希望者が増えています。                                                                                                                                         |
| 3  | 岩倉高等学校           | 台東区  | 全      | 普通科 (240)<br>運輸科 (210)                                                                             | 我が国最初の鉄道学校として明治 30 年に創立。多くの卒業生が鉄道・運輸業界で活躍している。また、近年、就職のみならず大学進学希望者が増加していることに伴い、普通科に S 特コースを設置するなど、進学教育にも注力している。平成 26 年度の入学生から「男女共学化」、「普通科・運輸科の 2 科システム」を実施し、学校の変革を進めている。平成 21 年 4 月に完成した新校舎など充実した環境の中で、特色ある教育内容や新コースの設置等、生徒の夢を具現化するカリキュラムで学力の向上に取り組んでいる。                                                                                                                                     |
| 4  | 大森学園<br>高等学校     | 大田区  | 全      | 普通科 (240)<br>特進コース (40)<br>進学コース (80)<br>普通コース (120)<br>工業科 (120)<br>機械技術コース<br>電気技術コース<br>情報技術コース | 【創立】昭和 14 年大森地区の中小機械工場主により大森機械工業徒弟学校を創立。<br>【学校改革】創立 70 周年 (平成 21) にむけて「学校改革」始まる。平成 16 年、新校舎建築に着手。平成 17 年、学校名を「大森工業高校」から「大森学園高校」に変更。同時に普通科を新設し、第 1 期生をむかえる。平成 19 年校舎建築完了、普通科を共学化。平成 21 年 4 月、創立 70 周年記念式典を挙行した。                                                                                                                                                                              |
| 5  | 科学技術学園<br>高等学校   | 世田谷区 | 通      | 普通科 (2,750)<br>電気科 (900)<br>機械科 (600)                                                              | 昭和 39 年に広域通信制工業高等学校として創立し、昭和 50 年普通科設置、昭和 52 年現校名に変更する。昭和 53 年昼間定時制課程を設置し、単位制総合高等学校として様々な生徒のニーズに対応できる教育環境を整えている。<br>通信制課程では集団 (企業・専修学校等) を対象とした技能連携コース (全国に 35 校) と個人を対象とした単位制コースを持ち、単位制コースには「週 4 日通学コース」、週に 1～3 日通学「登校コース」インターネットで学習する「e ラーニングコース」と生徒個々の学習環境に合わせたコースを設置している。<br>昼間定時制課程 (男子のみ募集) は、習熟度別学習プログラムを取り入れ、わかる授業を実践し、また社会へのプロローグとして「ものづくり」を中心とした体験学習を特別活動として導入し、生徒目線の教育活動に取り組んでいる。 |
| 6  | 蒲田女子<br>高等学校     | 大田区  | 全      | 普通科：<br>幼児教育・保育 (82)<br>キャリアデザイン (168)                                                             | 昭和 16 年、漢学者・簡野道明の遺志により、蒲田女子高等学校として設立。「子どもの教育に最も大切なのは母親であり、その母親となる女性の教育こそ教育の根本」「人間生活を律する根本は道徳なり」との先生の教育理念に基づき、女性としての徳育を在学中に身につけさせる指導をしています。27 年度から養成校でしか行えない実技科目を導入した幼児教育・保育コースと、色々なことを体験し、人生設計を考えるキャリアデザインコースに分かれての募集になります。                                                                                                                                                                  |
| 7  | 京華商業<br>高等学校     | 文京区  | 全      | 商業科 (150)                                                                                          | 生徒一人ひとりの個性を伸ばすオンリーワン教育を推進。資格検定試験合格にむけたきめこまかい指導を行っている。また、はやくからインターンシップをとり入れるなど、キャリア教育にも力を入れている。                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 8  | 京北学園<br>白山高等学校   | 文京区  | 全      | 商業科 (160)                                                                                          | 人間力を ①自己学習能力 ②コミュニケーション能力 ③プレゼンテーション能力の 3 つの力と定義し、その育成に努力する。<br>現役大学進学率 7 割の新しいスタイルの商業科進学校                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 9  | 昭和第一学園<br>高等学校   | 立川市  | 全      | 普通科 (336)<br>工学科 (240)<br>総合工学コース<br>機械コース<br>電子情報コース<br>建築デザインコース                                 | 普通科：特進コース、総合進学コース (2 年次より文・理選抜)。<br>工学科：1 年次共通の科目を学ぶ。2 年次から 4 つのコースに分かれる。<br>総合工学コース、(進学向けのコース)、機械コース、電子情報コース、<br>建築デザインコースで専門科目を学ぶ。                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 10 | 昭和鉄道<br>高等学校     | 豊島区  | 全      | 鉄道科 (215)                                                                                          | 昭和 3 年創立、平成 16 年共学。鉄道専門科目を通し、実践的な教育に取り組み、鉄道業界を中心に多くの卒業生を送り出している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 11 | 大成高等学校           | 三鷹市  | 全      | 普通科：<br>特別進学コース (75)<br>文理進学コース (290)<br>情報進学コース (40)                                              | 校名の由来である「大器晩成」を教育理念とし、生徒の能力が大きく開花するように、学力や人間力を身につけさせます。特進コースはもちろん文理コースでの進学実績も向上しています。また、情報コースでは全員が情報処理検定 1 級に合格することをめざして専門技術と理論の習得に力を入れています。                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 12 | 中央学院大学<br>中央高等学校 | 江東区  | 全<br>通 | 普通科 (35)<br>商業科 (65)<br>22 年度閉課程                                                                   | 少人数クラスをベースにしながら、生徒一人ひとりの将来を考えた教育を展開しています。中央学院大学への優先入学とともに、幅広い進路に配慮した指導に特色があります。                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|    | 学校名              | 所在地  | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数                                                                                                    | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----|------------------|------|----|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13 | 東京学園<br>高等学校     | 目黒区  | 全  | 普通科：<br>普通コース（280）                                                                                                        | 男子に特化した多様な教育によって、生徒一人ひとりの強みを引き出し、自信を持って生きていける知力・気力・体力と他者を尊重する心を養い、優れた学力と逞しい人間力を育成します。また、平成 18 年には目黒区と協定を結び、本校の敷地内に目黒区の災害用防災倉庫を設置し、地域の方々にも貢献する事が出来る態勢を整えています。                                                                                                                                 |
| 14 | 東京実業<br>高等学校     | 大田区  | 全  | 機械科（135）<br>電気科：<br>電機コース（45）<br>ゲーム IT コース（45）<br>普通科：<br>ビジネスコース（180）<br>文理コース（90）                                      | 全科男女共学。週 5 日制。総合学園高校として各科、各コースの生徒は目的を持って学校生活を送ります。自立できる人間を育成するために、3 年間で各種の資格取得に力を注ぎ、進路の決定に役立てます。また、転科試験で学校生活を見直す機会を持ち、国際理解教育の一環として、米国コロラド州ボルダー地区の公立高校との間に交換留学制度があります。<br>電気科ゲーム IT コースは平成 22 年度より、文理コースと共に土曜日は特別授業。                                                                          |
| 15 | 日本工業大学<br>駒場高等学校 | 目黒区  | 全  | 普通科：<br>特進コース（20）<br>理数特進コース（20）<br>総合進学コース（70）<br>工業科：<br>理工工学科（120）<br>国際工学科（30）<br>機械科（80）<br>建築科（40）<br>電子情報システム科（40） | 生徒一人ひとりの希望進路の実現を目指す普通科（3 コース）と永年培ってきた工業技術教育を大切にし、多様な進路選択ができる工業科（5 学科）を持つ創立 108 年の学園です。<br>まわりのひとはできる限り優しく接することができる“優しい心”と将来どんなに苦しく辛い場面に出会っても決してくじけない、しなやかな強さ“動い心”を持つ生徒になってほしいと願い、教育運営の基本である“優しく動い心を育てる”姿勢を大切にしています。<br>また、カナダ・アルバータ州のクロズネストパスにある本校のカナダキャンパスは、中高の短期留学と高校卒業後の州立大学留学の拠点となっています。 |
| 16 | 八王子実践<br>高等学校    | 八王子市 | 全  | 普通科：<br>特進コース（40）<br>文理コース（160）<br>普通コース（280）<br>調理科（80）                                                                  | 建学の精神は「自重・自愛・自制・自立」、そして伝統的教育理念である「実践」を根幹として「知育・徳育・体育」の調和のとれた全人教育を目標に 88 年の歴史を歩んでいます。普通科は特進コース、文理コース、普通コースの 3 コースを設け、進学や就職など、多様な進路選択ができるよう学習指導を行っています。<br>一方調理科は、和・洋・中・製菓の全般の知識と技術を習得。卒業と同時に調理師の資格が習得でき、食育インストラクター、栄養士、管理栄養士といった資格への道も開かれています。                                                |
| 17 | 朋優学院<br>高等学校     | 品川区  | 全  | 普通科・<br>特進コース（60）<br>進学コース（185）<br>国公立コース（15）                                                                             | 調理コース：食の幅広い知識として調理専門科目を学習。卒業時に調理師免許取得。<br>デザインコース：コミュニケーションツールとしてのデザイン、コンピュータや手作業による造形を体験学習・共同作業などで学習。<br>全コース（3 学科 6 コース）とも男女共学。                                                                                                                                                            |
| 18 | 村田女子<br>高等学校     | 文京区  | 全  | 普通科（80）<br>商業科（82）                                                                                                        | 夢を叶え素敵な未来を拓くために、目的を持って現役進学を目指す普通科と現代社会に即した知識と技術を磨き、社会で活躍するステキな女性を目指す商業科。<br>村田は二科四コースで生徒一人ひとりのキャリアデザインを支援しています。<br>その柱になるのが「資格取得」教育。中学までは気がつかなかった自分の可能性を、「検定試験」への挑戦で引き出し、自信につなげていきます。                                                                                                        |
| 19 | 日野工業<br>高等学園     | 日野市  | 通  | (40)                                                                                                                      | 日野自動車株式会社にある、「モノづくり」のリーダの育成を目指す企業内高校です。授業、実習、クラブ活動、様々な学校行事があります。知識・技能だけでなく、心の育成にも重点をおき、心技体のバランスのとれた人材を育成し、卒業後は各職場で活躍しています。                                                                                                                                                                   |

## 都立高校

### ▽農業に関する学科

|   |              |      |   |                                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|---|--------------|------|---|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 都立園芸<br>高等学校 | 世田谷区 | 全 | 園芸科（70）<br>食品科（35）<br>動物科（35）                             | 平成 20 年度に 100 周年を迎えたが、平成 18 年度に重点支援校の指定を受け、地域や NPO 等との連携のもと「園芸高校リバイバルプラン」を推進している。園芸科、食品科、動物科では、2 年次から、生徒の特性等に応じたコースを設け、食品科では、専門学校との連携により在学中に調理師の資格取得が可能である。                                                                                                                                                         |
|   |              |      | 定 | 園芸科（30）                                                   | 定時制では家庭的な雰囲気での学習が進められ、園芸技術専修生制度もある。                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 2 | 都立農業<br>高等学校 | 府中市  | 全 | 都市園芸科（35）<br>緑地計画科（35）<br>食品科学科（35）<br>服飾科（35）<br>食物科（35） | 1909 年（明治 42 年）に創立された多摩地区で長い伝統と歴史をもつ専門高校です。105 年にわたり常に社会の変化に対応した先進的な取組を行い、農業及び家庭に関する専門教育とそれを支える普通教育を両輪として 21 世紀を担う人材を育成しています。全日制では、「自分の未来は自分でつくる」をテーマに、①手の仕事の面白さ、②本物体験で心を豊かに、③普通教科の学習は一生の基礎、④チームワークで協調性、⑤発表力や表現力を磨く、⑥プロ講師の授業という 6 つの学びの特色を生かして、本校でしか学べない学習内容を生徒が熱心に取り組んでいます。                                        |
|   |              |      | 定 | 食品化学科（30）                                                 | 定時制では、教育目標「他者への思いやりをもって、未来を切り拓く人間の育成」を達成するため、普通科及び農業科としての特色ある教育活動を展開し、きめ細かい指導を通じて生徒一人一人の進路希望の実現を目指しています。                                                                                                                                                                                                            |
| 3 | 都立農芸<br>高等学校 | 杉並区  | 全 | 園芸科学科（35）<br>食品科学科（70）<br>緑地環境科（35）                       | 今年度で創立 110 余年の歴史と伝統のある専門高校である。全日制に園芸科学科、食品科学科、緑地環境科の 3 学科 4 学級、定時制に農芸科 1 学科を設置している。都心にありながらも緑に囲まれた校舎、実習棟や農場などあわせて 73,304 ㎡という広い敷地を持ち最新の施設や設備が導入されている。JR「阿佐ヶ谷」駅前の花壇作り、小学生を本校に招いての豆腐作り教室等、地域貢献活動を推進し、学校の教育機能を積極的に地域社会に提供している。また、平成 18 年度のエコアクション 21（環境省認証）取得を契機に、環境にやさしい農業高校を目指している。なお、都立高校唯一の馬術部を設置し馬場馬術競技の練習に励んでいる。 |
|   |              |      | 定 | 農芸科（30）                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |

|   | 学校名            | 所在地         | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数                               | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                |
|---|----------------|-------------|----|------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 4 | 都立農産<br>高等学校   | 葛飾区         | 全  | 園芸デザイン科 (70)<br>食品科 (70)                             | 東京東部にある唯一の農業高校で、「食と緑の文化あふれる学校」を目指し教育活動が行われている。<br>全日制では、2 学科 4 類型を設置している。園芸デザイン科では栽培からバイオ、フラワーデザインまで、食品科では加工から食品デザインまで広く体験を通して学べる。定時制は、園芸系と食品系両方を学ぶことができ、通常授業の前後に行なわれる授業を受けることにより、3 年間で卒業できる制度があり人気が高い。 |
|   |                |             | 定  | 農産科 (30)                                             |                                                                                                                                                                                                         |
| 5 | 都立瑞穂農芸<br>高等学校 | 西多摩郡<br>瑞穂町 | 全  | 畜産科学科 (35)<br>園芸科学科 (35)<br>食品科 (35)<br>生活デザイン科 (70) | 都内唯一の畜産科学科があり、大動物の飼育・管理が学習出来る。豊かな自然環境、恵まれた施設・設備の下、充実した専門科目の学習に取り組める。キャリア教育の一環として地域と連携した教育活動を推進し、望ましい職業観や豊かな社会性を育んでいる。定時制も規模が小さく、きめ細かな指導が行われ、大変落ち着いた学習環境である。                                             |
|   |                |             | 定  | 併合科 (普通・農業) (30)                                     |                                                                                                                                                                                                         |

## ▽工業に関する学科

|    |                 |      |   |                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
|----|-----------------|------|---|--------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 6  | 都立足立工業<br>高等学校  | 足立区  | 全 | 総合技術科 (175)                                                                    | 機械・電気系の総合技術科。1 年は機械、電気の基礎を共通履修、2 年から機械系か電気系を選択、選択科目で得意分野を伸ばす。<br>第二種電気工事士を中心に資格取得に力を入れている。地域密着の工業高校として、2 学年全員のインターンシップ実施や小中学校や地域連携を積極的に推進している。<br>施設・設備拠点校に指定され、施設・設備が充実している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 7  | 都立荒川工業<br>高等学校  | 荒川区  | 全 | 電気科 (70)<br>電子科 (35)<br>情報技術科 (70)                                             | 本校は、平成 25 年度創立全日制 50 周年、定時制 65 周年を迎え、歴史と伝統のある都内唯一の電気系専門高校である。<br>全日制では「ものづくり」に関する技術・技能を身につけさせる。電気系専門技術者に必要な基礎的な学力をつけさせる。社会で役立つ資格(第 2 種電気工事士等)を取得させ生徒に自信をつけさせ、より確かな進路実現を図る。特に、第 2 種電気工事士の合格者は、毎年 30 名以上の実績を誇る。<br>定時制では基礎・基本の徹底を図り、分かる授業を行い、分かるまで教える。良いことを誉め、悪いことは正す。資格取得や検定合格で自信と意欲を育てる。                                                                                                                                                                                                                                                           |
|    |                 |      | 定 | 電気・電子科 (30)                                                                    |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 8  | 都立葛西工業<br>高等学校  | 江戸川区 | 全 | 機械科 (70)<br>電子科 (35)<br>建築科 (70)                                               | 都教委指定のデュアルシステム導入校(平成 23 年度入学生～)<br>施設が充実しており、設備拠点校実習を行なっている。<br>地域産業界、小中学校と連携し、ものづくりを担う人材を育成。<br>地域と協働し、実践力ある生徒を育てる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 9  | 都立北豊島工業<br>高等学校 | 板橋区  | 全 | 総合技術科 (175)                                                                    | 全日制課程 大正 9 年に創立され、現在 94 年の歴史を刻みつつ、社会に有用な人材育成を図り、約 2 万名の卒業生を社会に送り出している。機械・電気系の総合技術科として工業に関する技術・技能を広く学び、社会に貢献できる人材育成に取り組み、電気工事士、危険物取扱者、工事担任者などの社会で役立つ資格取得に力を入れ、確かな進路実現を図り、就職決定 100% を保持している。東京都教育委員会より、デュアルシステム推進校として指定を受け、企業と高校が連携した新しい職業教育システムであるデュアルシステムを取り入れた教育課程を編成して、日本のものづくりの後継者の育成を目指している。<br>また、工業実習の設備拠点校としての指定を受け、施設設備が整え、近隣の工業高校と連携し、ものづくりの技術・技能の習得と継承に力を入れている。<br>定時制課程 機械科の単科の定時制課程である。各学年一学級 30 人定員で、ものづくりの加工技術・技能を習得し、確かな進路実現を目指し、人材育成に取り組んでいる。就職希望者の内定率 100% を維持している。軟式野球部などを中心に、部活動を通じて心身ともに成長を促し、資格取得指導の充実により、より確かな進路実現への力を培っている。 |
|    |                 |      | 定 | 機械科 (30)                                                                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 10 | 都立蔵前工業<br>高等学校  | 台東区  | 全 | 機械科 (70)<br>建築科 (35)<br>電気科 (35)<br>設備工業科 (35)                                 | ○全日制<br>東京都教育委員会よりものづくり人材育成教育プログラムに関わる「特定分野推進校」の指定を受け、都立工業高校を牽引する役割を担い、スペシャリストの育成を目指したものづくり人材の育成教育を実践している。<br>進路指導では、理工系大学への進学を高大連携事業などで生徒に動機付けをし、明確な目標を持たせると共に一人ひとりの能力や希望に応じた進学活動を実践している。<br>就職では、伝統校として安定した求人数があり、生徒の将来を見据えた就職活動を実践している。今年、本校は 90 周年を迎える。この伝統に裏打ちされた教育活動により、多くの卒業生が産業界で活躍し、日本の工業界をリードしている。<br>○定時制<br>都内の定時制課程で唯一「建築と設備工業」の専門を学べる。<br>学修方法によっては、3 年間で卒業も可能。<br>学外単位の履修も弾力的に認定し、学外側に立った教育活動を展開している。                                                                                                                               |
|    |                 |      | 定 | 建築工学科 (30)                                                                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 11 | 都立工芸<br>高等学校    | 文京区  | 全 | マシンクラフト科 (35)<br>アートクラフト科 (35)<br>インテリア科 (35)<br>デザイン科 (35)<br>グラフィックアーツ科 (35) | 本校は、100 年を超える伝統と実績をもつ都内で唯一の工芸・デザイン系の専門高校です。Only One のものづくりを通して個性と創造力を伸ばし、心豊かな人間性のある生徒を育てています。<br>開校以来 2 万人を超える卒業生の中には、人間国宝の方・文化勲章受章者も多く、デザイナー、ディレクター、作家、エンジニアなど社会で幅広く活躍しています。<br>また、在校生の活躍もめざましく、高校生ものづくりコンテスト全国大会での優勝や大学生を対象としたコンペで大賞を受賞するなど各種の競技で常に上位入賞を果たし、ものづくり・デザイン等における生徒の実力、教育実践は全国のトップクラスで内外から高く評価されています。<br>卒業後の進路は、進学の割合が多く美術系の国公私立大学を中心に幅広い分野へ進学しています。                                                                                                                                                                                  |
|    |                 |      | 定 | マシンクラフト科 (30)<br>アートクラフト科 (30)<br>インテリア科 (30)<br>グラフィックアーツ科 (30)               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 12 | 都立小金井工業<br>高等学校 | 小金井市 | 定 | 機械科 (60)<br>電気科・電子科 (30)                                                       | 平成 22 年 3 月に全日制課程が閉課程となり、平成 22 年度から定時制単独校になる。施設・設備が充実していて、多摩地区唯一の定時制工業高校である。校舎の改築・改修工事が進み、新校舎が平成 23 年 8 月に完成した。平成 23 年 9 月から座学の授業は新校舎で、実習の授業などは改修した実験・実習棟で行っている。グラウンドについては、平成 26 年 11 月末に完成予定である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

# 学 校 会 員 名 簿

|    | 学校名            | 所在地  | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数                           | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|----------------|------|----|--------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13 | 都立杉並工業<br>高等学校 | 杉並区  | 全  | 機械科 (70)<br>電子科 (70)<br>理工環境科 (35)               | 都立工業高校で唯一（都立高校全体で2校）、環境マネジメントシステム ISO14001 を取得し、全学科で環境保全に関する学習を進めている。風力発電及びビオトープがある。平成 20 年度に高反射率塗装（屋上）及び窓遮熱フィルム貼付、太陽光発電設備拡大。資格取得に力をいれている。<br>関東大会出場を目指すなど部活動が活発。平成 19 年度、「キャリア教育優良取組団体」として文部科大臣表彰、「環境学習及び地域温暖化防止取り組み等」において環境大臣表彰及び東京都教育委員会表彰を受けた。平成 25・26 年度、都立専門高校技能スタンダード推進校の指定を受けている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 14 | 都立墨田工業<br>高等学校 | 江東区  | 全  | 機械科 (35)<br>自動車科 (35)<br>電気科 (70)<br>建築科 (35)    | 全日制は、4 学科を持つ工業の専門高校として、自治・勤労・敬愛を校訓に掲げ、技術力を身につけた社会に役立つ人材の育成を行っている。資格取得や検定合格など実践的な教育に取り組み、進路希望達成率 100% を常に維持している。今年度 114 周年を迎える歴史と伝統を持ち、多くの卒業生が産業界をはじめ各方面で活躍している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|    |                |      | 定  | 総合技術科 (30)                                       | 定時制においても全日制と同じく進路希望達成率 100% を実現しており、生徒主体の実践的教育に取り組んでいる。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 15 | 都立総合工科<br>高等学校 | 世田谷区 | 全  | 機械・自動車科 (70)<br>電気・情報デザイン科 (70)<br>建築・都市工学科 (70) | 平成 18 年 4 月に世田谷工業高校と小石川工業高校を発展的に統合して開校。全日制では、大学進学に対応した教育課程を編成するとともに、学科の枠を越えた魅力ある学校設定科目を多く設定することで、充実した専門教育を行なう。海外修学旅行も含めた国際理解教育の推進と、部活動の振興を図る。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|    |                |      | 定  | 総合技術科 (60)                                       | 定時制では、資格取得を中心に、2 年次から自動車、電気・メカトロ、建築コースの 3 コースが選択できる教育課程を編成している。また、高等学校卒業程度認定試験、技能審査及び都立砂川高校通信制課程併修等の学校外における学修により、3 年間での卒業が可能な三修制を実施する。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 16 | 都立田無工業<br>高等学校 | 西東京市 | 全  | 機械科 (70)<br>建築科 (70)<br>都市工学科 (35)               | 本校は、機械科、建築科、都市工学科の三科からなる工業高校である。都市工学科は全国でも数少ない学科であり、建築科は多摩地区の工業高校では唯一本校に設置されている。「地域との連携」や「資格取得」に重点を置いた教育を推進しており、どの科も地域に根ざした技術者の育成を目標としている。また来年度からデュアルシステムを開始いたします。インターンシップについても、引き続き実施しております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 17 | 都立多摩工業<br>高等学校 | 福生市  | 全  | 機械科 (70)<br>電気科 (70)<br>環境化学科 (35)               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・昭和 38 年、西多摩地域に唯一の工業高校として開校、平成 24 年度に 50 周年を迎えた。平成 13 年度、時代とともに進展する生徒の多様化、産業社会のニーズ等に対応するため、工業化学科を都立高校で唯一の環境化学科に学科改編した。</li> <li>・さらに、地域産業を担う人材の育成、生徒個々の進路希望に応えるために、学科ごとに類型コース制を導入し、合わせて教育課程の改編を行った。</li> <li>・全校をあげての環境教育、環境活動が環境省の提唱する「エコアクション 21 環境経営システム・環境活動ガイドライン」の要求事項に適合することで平成 19 年 3 月「エコアクション 21」に認証・登録された。</li> <li>・平成 22 年度～ 「設備実習拠点校」</li> <li>・平成 23 年度～平成 25 年度 「言語能力向上推進指定校」</li> <li>・平成 23 年度～ 「デュアルシステム」導入校</li> <li>・平成 24 年度 「防災教育推進指定校」、「安全教育推進指定校」</li> <li>・平成 25 年度～ 「日本史必修化指定校」</li> <li>・平成 26 年度 「ものづくり人材育成プログラム特別分野推進校」</li> </ul> |
| 18 | 都立中野工業<br>高等学校 | 中野区  | 全  | 総合技術科 (175)                                      | 本校では、総合技術科の特色を生かして、一人一人の自己実現を応援する教育を行っている。また、都内で、唯一食品工業が学べる工業高校である。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|    |                |      | 定  | 総合技術科 (30)                                       | 1 学年で、工業の基礎を学習しながら、自分が目指す専門分野を探究する。全日制課程では、2 学年から、機械類型、食品工業類型、工業化学類型の係わる各コースを選択し、専門性を深める。定時制課程では、2 学年から、機械類型、食品工業類型のいずれかを選択し、専門性を深める。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 19 | 都立練馬工業<br>高等学校 | 練馬区  | 全  | キャリア技術科 (175)                                    | 平成 18 年度から、生徒の「やる気」を応援し頑張りを励ます学校として、工業高校初のエンカレッジスクール「キャリア技術科」をスタートさせました。基礎の基礎から学び直すことができ、工業分野の幅広い知識・技術を体験的に学びながら適性を見つけ、それを将来の進路選択に生かせる学校です。就業体験や資格取得にも力を入れ、3 年生では 6 系列（機械加工技術、オートメカニク技術、設備技術、コンピュータ技術、デザイン・DTP 技術、インテリア技術）から選択して、より専門的な学習を行います。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 20 | 都立府中工業<br>高等学校 | 府中市  | 全  | 機械科 (35)<br>電気科 (70)<br>情報技術科 (35)<br>工業技術科 (35) | 都教委より「ものづくり人材育成プログラム」の指定を受け各種資格取得に向けた指導に積極的に取り組んでいる。<br>野球部を中心にバスケット部、陸上部、少林寺拳法部、自動車部など活発に活動し実績をあげている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 21 | 都立本所工業<br>高等学校 | 葛飾区  | 定  | 総合技術科 (30)                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数指導の特色を生かし、きめの細かい・わかりやすい指導を推進している。</li> <li>・生涯にわたるキャリア設計に基づいた進路実現が図れるよう支援する。そのための技能・資格取得の指導が充実している。</li> <li>・平成 18 年に新校舎が落成。平成 19 年度にグラウンド、人工芝テニスコートも含め、全面改修工事完了。</li> </ul>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 22 | 都立町田工業<br>高等学校 | 町田市  | 全  | 総合情報科 (175)                                      | 総合情報科は、情報デザイン、アプリケーション、情報システム、電気システム、機械システムの 5 つの系列からなりますが、1 年次では系列に関係なく同じ内容で学習します。2 年次から生徒自らの興味や関心、進路希望に基づき 5 系列にわかれ学習します。選択科目も数多く設置しており、充実した施設・設備の下、自分に適した学習ができます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |

|  | 学校名 | 所在地 | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数 | 学校の概要・特色 |
|--|-----|-----|----|------------------------|----------|
|--|-----|-----|----|------------------------|----------|

## ▽工業に関する学科（単位制）

|    |                |     |   |                                                                                   |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
|----|----------------|-----|---|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 23 | 都立六郷工科<br>高等学校 | 大田区 | 全 | プロダクト工学科 (70)<br>オートモビル工学科 (35)<br>システム工学科 (35)<br>デザイン工学科 (35)<br>デュアルシステム科 (35) | 平成 16 年 4 月に開校した、都立高校で初めての単位制・二期制の工業系高校である。東京都初の東京版デュアルシステムを持ち、夜間定時制課程も設置されている。全日制課程には、機械系のプロダクト工学科、自動車 3 級整備士資格取得可能なオートモビル工学科、電気電子情報系のシステム工学科、コンピューターグラフィックスとプロダクトデザインが学べるデザイン工学科の 4 科がある。各科ともに、一年次から「工業技術基礎」を中心に工業分野の基礎・基本を学べる。普通科目も 1 学年と 2 学年の英語・数学を習熟度別クラス編成にしたり、進学に必要な自由選択科目を用意している。<br>デュアルシステム科は、将来のもののつくりを担う人材育成のために設置された全国で唯一のデュアルシステム専門の科である。地域の企業と学校で連携して生徒に技術指導する。企業での長期就業体験を最大 29 単位卒業の単位として認めている。<br>定時制には、単位制と 3 修制を取り入れた生産工学科と普通科の 2 科がある。 |
|    |                |     | 定 | 普通科 1 学年 (30)<br>生産工学科 1 学年 (30)                                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |

## ▽科学技術科

|    |                  |      |   |             |                                                                                                                                                                                             |
|----|------------------|------|---|-------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 24 | 都立科学技術<br>高等学校   | 江東区  | 全 | 科学技術科 (210) | 都立高校改革推進計画に基づき設置された新しいタイプの進学型の専門高校です。平成 24 年度から文部科学省のスーパーサイエンスハイスクールに再指定され「科学技術と人間」などの特色ある学校設定科目の設置、理系進学に対応した豊富な学習量と少人数指導などを特徴として、大学や研究機関と連携を図りながら、理論、実験、研究の 3 ステップ学習による科学技術教育を行っています。      |
| 25 | 都立多摩科学<br>技術高等学校 | 小金井市 | 全 | 科学技術科 (210) | 理系大学進学を前提とした進学型専門高校です。将来、理学、工学、薬学、医療など様々な分野で科学技術者として活躍することを目指し、科学への視野を広め、基礎力と基礎学力を高めます。インフォメーションテクノロジー、ナノテクノロジー、バイオテクノロジー、エコテクノロジーなど先端科学技術の基礎に関する幅広い学習と、大学入試に備えた数、英、理を中心とした普通教科学習に力を入れています。 |

## ▽商業に関する学科

|    |                |           |   |                                           |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|----------------|-----------|---|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 26 | 都立赤羽商業<br>高等学校 | 北区        | 全 | 商業科 (210)                                 | 《チャレンジ赤商 2014》を合言葉に、商業の専門学校としての伝統を引き継ぎつつ、新たなことにチャレンジしています。今年度は新たに『規範意識向上推進モデル校』『部活動推進指定校』『オリビック教育推進校』の 3 つの推進校の指定をいただきました。スポーツ科学センターや赤羽自然観察公園など「西が丘」の恵まれた環境、近隣自治会や商店街、地元消防署との連携など、地域に育てられ、地域とともに歩む学校です。社会で自立できる生徒の育成を目標に、就職や進学などの多様な進路実現を支援しています。                                                                    |
| 27 | 都立足立<br>高等学校   | 足立区       | 定 | 普通科 (90)<br>商業科 (30)                      | 学級数 16、在籍生徒数約 300 名の大規模な夜間定時制課程で、商業科は 4 学級ある。英語科で習熟度別授業を実施するとともに、芸術科では 2 名の専任教諭により豊かな情操を育てている。定時制のコンピュータ教室は 18 年度最新機種に更新された。学校規模を生かし文化祭やスポーツ大会など数多くの学校行事が行われる一方、部活動もさかんである。                                                                                                                                          |
| 28 | 都立荒川商業<br>高等学校 | 足立区       | 全 | 総合ビジネス科 (210)                             | 平成 18 年度より文部科学省「目指せスペシャリスト」スーパー専門高校に指定 (3 年間) され、特色ある教育活動を展開している。地元商店会の PR フラグのデザインを考案 (年 4 回更新) したり、生徒のデザインによるラッピング都電 (外装塗装) を、平成 18 年より 22 年 3 月まで通常運行させるなど地域に根ざした教育活動が高く評価されている。生徒商業研究発表大会・全国産業教育フェアにも参加。平成 21 年度創立 50 周年を迎えた。                                                                                    |
|    |                |           | 定 | 商業科 (90)                                  |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 29 | 都立五日市<br>高等学校  | あきる野<br>市 | 全 | 普通科：<br>「ことばと情報」の<br>コース (80)<br>商業科 (70) | 本校は四季折々に変化する武州の山なみに囲まれた静かな五日市に位置しています。普通科は平成 17 年度より「ことばと情報」コースに改編しました。このコースではコミュニケーション能力の修得を柱とし 3 年間で「ことばの力」を身につけます。商業科では 2 年次に「簿記コース」と「情報コース」に別れ、これからの社会に対応した知識・能力・資格の修得を目指します。26 年度入学選抜では、普通科及び商業科ともにバスケットボール女子 1 名ずつの文化・スポーツ特別推薦を実施します。<br>定時制は面倒見が良い指導で定評があります。進路実現 100% を目指しています。                              |
|    |                |           | 定 | 併合科 (普通・商業) (30)                          |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 30 | 都立葛飾商業<br>高等学校 | 葛飾区       | 全 | 商業科 (140)<br>情報処理科 (70)                   | 全日制は、平成 23 年 4 月に創立 50 周年を迎え地域に根ざした専門高校として、キャリア教育を推進し、資格取得の向上や地域産業界との連携を図り、生徒ひとりひとりの進路実現に取り組んでいる。健全育成に努め、社会に貢献できる人材育成を目指している。22・23・24 年度部活動推進、23・24・25 年度言語能力向上推進の各指定、25 年度規範意識向上先行実施校、26 年度規範意識向上推進モデル校の指定を受けて、あらゆる機会を通して生徒の資質向上と学校生活の充実に取り組んでいる。<br>定時制は、マーケティング部はもとより、バスケット、バレー、芸術部門の部活動が盛んで、生徒の活躍が学校全体の活力になっている。 |
|    |                |           | 定 | 普通科 (30)<br>商業科 (30)                      |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 31 | 都立江東商業<br>高等学校 | 江東区       | 全 | 総合ビジネス科 (175)                             | ビジネス三言語 (IT、会計、英語) に力点を置き、実践的な商業教育を核として教育活動に取り組んでいる。同時に、社会人としての必須のマナーを身につけた生徒の指導を行っている。さらに、クラブ活動の振興を積極的に図り、学んで楽しい学校作りを目指している。                                                                                                                                                                                        |
| 32 | 都立芝商業<br>高等学校  | 港区        | 全 | 商業科 (210)                                 | 平成 26 年度に創立 90 周年を迎えた本校は、定評ある資格取得・進学・就職・マナーの指導継続とともに、一人一人が実社会に出て活躍する目標を明確にするために全員インターンシップを実施し、目的ある学習や高校生活の充実を図っています。また、観光とビジネスの拠点、浜松町駅徒歩 5 分にある、商業で学んだ知識・技能を実践的に活用する竹芝地区まちづくり参画や高校生開発商品アンテナショップ経営などに取り組み、地域社会を連携した実践学習により人づくりを進めている、東京都における商業高校の拠点校です。                                                               |

|    | 学校名            | 所在地 | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数  | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                                |
|----|----------------|-----|----|-------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 33 | 都立第一商業<br>高等学校 | 渋谷区 | 全  | 商業科 (210)               | 東京都の商業高校のリーダーとして、生徒に愛され、地域に愛され、都民の皆様に信頼される学校として、教職員が一丸となって教育活動をすすめている。<br>高度な資格取得、大学進学・企業就職の両方に対応した教育課程と進路指導を充実させており、大学進学では指定校や公募推薦等で現役合格している。<br>ソフトボール部や女子バレー部及び簿記部など部活動も盛んであり、地域連携では、学校開放事業、地域の行事への参加、公開講座や出前授業等「地域に学び、地域に貢献する学校」として高い評価を得ている。                       |
| 34 | 都立第三商業<br>高等学校 | 江東区 | 全  | 商業科 (210)               | 全日制・定時制ともにこれからの日本の経済社会を担う人材を育成する学校として常に商業教育の充実を図っています。基礎・基本を重視するとともに高度資格取得にも力を入れています。また、企業とのつながりを大切にしながら、進路保証 100% を実現を目指しています。<br>今後も優良企業への就職や大学進学に十分に対応できるよう教育活動の点検・改善に鋭意取り組んで参ります。                                                                                   |
|    |                |     | 定  | 商業科 (30)                |                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 35 | 都立第四商業<br>高等学校 | 練馬区 | 全  | 商業科 (140)<br>情報処理科 (70) | 一マナーの四商、資格の四商、社会人基礎力を養成する学校—<br>昭和 15 年の開設から今日に至るまで、70 年を超える伝統と歴史の中で一貫して産業界で活躍する多くの有為な人材を育成してきました。<br>商店会等と連携した Web ページ・ポスター作成等の体験的授業の実施や IT パスポート試験合格など着実に力をつけています。<br>部活動も盛んで、珠算部・簿記部・ワープロ部の全国大会出場、アーチェリー部は関東大会出場、他にも硬式野球部、女子バスケットボール部、女子バレーボール部、吹奏楽部なども学校として力を入れている。 |
| 36 | 都立第五商業<br>高等学校 | 国立市 | 全  | 商業科 (210)               | 全日制課程は、「資格の五商」「部活の五商」といわれる伝統校です。生涯にわたる学ぶ土台となる基礎基本を幅広く身につけ、社会人としてふさわしい感性やマナーを磨く学校です。<br>定時制課程は、①基礎基本の学習を大切にします。②生活指導に力を入れて指導します。③資格取得と進路実現に力を入れます。④一人ひとりの夢を実現するために計画的に指導します。                                                                                             |
|    |                |     | 定  | 商業科 (60)                |                                                                                                                                                                                                                                                                         |

#### ▽ビジネスコミュニケーション科

|    |                |     |   |                      |                                                                                                                                                                                                         |
|----|----------------|-----|---|----------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 37 | 都立千早<br>高等学校   | 豊島区 | 全 | ビジネスコミュニケーション科 (210) | ・英語とビジネス教育に重点をおいた進学型専門高校。<br>・「使える英語」を目指して「多読と発表」を授業に取り入れ、会話もイングリッシュキャンプ (1 年)、海外修学旅行 (2 年) と行事で実践。<br>・新しいビジネス教育分野に NPO / NGO を学ぶ学校設定科目として「コミュニティデザイン」を設置。ビジネスで社会を学び大学卒業後を見据えた進学を特色とする。                |
| 38 | 都立大田桜台<br>高等学校 | 大田区 | 全 | ビジネスコミュニケーション科 (210) | 「本当に英語を使える人」を育てるために 10,000 冊の英書を活用した「英語多読」の授業や「アメリカン・キャンプ (1 年生)」「キャリア・アップ修学旅行 in 九州 APU (2 年生)」などの学校行事を通し国際理解を深めます。また、「キャリア・デザイン」「東京の経済」「プレゼンテーション技術」「ファイナンス」「ビジネスモデル研究」など多様な学校設定科目により充実したビジネス教育を行います。 |

#### ▽家庭に関する学科

|    |              |     |   |                         |                                                                                                                                                                                                                                                              |
|----|--------------|-----|---|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 39 | 都立忍岡<br>高等学校 | 台東区 | 全 | 普通科 (160)<br>生活科学科 (70) | 平成 18 年 4 月 1 日、全日制・単位制、普通科と生活科学科の併置校として開校した。学科の目標は、普通科「大学進学希望の実現」、生活科学科「将来のプロフェッショナルとして必要な資質・能力の育成、大学進学希望の実現」である。<br>単位制を活用して様々な選択科目を設置するとともに、習熟度別授業、少人数授業により基礎的・基本的な学力の定着に努めている。また、大学・専門学校と連携した専門性の高い授業も実施している。茶道、華道、将棋などの「日本の伝統文化」を自由選択科目として第 7 限に設置している。 |
|----|--------------|-----|---|-------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### ▽福祉に関する学科

|    |               |     |   |          |                                                                                                  |
|----|---------------|-----|---|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 40 | 都立野津田<br>高等学校 | 町田市 | 全 | 福祉科 (35) | 平成 8 年度より普通科看護福祉コースとしてスタートし、平成 18 年度から学科改編をおこない、東京都として初の福祉科を設置した。介護福祉士の国家試験の受験資格が得られる唯一の都立高校である。 |
|----|---------------|-----|---|----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### ▽国際関係に関する学科

|    |                  |     |   |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|------------------|-----|---|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 41 | 都立大島海洋<br>国際高等学校 | 大島町 | 全 | 海洋国際科 (80) | 「海を通して世界を知る」というコンセプトに基づき、体験的な国際教育・海洋教育により、21 世紀の課題を発見・探求するとともに、これに貢献する高い志と国際化社会に対応する優れたコミュニケーション能力、良識、学力、逞しさをもつ国際人を育成します。2 年生からは「国際社会系」と「国際海洋系」に分かれ、前者は文系 4 年制大学、後者は理系・海洋系 4 年制大学や海洋系公務員等を目指します。また、都立高校唯一の実習船大島丸による国際航海学習、海外語学研修を行い、寄宿舎においては自律的な生活習慣を育て、学習サイクルと「宅習 3 時間」による学習習慣により、生徒の進路実現を図ります。 |
|----|------------------|-----|---|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

#### ▽併合科

|    |              |     |   |                              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
|----|--------------|-----|---|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 42 | 都立大島<br>高等学校 | 大島町 | 全 | 普通科 (80)<br>併合科 (農林・家政) (35) | 生命と環境のスペシャリストを育てる農林科では、17 万㎡という広大な敷地の中で、草花、野菜、畜産、森林の農業の各分野を、実習をとおして学習できるという特徴があります。広大な農場で、気持ちいい汗をいっぱいかきながら、島民の期待に応える最高の生産品を作り、環境を創造していく実習はこころも身体も健康にしてくれます。<br>生活産業のスペシャリストを育てる家政科では、大島の生活産業現場や社会福祉施設と幅広く連携し、教科書にはない専門的な技術や知識を習得できます。また、地域産業を視野に入れた学習で社会性を磨き、職業観を養い、生徒が自らの進路を深く考えられる授業を展開をしています。 |
|    |              |     | 定 | 普通科 (30)                     |                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |

|    | 学校名          | 所在地 | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数        | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----|--------------|-----|----|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 43 | 都立八丈<br>高等学校 | 八丈町 | 全  | 普通科 (120)<br>併合科 (園芸・家政) (35) | 八丈島唯一の高等学校として、地域のニーズから左記の各科を設置している。<br>敷地面積は約 7 万平米 (東京ドームの 1.5 倍) を有する。全日制は習熟度別学習や少人数制を導入し、生徒の学力に応じた授業を展開している (昨年度進路実績 97%)。部活動が大変盛んで、生徒の約 85% が所属している。<br>定時制は三修制を取り入れるなど、生徒の要望に柔軟に対応している。島のほぼ中央に位置し、学校内外、花と緑に囲まれた素晴らしい環境にあり、羽田空港から空路約 50 分、1 日 3 便就航。大変至便な学校である。 |
|    |              |     | 定  | 普通科 (30)                      |                                                                                                                                                                                                                                                                     |
| 44 | 都立三宅<br>高等学校 | 三宅村 | 全  | 普通科 (40)<br>併合科 (農業・家政) (35)  | 併合科は、農業科または家政科の専門科目を中心に学び、食の生産や加工、生活の改善などに積極的に取り組む能力を身につけさせる学習を行っている。少人数の長所を生かし、生徒一人ひとりの個性・能力を伸ばす指導を実践している。                                                                                                                                                         |

## ▽産業科

|    |                 |      |   |                                                                         |                                                                                                                                                                                        |
|----|-----------------|------|---|-------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 45 | 都立橘<br>高等学校     | 墨田区  | 全 | 産業科 (210)                                                               | 「ものづくりから流通、販売まで」を総合的に学習して、将来、地域社会・産業界を担う人材と起業家を育成します。「ものづくり・ビジネス・IT」を専門教育の柱に、上級学校への進学を視野に入れた好ましい勤労観・職業観を身につけるキャリア教育を実践します。                                                             |
|    |                 |      | 定 | 産業科 (60)                                                                |                                                                                                                                                                                        |
| 46 | 都立八王子桑志<br>高等学校 | 八王子市 | 全 | 産業科<br>：デザイン分野 (70)<br>：クラフト分野 (35)<br>：システム情報分野 (35)<br>：ビジネス情報分野 (70) | 本校は IT 特区 & 学園都市八王子に開校、産業界や地域社会との連携を発展させます。<br>国家試験をはじめ高度な資格取得や検定合格で自信をつけ将来を切り開き、複眼的に考える力と専門性を身につけ各界において活躍する人材を育て、広く社会から信頼される学校を目指します。特色は、桑高ブランド指導計画「千の夢計画」をもって時代の要請に応える「未来の産業人」の育成です。 |

## ▽情報科 (単位制)

|    |                |     |   |                       |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----|----------------|-----|---|-----------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 47 | 都立新宿山吹<br>高等学校 | 新宿区 | 定 | 普通科 (100)<br>情報科 (65) | 各自が興味・関心・進路等に基づき科目を選び、幅広く、深く、学習するので、基本的に一人一人時間割が異なります (単位制)。定時制 (普通科・情報科) と通信制 (普通科) があり、どちらも、努力次第で 3 年間で卒業ができます (三修制)。定時制は、朝から夜まで、1 部から 4 部の四つの部に分かれます (4 部制)。情報科は、都立唯一の普通教科情報の専門学科です。通信制は、平日は自宅でレポート作成を行い、土曜日はスクーリングで本校に登校し授業を受けます。<br>教員相互の授業見学を全教員で行い授業力を高め、本校教員による夏期講習等も行っています。昨年度は、国立大学や、早慶上智・GMARCH 理科大等の難関私大に現役で 43 名の合格者を出しました。 |
|    |                |     | 通 | 普通科 (50)              |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

## ▽総合学科

|    |                  |       |   |            |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----|------------------|-------|---|------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 48 | 都立青梅総合<br>高等学校   | 青梅市   | 全 | 総合学科 (240) | 平成 18 年旧都立農林高等学校跡地に、全・定併置の総合学科高校として開校した。豊かな自然に恵まれ、都立高校随一の広大な校地、大規模改修を行った新校舎、充実した施設・設備を活用して食・農・環境等の様々な体験活動を通して学ぶ特色ある総合学科高校である。<br>全日制課程は文科・理科、生命・自然、食品・健康、環境・資源、生活・福祉の 5 系列を、定時制課程は生命・自然、生活・福祉の 2 系列を設けている。                                                                               |
|    |                  |       | 定 | 総合学科 (90)  |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 49 | 都立葛飾総合<br>高等学校   | 葛飾区   | 全 | 総合学科 (240) | 平成 19 年 4 月に東京東部地区に開校した全日制総合学科高校。<br>国際コミュニケーション、スポーツ福祉、生活アート、環境サイエンス、情報メディア、メカトロニクスの 6 系列を通して、生徒の興味関心に応じた幅広い選択科目と大胆な選択制を採用して、生徒一人ひとりに明確な目的意識を育てつつ、希望進路実現を図る。                                                                                                                            |
| 50 | 都立杉並総合<br>高等学校   | 杉並区   | 全 | 総合学科 (240) | 都立桜水商業高校と都立永福高校とを前身として、平成 16 年度に都立で 3 番目の総合学科高校として開校。国際理解教育やキャリア教育を重視、部活動の推進や学校行事の充実などと合わせて、生徒の意欲を高め「生きる力」を育て、個性や能力の伸長をめざす。                                                                                                                                                              |
| 51 | 都立世田谷総合<br>高等学校  | 世田谷区  | 全 | 総合学科 (240) | ○平成 20 年 4 月開校<br>○幅広い 6 系列 (社会・教養、環境・サイエンス、国際・文化理解、情報デザイン、ライフデザイン、ものづくり) に魅力ある様々な選択科目を配置し、一人ひとりにきめ細かく対応した時間割を作成。<br>○生活マナー (身だしなみ、頭髮等) を重視し、自主・自律の態度を育成するために、ノーチャイム、ノー放送を展開。男女ともに制服を決め、毎日校門指導を実施。女子制服には、パンツスタイルも採用。<br>○進路実現をサポートするために、「産業社会と人間」の授業の他、キャリア教育を重視                         |
| 52 | 都立つばさ総合<br>高等学校  | 大田区   | 全 | 総合学科 (240) | 平成 14 年に新規開校した都立 2 校目の総合学科高校である。美術・デザイン系列、科学・技術系列、国際・コミュニケーション系列、スポーツ・健康系列、生活・福祉系列の 5 系列を配備し、生徒が自身の適性・能力・興味・関心・進路希望等に応じて独自の時間割を編成し学習を進め、大学進学を中心とした希望進路を実現している。ISO14001 (国際環境認証) を取得し、環境教育にも力を入れ、平成 19 年度「環境大臣賞」、平成 21 年度「文部科学大臣賞」を受賞している。部活動も盛んであるとともに、様々な地域連携活動を展開し、地域に愛され親しまれている学校である。 |
| 53 | 都立晴海総合<br>高等学校   | 中央区   | 全 | 総合学科 (240) | 東京都の総合学科高校のパイオニア校として平成 8 年に開校。近代的で充実した校舎・設備を持ち、「産業社会と人間」の工夫やキャリア教育の充実をベースに、情報システム、国際ビジネス、語学コミュニケーション、芸術・文化、自然科学、社会経済の 6 系列に多様な選択科目を設置し、大学進学を視野に入れた生徒の進路実現を図れる学校である。                                                                                                                      |
| 54 | 都立東久留米<br>総合高等学校 | 東久留米市 | 全 | 総合学科 (240) | 本校は、平成 19 年 4 月に開校した全日制、定時制併置の総合学科高校。<br>全日制では、学ぶ意欲を育てるための魅力選択や先進的な進路指導により大学などへの希望進路の実現を図る。自然科学、人文科学、情報・ファイナンス、スポーツ科学、看護・福祉、美術・デザインの 6 系列を設置。<br>定時制では、教養、情報・ファイナンスの 2 系列を設置するとともに、三修制を実施。                                                                                               |
|    |                  |       | 定 | 総合学科 (60)  |                                                                                                                                                                                                                                                                                          |

|    | 学校名            | 所在地 | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数 | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                      |
|----|----------------|-----|----|------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 55 | 都立若葉総合<br>高等学校 | 稲城市 | 全  | 総合学科 (240)             | 平成 17 年度に開校した、多摩地区最初の総合学科高等学校。自らを「進路指導充実校」と名づけ、多彩な教育活動により生徒の意欲と力を伸ばし、進路実現を目指す。人間探究・芸術表現・伝統継承・情報交流の 4 系列を持つ。教育目標のコンセプト<br><b>“TO BE AMBITIOUS, ACTIVE, AND ATTRACTIVE”</b><br>※大志を抱き (AMBITIOUS)、生き生きと活動し (ACTIVE)、<br>魅力あふれた (ATTRACTIVE) 若者を育てる学校            |
| 56 | 都立町田総合<br>高等学校 | 町田市 | 全  | 総合学科 (240)             | ○平成 22 年度 4 月開校、全日制総合学科高等学校<br>○社会での生き方を視野に捉えた「キャリア教育」を教育活動の根幹とした学校<br>○校訓「創」;「自分創り」に取組み、「社会創り」の基礎を身に付け、「未来創り」に備える。<br>○基本的な学力を養うとともに、生徒一人ひとりが自己実現のための科目を自ら選択する。自分で創る自分自身のための時間割<br>○「暮らし」「ひと」「まち」「自然」の 4 つの系列・自らを磨く「日本文化」の授業・社会と連携し、体験を重視した教育活動・自主・自立・自律の部活動 |
| 57 | 都立王子総合<br>高等学校 | 北区  | 全  | 総合学科 (240)             | 平成 23 年度開校、全日制総合学科高等学校。<br>○「Design Your Dream」(自己の生き方を真剣に考え将来を切り開く力をつける学校)をキャッチフレーズとしている。自己の進路へ自覚を深め自ら夢を描き、その実現に向かって意欲的に計画し実行する行動力と態度を育てていきます。<br>○「メディア・ネットワーク」「ビジネス・コミュニケーション」「工業・デザイン」「伝統文化・工芸」「スポーツ・健康」の 5 つの系列があります。                                    |

▽総合学科 (チャレンジスクール)

|    |                |      |   |            |                                                                                                                                                                                                          |
|----|----------------|------|---|------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 58 | 都立大江戸<br>高等学校  | 江東区  | 定 | 総合学科 (150) | 平成 16 年 4 月開校の三部制総合学科 (単位制、定時制) 高校。「伝統・文化」「情報・ビジネス」「生活・福祉」の 3 系列があり、地域に根ざした特色ある教育活動を行います。体験学習や実習を重視し、少人数の授業で一人一人が分かるまで指導します。「一人一人の学びを実現する学校」「一人一人のチャレンジを支援する学校」「地域に支えられ育てられる学校」                          |
| 59 | 都立桐ヶ丘<br>高等学校  | 北区   | 定 | 総合学科 (150) | 平成 12 年度に開校した、最初のチャレンジスクール (総合学科、単位制、昼夜間開講三部制の定時制) です。<br>『夢・挑戦・感動』を校訓に「福祉教養」「情報ビジネス」「アート・デザイン」の 3 系列で①多様な教科・科目を設置した総合学科②基礎・基本の重視③単位認定の弾力化④体験学習の重視⑤充実した相談体制など、特色ある教育活動を展開しています。                          |
| 60 | 都立世田谷泉<br>高等学校 | 世田谷区 | 定 | 総合学科 (180) | 「学ぶ時間帯」を選べる三部制、「学ぶ計画」を選べる単位制、「学ぶ科目」を選べる総合学科のチャレンジスクールといわれる定時制の学校です。「製作・技術」「生活・福祉」「創作・表現」の 3 系列があり、たくさんの選択科目や体験学習を用意しています。                                                                                |
| 61 | 都立稔ヶ丘<br>高等学校  | 中野区  | 定 | 総合学科 (210) | 平成 19 年 4 月に開校したチャレンジスクール (三部制定時制、総合学科、単位制) です。各学年 7 学級で、校服 (制服) があり静かな学習環境です。心理学に裏づけされた授業「コピーング」があり、「対人関係力、学習スキル」を向上させていきます。「勁い(つよい)心」「自立した未来」のもとたくさんの選択科目や少人数授業、体験学習を行っています。                           |
| 62 | 都立六本木<br>高等学校  | 港区   | 定 | 総合学科 (150) | 平成 17 年に開校し 10 年目を迎えたチャレンジスクール。小・中学校において不登校を経験した生徒、高校を中退した生徒及び、これまでの教育の中では十分に力を発揮できなかった生徒が自分の夢に向かってチャレンジしている。教育目標は「見つけて磨いて未来を拓く」である。演劇・美容・和太鼓・陶芸等、市民講師による特色ある授業も実施している。三修制により平成 25 年度末には第 7 回目の卒業生が出ました。 |

▽普通教育を主とする学科 (単位制)

|   |              |     |   |           |                                                                                                                                                                  |
|---|--------------|-----|---|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 都立浅草<br>高等学校 | 台東区 | 定 | 普通科 (240) | 平成 18 年 4 月開校。生徒のライフスタイルに応じた柔軟な教育課程を持つ、昼夜間三部制、普通科の単位制高校である。9 階建て全館冷暖房完備のオフィスビルディングタイプの校舎と地下に年間フル稼働の温水プールを持つ。学び直してから大学受験まで対応するカリキュラムと保育体験や介護体験のできる「体験学習」などを特色とする。 |
|---|--------------|-----|---|-----------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

国立高校

|   |                              |    |   |                          |                                                                                                                                                                                          |
|---|------------------------------|----|---|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 東京工業大学<br>附属<br>科学技術<br>高等学校 | 港区 | 全 | 科学・技術科<br>(推薦 60、一般 140) | 科学技術における基礎学力の充実に重点を置き、高大連携の強化により、先端的な科学技術を注視しながら、より高度な教育に対応できる多面的素養を身に付けることが出来る授業を展開している。2 年次から、材料科学・環境科学・バイオ技術、情報・コンピュータサイエンス、システムデザイン・ロボット、エレクトロニクス・エネルギー・通信、立体造形・デジタルデザインの 5 分野に分かれる。 |
|---|------------------------------|----|---|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

高等専門学校

|   |                  |            |   |                               |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---|------------------|------------|---|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 都立産業技術<br>高等専門学校 | 品川区<br>荒川区 | 全 | ものづくり工学科 (320)<br>創造工学専攻 (32) | 平成 18 年度に都立工業高等専門学校 (工業高専) と都立航空工業高等専門学校 (航空高専) の再編統合を行い、本科の「ものづくり工学科」に新たな 8 つの教育コースを設置した東京都立産業技術高等専門学校を開校しました。本校では「首都東京の産業振興や課題解決に貢献するものづくりスペシャリストの育成」を目指しています。更に、科学技術の高度化、複合化、グローバル化に迅速に対応できる、より高度な総合的実践的技術者を育成することを目指し、本科 5 年の上に 2 年の専攻科課程「創造工学専攻」を設置しています。平成 20 年 4 月には、公立大学法人首都大学東京に移管し、同法人の首都大学東京及び産業技術大学院大学との連携を推進しています。 |
|---|------------------|------------|---|-------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

|  | 学校名 | 所在地 | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数 | 学校の概要・特色 |
|--|-----|-----|----|------------------------|----------|
|--|-----|-----|----|------------------------|----------|

## 専修学校

|   |                                                        |      |        |                                                                                                                                                                                                                                                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|---|--------------------------------------------------------|------|--------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 愛国学園保育<br>専門学校                                         | 江戸川区 | 昼      | 幼児教育科 (50)<br>介護福祉士専攻科 (40)                                                                                                                                                                                                                                | 本校は、昭和 44 年に設立された伝統のある専門学校である。幼児教育科は、卒業と同時に保育士資格、幼稚園教諭 2 種免許状が取得でき、介護福祉士専攻科は、卒業と同時に介護福祉士資格が取得できる。学生は、完備された学園において、斯界の権威ある教授に囲まれ、楽しく熱心に勉強している。<br>就職についてみると、幼児教育科は毎年ほぼ 100% の就職率となっており、幼稚園や保育所などに就職している。介護福祉士専攻科は、毎年 100% の就職率となっており、介護老人福祉施設などに就職している。<br>卒業生は勤務先から、専門に精通しており、明るく元気で、礼儀正しく、真面目で就職後もよく成長するという評価を得ている。                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 2 | 青山製図<br>専門学校                                           | 渋谷区  | 昼<br>夜 | 建築工学科 (25)<br>建築設計デザイン科 (60)<br>建築インテリア工学科 (25)<br>商空間デザイン科 (25)<br>建築インテリアデザイン科 (50)<br>建築設計研究科 (60)<br>建築科 (55)<br>インテリア工学科 (30)                                                                                                                         | 昭和 52 年に設立以来、設計・製図・デザイン・CAD の技術者を輩出している。現在、建築・インテリア系の 8 学科を設置。実践的な授業を展開し、産業界のニーズに沿った即戦力となる技術者、国際性豊かな幅広い知識を持った常識ある社会人の育成を目指している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 3 | 国際デュアル<br>ビジネス専門<br>学校 (新校名)<br><br>国際観光専門<br>学校 (旧校名) | 台東区  | 昼      | 国際観光学科 4 月生 (40)<br>国際ホテル学科 4 月生 (80)<br>航空貿易学科 4 月生 (40)<br>医療・医薬学科 4 月生 (40)                                                                                                                                                                             | 実践的な観光、医療及び薬業従事者の育成を目指し、座学と企業実習を組み合わせた教育を行っている。<br>現場力のある職業人を養成していく。<br>平成 22 年 4 月より国際デュアルビジネス専門学校と校名を変更した。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| 4 | 国際理容美容<br>専門学校                                         | 荒川区  | 昼<br>通 | 職業実践専門課程⇒<br>理容科 (80)<br>美容科 (120)<br>ビジネス美容科 (80)<br>【修業年限 2 年】<br>ビューティアーティスト科 (40)<br>【修業年限 1 年】<br>高等課程⇒美容高等科 (40)<br>【修業年限 3 年】<br>理容科 (40)、美容科 (80)<br>【修業年限 3 年】                                                                                    | 専門的な知識・技術と共に、心からお客様に尽くす為に自らを磨き続けることのできる人間を育てる、「驍」の教育を目標としている。また、生活文化の向上による顧客の多様なニーズに応え、今後の時代の変化に対応できる人材および業界の向上と発展を担う人間性と教養豊かな資質の高い職業人の育成を目指している。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
| 5 | 中央工学校                                                  | 北区   | 昼<br>夜 | 建築学科、建築工学科、<br>建築設計科、木造建築<br>科、建築設備設計科、建<br>築室内設計科 (250)<br>インテリアデザイン科、<br>インテリア科 (40)<br>エンターテインメント<br>設営科 (20)<br>都市環境学科、土木建設<br>科、造園デザイン科、測<br>量科、地理空間情報科<br>(170)<br>機械学科、メカニカルデ<br>ザイン科、3D-CAD 科<br>(50)<br>スポーツ健康学科 (40)<br>建築科 (80)<br>土木科・測量科 (30) | 中央工学校は 1909 年 (明治 42 年) に創設し、2009 年 10 月 21 日創立 100 周年を迎えた。伝統と歴史を誇る専門学校で、社会に送り出した卒業生は 10 万人を超え日本の国づくりをリードしています。教育理念を『厳しい実務教育』『人間涵養教育』『楽しい学校生活』『誇りの持てる学校』とし、時代の変化やニーズに対応した教育内容と実習施設・設備を完備し、本格派の技術者を育成しています。学習面においては、クラス担任制で決め細やかな指導を行い、教師陣も技術革新の時代にあふさわしい内容で備えています。学生寮なども充実しており、地方からの進学者にも安心して学べる環境となっています。資格についても建築系の全ての学科で卒業と同時に 2 級建築士の受験資格、土木・造園・測量系学科では国家資格の測量士補が卒業と同時に無試験取得できる学科などプロフェッショナルになるためのカリキュラムを整えており、また、資格取得のバックアップ体制も整えています。就職指導においては、全国に広がった卒業生とのネットワークを活かしてクラス担任と就職指導の担当職員が連携を取り、学生の希望職種に就職できるようにしっかりとサポートしています。毎年ほとんどの学生が自分の目指す職業に内定を決めています。『中央工学校＝就職に強い学校』の評判は広く社会に認められています。 |
| 6 | 東京エアトラベル・<br>ホテル専門学校                                   | 小金井市 | 昼      | エアライン科 (60)<br>エアポートサービス科 (40)<br>英語キャリア科 (30)<br>ホテル科 (60)<br>ブライダル科 (40)<br>ビジネスマナー・秘書科 (40)<br>ファッションビジネス科 (40)<br>観光旅行科 (30)<br>鉄道交通科 (40)<br>研究科 (20)                                                                                                 | 昭和 48 年の設立と同時にスイス航空日本人スチュワーデス第一期生の採用と教育を実施。以来、エアライン、ホテル、観光、ブライダル、鉄道の各分野に優秀な人材を送り出している。仕事に直結した豊富な実習やインターンシップ実習での現場を体験、ことば遣いや礼儀作法などのホスピタリティ教育、英語の他にも近年需要が高まっている中国語や韓国語などの語学教育など充実したカリキュラムで、社会で通用する人材を育成。こうした教育内容が評価され、航空会社の採用指定校にも選ばれている。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |

|    | 学校名                                                  | 所在地  | 課程                       | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|----|------------------------------------------------------|------|--------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 7  | 東京工学院<br>専門学校                                        | 小金井市 | 昼                        | コンサート・イベント<br>科(60) 音響芸術科(40)<br>ミュージック科(30) 放<br>送芸術科(30) 演劇・声<br>優科(40) ゲームクリ<br>エーター科(30) CGクリ<br>エーター科(20) Webク<br>リエーター科(20) マン<br>ガ科(40) アニメーショ<br>ン科(30) グラフィック<br>デザイン科(30) スポー<br>ツビジネス科(60) 幼児<br>教育学科(40) こども学<br>科(40) 教育専攻科(60)<br>公務員科(30) インテリ<br>アデザイン科(20) 情報<br>システム科(40) 情報ス<br>ペシャリスト科(20) 電<br>気電子学科(40) 電気主<br>任技術者専攻科(20) 航<br>空学科(20) 法律情報科<br>(20) 経営情報科(20) 大<br>学併修学科(30) 研究科<br>(20) | 昭和 34 年、文部省認定唯一のテレビ専門学校「名城大学付属東京テレビ高等技術学校」<br>として創立。オックスフォード大学をはじめとする海外大学との提携や一流企業の現場<br>でのインターンシップ体験、各業界で活躍している講師陣による徹底指導など、時代の<br>ニーズに応える高度な専門性や広い視野を持つ人材を 50 年以上社会に送りだしている。<br>27 学科 42 コースもの多彩の専門分野から構成される総合学院であり、各専門分野の知<br>識や技能を修得するのみならず、他の専門分野との学科間、コース間を越えた学びも可<br>能。それぞれの専門分野が協力して成り立っている社会という形を学校内に再現するこ<br>とで、学生たちにとっては貴重な経験となっている。一つのキャンパスで様々な専門分<br>野を学ぶ学生同士が交流できることで、新たな価値観に触れ視野を広げ、コミュニケー<br>ション能力を鍛えられるのも特長の一つ。各学科は少人数制なので、学生一人ひとりの<br>個性や適性に合わせた丁寧な指導を実施。また、中央大学、産業能率大学との 4 年制大<br>学通信教育課程と連携した W スクールシステムにより、「専門士」と「学士」の両方の<br>学位の取得も可能。<br>ビジネスの最先端で求められる力を身につけたスペシャリストの育成を目指している。 |
| 8  | 専門学校東京工科<br>自動車大学校<br>(新校名)<br><br>東京工科専門学校<br>(旧校名) | 中野区  | 昼                        | 1 級自動車整備学科<br>(4 年・40 名)<br>自動車整備学科<br>(2 年・160 名)<br>エンジンメンテナンス科<br>(2 年・80 名)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  | 平成 22 年 4 月より専門学校東京工科自動車大学校と校名を変更し、自動車業界のメー<br>カー・ディーラー・モータースポーツ等様々な職種に対応した学科を設置するクルマとバ<br>イクの自動車大学校です。一級・二級自動車整備士資格をはじめ多種資格取得にも対応<br>できるカリキュラム改革を展開し、安心できる授業システムによる解る・出来る取れる<br>授業運営をしております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 9  | 東京誠心調理師<br>専門学校                                      | 大田区  | 専<br>門<br><br><br>高<br>等 | 調理師科 2 年制 (120)<br>調理師科 1 年制 (120)<br>〔調理技術・洋菓子製バ<br>ン・福祉調理〕<br><br>調理師科夜間部<br>2 年制 (40)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 1970 年創立。2007 年 8 月京急蒲田駅西口すぐそばに HACCP や ISO22000 に適用した、<br>全く新しいコンセプトの基、新校舎が完成。<br>調理師科 2 年制には、学内レストランにて、一般の方々を対象に専門学校生レストラン<br>を運営。メニュー開発から運営までをトータルに学ぶことができる。<br>その他にも地元下丸子の農園と提携し、野菜（食材）の提供だけでなく学生が体感でき<br>る農場実習も実施しています。<br>この他、毎年 2 月に開催されている全国調理技術コンクールでは、数々の大臣賞を受賞<br>しており、技術教育についてもその質の高さを誇っています。<br>2012 年からは、週 3 日制の夜間部 2 年制を開校。社会人や大学生の方々にも入学し易い<br>学科を設立。                                                                                                                                                                                                                                  |
| 10 | 東京デザインテク<br>ノロジーセンター<br>専門学校                         | 新宿区  | 昼                        | スーパー IT 科 (80)<br>IT・デザイン科 (80)<br>IT・デザインコミュニ<br>ケーション科 (80)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 本校は、業界が必要とする人材育成を産学協同教育によって行っています。<br>学科は、IT を核としたエンジニア、クリエイター、デザイナーの育成カリキュラムで構<br>成されています。資格取得にも力を入れ国家資格、ベンダー資格、業界資格の取得に取<br>り組んでいます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 11 | 東京美容<br>専門学校                                         | 新宿区  | 昼<br><br><br>通           | 美容総合科ヘアスタイリ<br>ストコース<br>(80)(専門課程)<br>美容総合科トータルビュー<br>ティーコース<br>(40)(専門課程)<br>エステティック科<br>(16)(専門課程)<br>メイク・ネイル科<br>(40)(一般課程)<br><br>美容通信科 (通信)(80)<br>エステティック通信講座(16)                                                                                                                                                                                                                                          | 本校は 1947 年の創立以来、「堅実な学風、先進の技術」という建学の精神を大切に 60 年<br>の歴史を重ねてまいりました。現理事長、田中みさ子は、約 80 店舗のヘア＆ブライダ<br>ルサロングループを率い、国内外の美容業界において活躍しています。<br>また、海外のコスメティックスメーカーとも提携し、教育システムにおいても多くのサ<br>ポートを受けてきました。こうした伝統を踏まえ、常に「時代と共にある美のスペシャ<br>リスト、時代を超える美しさ」を模索しながら、ハートフルな美容師育成に専心し、そ<br>のために必要な施設、カリキュラムを充実させております。                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 12 | 東京 YMCA<br>医療福祉<br>専門学校                              | 国立市  | 昼                        | 社会福祉専門課程<br>介護福祉科 (2 年)(80)<br>医療専門課程<br>作業療法学科(3 年)(30)                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 世界の YMCA に共通の精神である「平和で優しい社会の実現に貢献する」に基づいて、<br>学校法人東京 YMCA によって 1996 年に設立されました。<br>学生一人ひとりに合わせた指導で「人に向き合い、人を支える専門家」として豊かな人<br>間性を持つスペシャリストを養成し業界に送り出しています。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|    | 学校名                 | 所在地  | 課程                | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          |
|----|---------------------|------|-------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13 | 日本ウェルネス<br>スポーツ専門学校 | 練馬区  | 昼                 | <p>アスレティックトレーナー科 (40)</p> <p>健康スポーツ科 (40)</p> <p>チャイルドスポーツ科(37)</p> <p>ウェルネス IT 科 A (4 月入学)(30)</p> <p>ウェルネス IT 科 B (10 月入学)(30)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>日本ウェルネススポーツ専門学校は、1998 年（平成 10 年）4 月に開校された体育スポーツ・健康づくり及び、情報技術に関する知識・技能を修得するための専門教育を行い、その分野における指導並びに社会活動に対応し得る人材を育成する専門学校です。</p> <p>本校はオリンピック出場、世界選手権優勝、国際大会優勝等、数々の実績を残しているスポーツ専門学校の名門です。</p> <p>競技スポーツを中心としたアスリート（硬式野球・サッカー・陸上など多数のスポーツ）の他、スポーツトレーナー（トップアスリート、スポーツクラブ、学生のトレーナー）、スポーツインストラクター、保育士、幼稚園教諭、幼児体育指導者のスペシャリストを養成します。</p> <p>学校主導の徹底した就職支援による高い就職率と、たくさんの専門資格を取得できることが特色です。</p> <p>本校グループでは、スポーツ業界初の「専門学校・大学連携の内部推薦制度」が誕生しました。本校の卒業生は内部推薦により、「日本ウェルネススポーツ大学」の 3 年次に編入学できます。3 年次編入の際、本校での取得単位が大学の単位として読替えされるので、編入後無理なく 2 年間で大学を卒業できます。</p> <p>また、日本ウェルネススポーツ大学では「保健体育教員免許」の取得が可能です。</p> <p>本校卒業後、大学にて学位を取得し、職業に直結した実践力を深めたい方には、この内部推薦制度による編入学はお勧めです。</p> |
| 14 | 日本電子<br>専門学校        | 新宿区  | <p>昼</p> <p>夜</p> | <p>コンピュータグラフィックス科(160)、高度コンピュータグラフィックス科(40)、CG 映像製作科(40)、ゲーム制作科(150)、ゲーム制作研究科(120)、ゲーム CG デザイン科(80)、ゲーム企画科(80)、アニメーション科(80)、アニメーション研究科(40)、Web デザイン科(80)、グラフィックデザイン科(80)、コンピュータミュージック科(40)、ケータイ・アプリケーション科(40)、Web システム科(40)、組込みシステム科(80)、コンピュータネットワーク科(80)、ネットワークセキュリティ科(80)</p> <p>情報処理科(120)、情報システム開発科(80)、高度情報処理科(80)、電子応用工学科(40)、電気工学科(50)、電気工事技術科(50)</p> <p>コンピュータグラフィックス科(40)、キャラクターデザイン科(40)、ゲーム制作科(40)、ネットワークセキュリティ科(40)、情報処理科(40)、電気工学科(50)、電気工事士科(50)</p> | <p>「電子技術を核とした創造性豊かな技術者の育成を通して世界に貢献する」という建学の精神により、現在は「最先端の技術をいち早く実学として取り込み、個性を生かせる教育環境の中で、国際社会に貢献することのできる感性豊かなスペシャリストを育成する」を教育理念として掲げ、独自の教育システムを構築している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 15 | 二葉栄養<br>専門学校        | 武蔵野市 | 昼                 | <p>管理栄養士学科 (40)</p> <p>栄養士科 (120)</p> <p>調理師科 (76)</p> <p>調理実践科 (76)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             | <p>本校は開校以来数多く調理師、栄養士を養成してまいりました。平成 14 年より管理栄養士学科を東日本地区にて第一番目に開設し、平成 26 年には第 9 期生の 88.5%を管理栄養士国家試験合格として輩出いたしました。栄養士科においては 2 つのコースを 2 年次に選択し、希望の就職先に合わせた教育により、就職希望者に対する就職率 100%を実現しています。また、調理師科においては基礎衛生知識と、食の安全を中心に学習、調理実習時間は 300 時間を設定し、知識と技術をバランスよく学び即戦力に対応できる人材を育成しています。2 年制の調理実践科を新設し調理実習授業のさらなる充実とフードサービス全般の知識と技術の習得をします。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 16 | マリールイズ<br>美容専門学校    | 新宿区  | 昼                 | <p>美容本科 (40)</p> <p>・ブライダルアーティストコース</p> <p>・国際スタイリストコース</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | <p>創立者マリールイズ女史の言葉にあります「一に人格、二に技術」をモットーに人材育成に努めております。また、明治神宮・明治記念館・目黒雅叙園にある美容室を運営する関連会社(株)美容マリールイズの協力のもとに、ブライダルアーティストコースと国際ヘアスタイリストコースを設置し、プロを養成する実践的なカリキュラムを編成しております。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 17 | 武蔵野東<br>高等専修学校      | 武蔵野市 | 昼                 | <p>総合キャリア学科 (75)</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | <p>「理想」～世のために役立ち、人々に必要とされる社会人となる～を校訓に、将来の職業生活に直接役立つ専門的な知識・技術を学ぶとともに人間の成長を図る。</p> <p>また、一般教養科目も強化し、スポーツ大会、林間学習、学園祭などの体験学習を重視している。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |

|    | 学校名              | 所在地  | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               | 学校の概要・特色                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     |
|----|------------------|------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 18 | 日本工学院<br>専門学校    | 大田区  | 昼  | 放送・映画科 (160)<br>声優・俳優科 (240)<br>マンガ・アニメーション科四年<br>制 (40)<br>マンガ・アニメーション科(240)<br>ゲームクリエイター科四年制<br>(40)<br>ゲームクリエイター科 (120)<br>CG 映像科 (40)<br>グラフィックデザイン科 (40)<br>インテリアデザイン科 (40)<br>プロダクトデザイン科 (40)<br>ミュージックアーティスト科(120)<br>コンサート・イベント科 (240)<br>レコーディングクリエイター科(80)<br>ダンスパフォーマンス科 (40)<br>IT スペシャリスト科 (80)<br>情報処理科 (200)<br>パソコン・ネットワーク科 (40)<br>情報ビジネス科 (40)<br>電子・電気科 (160)<br>環境・バイオ科 (40)<br>建築学科 (40)<br>建築設計科 (80)<br>機械設計科 (40)<br>診療情報管理士科 (30)<br>医療秘書・事務科 (30)<br>臨床工学専攻科一年制 (80)                                                                                                                                                       | <p>本校は、1947 年の創立以来、「理想的教育は理想的環境にあり」という教育理念のもと、「若者の持つ夢を、技術という生きる力に育み、豊かな未来創造に寄与する」をミッションとし、最先端の学習環境と各分野の第一線で活躍するプロの講師陣が、実践的で質の高い専門教育を行っております。これまでに多くの卒業生を社会に送り出し、それぞれが各分野の第一線で活躍していることが、本校の教育の何よりもの実績と自負しております。</p> <p>多彩なスペシャリストを育てるカレッジ制</p> <p>長い歴史のなかで培ってきた総合専門学校としてのノウハウと、グレードの高い専門教育を実現するために、創立 60 周年となる 2007 年にはカレッジ制を導入しました。総合専門学校のメリットはそのままに、これまでの学科を発展させ、より専門性を追求する学習環境を実現。「総合性」+「専門性」のカレッジ制専門学校として生まれ変わりました。</p> <p>「クリエイターズ」「デザイン」「ミュージック」「IT」「テクノロジー」「医療」の 6 つのカレッジは、専門領域を深く掘り下げながら相互に関わりあい、連携することで新たなスペシャリスト教育の創造を実現しています。</p> <p>より充実した教育を提供する「教育設計図」</p> <p>本校では、就職難の時代に対応し学校の本質である学生への教育をより充実させるべく、長年積み上げてきた教育ノウハウを結集・体系化した「教育設計図」を確立いたしました。これは、“すべての学生に就労に必要なスキルを身につけさせること”を目的とした、全く新しい教育カリキュラムです。すべての学生にこの「教育設計図」に基づいた「専門力」教育を行うとともに、社会人として必要不可欠となる「人間力」の育成にも力を入れ、学生全員が就職・デビューを叶えることができるよう徹底サポートしております。</p>                                |
| 19 | 日本工学院<br>八王子専門学校 | 八王子市 | 昼  | 放送・映画科 (80)<br>声優・俳優科 (120)<br>マンガ・アニメーション科四年<br>制 (40)<br>マンガ・アニメーション科(120)<br>ゲームクリエイター科四年制<br>(40)<br>ゲームクリエイター科 (80)<br>CG 映像科 (40)<br>グラフィックデザイン科 (40)<br>インテリアデザイン科 (40)<br>プロダクトデザイン科 (40)<br>ミュージックアーティスト科<br>(120)<br>コンサート・イベント科 (120)<br>レコーディングクリエイター科<br>(80)<br>IT スペシャリスト科 (40)<br>情報処理科 (120)<br>パソコン・ネットワーク科 (40)<br>情報ビジネス科 (40)<br>ロボット科 (40)<br>電子・電気科 (120)<br>一級自動車整備科 (50)<br>自動車整備科 (100)<br>応用生物学科 (40)<br>建築学科 (40)<br>建築設計科 (80)<br>土木・造園科 (80)<br>機械設計科 (40)<br>鍼灸科 (60)<br>柔道整復科 (60)<br>診療情報管理士科 (40)<br>医療秘書・事務科 (40)<br>スポーツトレーナー科三年制<br>(80)<br>スポーツトレーナー科 (40)<br>スポーツ健康学科三年制 (40)<br>スポーツ健康学科 (120)<br>こども学科 (80) | <p>本校は、1947 年に東京都大田区西蒲田に創立した創美学園を起源とし、1987 年に八王子市に開学しました。「理想的教育は理想的環境にあり」という教育理念のもと、「若者の持つ夢を、技術という生きる力に育み、豊かな未来創造に寄与する」をミッションとし、最先端の学習環境と各分野の第一線で活躍するプロの講師陣が、実践的で質の高い専門教育を行っております。これまでに多くの卒業生を社会に送り出し、それぞれが各分野の第一線で活躍していることが、本校の教育の何よりもの実績と自負しております。</p> <p>多彩なスペシャリストを育てるカレッジ制</p> <p>長い歴史のなかで培ってきた総合専門学校としてのノウハウと、グレードの高い専門教育を実現するため、2007 年にはカレッジ制を導入しました。総合専門学校のメリットはそのままに、これまでの学科を発展させ、より専門性を追求する学習環境を実現。「総合性」+「専門性」のカレッジ制専門学校として生まれ変わりました。</p> <p>「クリエイターズ」「デザイン」「ミュージック」「IT」「テクノロジー」「医療」「スポーツ」の 7 つのカレッジは、専門領域を深く掘り下げながら相互に関わりあい、連携することで新たなスペシャリスト教育の創造を実現しています。</p> <p>より充実した教育を提供する「教育設計図」</p> <p>本校では、就職難の時代に対応し学校の本質である学生への教育をより充実させるべく、長年積み上げてきた教育ノウハウを結集・体系化した「教育設計図」を確立いたしました。これは、“すべての学生に就労に必要なスキルを身につけさせること”を目的とした、全く新しい教育カリキュラムです。すべての学生にこの「教育設計図」に基づいた「専門力」教育を行うとともに、社会人として必要不可欠となる「人間力」の育成にも力を入れ、学生全員が就職・デビューを叶えることができるよう徹底サポートしております。</p> |

|  | 学校名 | 所在地 | 課程 | 平成 27 年度募集<br>学科及び募集人数 | 学校の概要・特色 |
|--|-----|-----|----|------------------------|----------|
|--|-----|-----|----|------------------------|----------|

## 短期大学

|   |                 |      |   |                                |                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|---|-----------------|------|---|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 愛国学園<br>短期大学    | 江戸川区 | 全 | 家政科：<br>家政専攻（50）<br>食物栄養専攻（50） | 家政専攻では、豊かな教養を身につけるとともに、衣食住の分野に渡り実践的なスキルを持つ自立した社会人を育成します。中学校教諭二種免許（家庭）、医療事務管理士（医科）の取得も可能です。食物栄養専攻では、食と健康に関わる専門的な知識と技術を持ち、人々の健康の維持・増進に役立つ栄養士を育成します。栄養士の資格に加えて、フードスペシャリストの課程も備えています。さらに、両専攻ともに卒業と同時に社会福祉主事任用資格を、また、所定の単位を取得する（又は所定の科目を学ぶ）ことによりフードコーディネーター３級の資格を取得でき、P 検、秘書技能検定、簿記検定、アロマトレーラー３級などの検定資格取得も支援しています。 |
| 2 | 東京家政大学<br>短期大学部 | 板橋区  | 全 | 保育科（120）<br>栄養科（80）            | 本学の学びには、社会で活躍するための即戦力となる専門知識と技術の習得、資格取得に加えて人間性を高め、視野を広める教養教育が備わっている。                                                                                                                                                                                                                                          |

## 平成 26 年度 会 員 中 学 校

## 公立中学校

|      | 学校数 |      | 学校数 |     | 学校数 |      | 学校数 |      | 学校数 |
|------|-----|------|-----|-----|-----|------|-----|------|-----|
| 千代田区 | 2   | 墨田区  | 11  | 渋谷区 | 8   | 練馬区  | 34  | 調布市  | 8   |
| 中央区  | 4   | 江東区  | 23  | 中野区 | 11  | 足立区  | 37  | 狛江市  | 4   |
| 港区   | 10  | 品川区  | 15  | 杉並区 | 23  | 葛飾区  | 24  | 東大和市 | 5   |
| 新宿区  | 10  | 目黒区  | 10  | 豊島区 | 8   | 江戸川区 | 33  | 羽村市  | 3   |
| 文京区  | 10  | 大田区  | 28  | 北区  | 12  | 武蔵野市 | 6   | 三宅村  | 1   |
| 台東区  | 7   | 世田谷区 | 29  | 荒川区 | 10  | 府中市  | 11  | 合 計  | 397 |

|                 |
|-----------------|
| 公立中等教育学校        |
| 千代田区立九段中等教育学校   |
| 都立中学校           |
| 東京都立白鷗高等学校附属中学校 |
| 東京都立両国高等学校附属中学校 |
| 東京都立武蔵高等学校附属中学校 |
| 東京都立富士高等学校附属中学校 |
| 東京都立大泉高等学校附属中学校 |
| 都立中等教育学校        |
| 東京都立小石川中等教育学校   |
| 東京都立桜修館中等教育学校   |
| 東京都立立川国際中等教育学校  |
| 東京都立南多摩中等教育学校   |
| 東京都立三鷹中等教育学校    |

|         |
|---------|
| 私立中学校   |
| 愛国中学校   |
| 武蔵野東中学校 |

|           |
|-----------|
| 国立大学法人    |
| 筑波大学附属中学校 |

## 本会への入会のご案内

本会は、「産業界、教育界および教育行政当局が連携し相互に連絡協調して、東京都における国公立の中学校、高等学校、高等専門学校、短期大学および専修学校などの産業教育の改善を図り、産業経済の発展に寄与する」等を目的としています。

産業教育に関心のある企業や個人で、入会希望の方または新会員をご紹介いただける方は、本会事務局までご連絡ください。よろしくお願いいたします。

(問合せ先) 〒163-8001 東京都新宿区西新宿2-8-1

東京都新宿区教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

東京都産業教育振興会 事務局

TEL 03-5320-6729 FAX 03-5388-1727

## 編集後記

産業教育振興会の会則に「この会は、産業界、教育界および行政当局が一体となって相互に連絡協調し、本都における国公立の中学校、高等学校、短期大学および専修学校などの産業教育の改善進歩をはかり、もって産業経済の自立発展に寄与することを目的とする。」とあります。産業界と教育界、行政が連携して産業を担う人材を育成していくことは、今後ますます重要なことですが、社会状況、普通科志向は産業界にとって厳しい現実となっております。

特集テーマを「新しい時代を切り拓く産業教育の創造と」させていただきました。

更なる改善・深化に向け本会・本誌が幾許かの参考になればと願っております。

お忙しいところ執筆頂いた皆様方を始めとしてお力添えをいただきました皆様方に深く感謝申し上げますとともに今後も、本会への更なるご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ホームページアドレス

<http://www.tosanshin.org/>

## 東京の産業教育 第52号

発行 平成27年(2015年)3月1日 発行

東京都産業教育振興会

〒163-8001

東京都新宿区西新宿2-8-1

東京都教育庁都立学校教育部高等学校教育課内

TEL 03(5320)6729 FAX 03(5388)1727

印刷 株式会社小葉印刷所

再生紙を使用しています

教育備品総合商社

# ヤマ産業株式会社

学びの場づくりの一翼をになって、  
教育現場からのきびしい要求にお応えします。

- スチール・木製家具
- 各種特別教室
- 黒板・スクリーン
- 学校用品
- 室内装飾
- 図書館設備
- 視聴覚設備
- OA事務機器



---

〒112-0015

東京都文京区目白台3-26-8

TEL : 03( 3941 )7258

FAX : 03( 3943 )3826

# 伝承される技術と心。

The beauty training school which was established by The principal Marie Louise at 1912. By keeping the history and tradition for 103 years, it have been become The Marie Louise Beauty Special School. We have philosophy that of '1st personality, and technique'. We educate students who will be able to produce the beauty and the happiness. We create originality by absorbing from the leading fashion, yet inheriting from the tradition. Yes! We, Marie Louise Beauty Special School, will send out many 'professionals' to the world.



## マリールイズ美容専門学校が新たな歴史を歩み始めました。

初代校長マリールイズが創設した美容講習所は、  
103年の歴史を経て現在のマリールイズ美容専門学校に至っています。  
「一に人格、二に技術」という理念のもと、美と幸せをプロデュースする人材を育成。  
伝統を受け継ぎながらも、時代の最先端をゆく美容を取り入れ、  
オリジナリティを大切にした教育方針で、「プロフェッショナル」を送り出しています。

### ■国際ヘアスタイリストコース

海外経験豊かな教員の指導のもと、語学、技術ともに将来グローバルに活躍する美容師育成に力を入れています。

### ■ブライダルアーティストコース

マリールイズグループで婚礼美容業務に携わっている教員の指導のもと、着付けはもとより、ヘアセット、アップ、メイクまで丁寧に教育しています。

●一学年 40 名の少人数体制 ●美容師免許取得可能 ●充実したサロン実習

「学校見学 & 体験入学」随時受付中！ ※詳しくはお電話又はホームページにてお問い合わせください。



学校法人 マリールイズ学園 厚生労働大臣指定

マリールイズ美容専門学校

＜お問い合わせ＞

TEL:03-3357-8015 [www.marie-louise.ac.jp](http://www.marie-louise.ac.jp)

あらゆる美の感性を磨く。  
それは喜びと感動のはじまり。

美容総合科 ヘアスタイリストコース



美容総合科 トータルビューティーコース



エステティック科



メイク・ネイル科



美容通信科

エステティック通信講座

## 体験入学

体験実習(選べる2コース)&個別説明  
土・日は毎週開催  
午前の部:10時~12時30分(先着4名)  
午後の部:14時~16時30分(先着4名)

ご予約はコチラ

☎0120-344276

<http://www.tahb.ac.jp/nyugaku/taiken.html>

カット&スタイリングコース・フェイシャル&ネイルアートコース  
※希望のコースと土曜日か日曜日の午前か午後をお選びください。



携帯QRコード  
からお申込み

**tahb\***

Tokyo Academy of Hairdressing & Beauty

学校法人 田中芸術学園  
**東京美容専門学校**

〒161-8557 東京都新宿区下落合1-2-4 03-3360-6061 <http://www.tahb.ac.jp> [info@tahb.ac.jp](mailto:info@tahb.ac.jp)

Feel Next Stage

Since 1909

# 中央工学校

105 年を超える伝統と実績！  
あなたの夢《未来》を勝ち取る！



## 建築・木造・設備

- 建築学科 (4年) ■建築設備設計科 (2年)
- 建築工学科 (3年) ■建築室内設計科 (2年)
- 建築設計科 (2年) ■夜間 建築科 (2年)
- 木造建築科 (2年)

### 《建築関連学科》

— 平成 26 年 1 級建築士試験 専門学校トップの合格者数 —

平成 26 年 1 級建築士試験「設計製図の試験」学校別合格者一覧が発表され、専門学校では連続トップの成績を収めました。

(平成 26 年 12 月 18 日、公益財団法人建築技術教育普及センター発表)



## 室内・インテリア・家具

- インテリアデザイン科 (3年)
- インテリア科 (2年)

### 《インテリア関連学科》

住空間・商業空間のインテリアデザインから、施工方法まで学び、さらに家具デザイン・家具制作技術などを身につけた、インテリアデザイナーを目指します。



## 舞台美術・イベント設営

- エンターテインメント設営科 (2年)

### 《エンターテインメント設営科》

TVや野外ステージなどの設営に必要な設計技術(舞台造形・空間装飾デザインなど)から、仮設足場を計画し、イベント設営物の制作・設営技術まで習得します。



## 土木・測量・造園

- 都市環境学科 (4年) ■造園デザイン科(2年)
- 土木建設科 (2年) ■夜間 土木科 (2年)
- 測量科 (1年) ■夜間 測量科 (2年)
- 地理空間情報科(1年)
- 《測量士補取得者対象》

### 《土木・測量関連学科》 ※造園デザイン科を除く

#### Point 1

卒業と同時に測量士補を無試験取得※

#### Point 2

2年の実務で測量士を無試験取得※

#### Point 3

地理空間情報科を卒業すると測量士を無試験取得



## 機械・CAD

- 機械学科 (4年)
- メカニカルデザイン科 (2年)
- 3D-CAD科 (2年)

### 《機械・CAD関連学科》

身の回りの工業製品などの、設計技術を作品制作を通して、習得します。

また、最先端のCAD技術を短期間に習得できます。



## スポーツ《ビジネス・トレーナー・インストラクター》

- スポーツ健康学科 (2年)
- ・スポーツビジネスコース ・チャイルドスポーツコース
- ・スポーツインストラクターコース ・福祉スポーツコース
- ・スポーツトレーナーコース ・競技スポーツコース

### 《スポーツ健康学科》

スポーツの専門知識や技術はもちろん身に付きますが、PC・流通・簿記会計のビジネス教育も学び、スポーツ業界で幅広く活躍できるスペシャリストを育成します。

〒114-8543 東京都北区王子本町一丁目 26-17  
TEL : 03-3905-1511 (入学相談室) ☎ 0120-79-1511  
PC : <http://chuoko.ac.jp> (携帯からもアクセス可)  
Mail : [info@chuoko.ac.jp](mailto:info@chuoko.ac.jp)



オフィシャルサイトに  
アクセスできます。  
(資料請求や学校説明会・  
体験入学の申込可能)





東京都経営革新計画承認企業

# 翼学院グループ

学習困難な児童・生徒のための進学・補習塾 **翼学院**

学院長が開発した対話と定式化をキーワードとした「芦澤式」指導法。学習が苦手な子でも理解でき、学力が飛躍的に伸びます。その実績が話題となり「学校では何ともしてくれない小中高生を何とかしてくれる塾」他に例をみない塾」など多数のマスコミで紹介されています。

東京都指定

児童発達支援・放課後等デイサービス **つばさクラブ**

強い苦手感や障がいのあるお子さんのソーシャルスキルトレーニングや学習のベースとなる練習を行っています。また、常勤の養護教諭（保健師・看護師、埼玉県立大学院で保健医療福祉研究）がメンタルケアやご家族からの相談を受けています。

NHK学園高等学校

連携教育相談センター

**翼学院高等部**

「翼学院高等部」は生涯の生きる力を育む高校卒業サポート校です。主要5科目から実技科目まで教員免許所持の専門性の高い講師が指導。進学指導はもちろん、都立高での面接指導や全国ランキングNo1就活本の執筆と当学院は「キャリア教育」に自信があります。地域企業と連携した就業体験で、自分の夢探しを行います。教員が同伴し、体験後に一緒に振り返ることで生徒の「夢」が見つかります。



「地域の皆様からのご支援に感謝し、これからも一筋に歩んでいきます！」

学院長 **芦澤 唯志**

公益財団法人 産業教育振興中央会 理事  
東京商工会議所葛飾支部 副分科会長  
葛飾間税会 理事

等



NHK総合・夕刊フジ等メディアで話題  
芦澤式学習法が本になりました！

落ちこぼれでも大丈夫！ **1か月で  
偏差値20伸ばす  
芦澤式学習法**

成績オール1、学校嫌い、学習障がいでも「学力と心を豊かに育てる」指導法教えます！  
芦澤唯志

NHK総合テレビ「おはよう日本」で  
独自の指導法を紹介！  
「ウチの子、どうしよう……」  
とお悩みの親御さんも必ず解決できます！

全国ランキングNo.1就活本を執筆！  
翼学院はキャリア教育に自信あり！！

**サクセス！** '16  
**一般常識  
&  
最新時事**  
売上実績 **1**  
受けた企業は今わかる  
[別冊] 業界別重要キーワード  
**NO.1**  
無料！ダウンロード！  
学習アプリも 添削シート付き

New

高砂校

青砥駅前校

水元校

お問い合わせはこちらまで！

合格 ツ バ サ

**03-5699-5283**

翼学院

検索



**翼学院**

# 検索で見つかる答えじゃ、 つまらない。



ものづくりに必要な情報は、検索だけじゃ探せない。  
自分の目で見て、聞いて、触って、自分のアタマで考えるから価値になる。



車両調査について説明

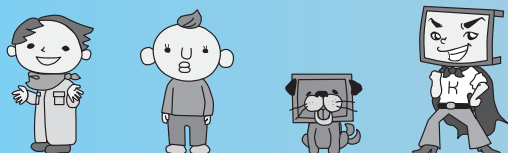


3D CADによる設計実習



車両調査実習

私たちと一緒に、ものづくりを体験してみませんか？



…インターンシップのお問合せはこちらまで

**kanack** 株式会社 **力太ク企画**

〒125-0032 東京都葛飾区水元 1-4-10  
Tel 03-5660-1234 (代表) Fax 03-5660-1231  
E-mail info@kanack.co.jp URL <http://kanack.co.jp/>





エレベーターのメンテナンスとリニューアルを  
**「安全・快適・リーズナブル」**  
にご提供いたします。



SECエレベーターは、全機種・全メーカーのエレベーターを、  
安全性を損なう事なく、適正価格でメンテナンスいたします。  
保守契約台数 40,000 台、日本全国 150 拠点が 24 時間 365 日体制で対応。  
業界のパイオニアとして、更なる技術と安全性の向上にも努めております。  
また、約半世紀のメンテナンス実績と経験は、製造業である当社製の  
リニューアルと新設の製品開発に受け継がれています。  
「資産価値アップ」「安全性と快適性アップ」「省電力化」など、  
私たちはお客様のニーズに叶う、  
世界で1つのエレベーターを御提供いたします。



イメージキャラクター  
元WBA世界ライトフライ級チャンピオン  
具志堅 用高

■お問合せは、 0120-83-1171(平日・土曜 9:00 ~ 17:30)

secev



**エス・イー・シーエレベーター株式会社**

<http://www.secev.co.jp>

E-mail: [info-sec@secev.jp](mailto:info-sec@secev.jp)

東京都台東区台東3-18-3 SECビル

TEL:(03)5256-1171 FAX:(03)5256-1172